

クラウドと社内を束ねる認証サービス

Soliton OneGate 利用ガイド

～ PasswordManager 代行入力SSO設定例 ～



はじめに

本書は、PasswordManagerによるWeb/アプリケーションへの代行入力SSOについて、設定例を示したものです。OneGate の初期設定から、Web/アプリケーションへの代行入力 SSOの設定、そして利用端末への Password Manager アプリのインストール、デジタル証明書による多要素認証で OneGate へログインし、代行入力による SSO を行うまでの流れを説明します。

本ガイドの想定環境

- ❑ OneGate 新規申し込み
- ❑ 既存 Active Directory と連携
- ❑ 社外からのアクセスには証明書認証が必要
- ❑ Password Manager へのログイン



1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

管理者による操作



- 1 OneGate 設定
- 2 AD 連携によるユーザー登録
- 3 ローカルユーザー作成
- 4 招待コード発行
- 5 App SSO 設定
- 6 SPM インストール
- 7 Web SSO 設定



利用者のはじめの操作



- 8 SKMインストール
- ▼
- 9 証明書発行
- ▼
- 10 SPMインストール・代行入力 SSO

1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

① OneGate設定

② AD連携

③ ローカルユーザ作成

④ 招待コード発行

⑤ AppSSO設定

⑥ SPMインストール

⑦ WebSSO設定

⑧ SKMインストール

⑨ 証明書発行

⑩ SPMインストール・SSO

デモ環境の構成例

OneGateテナント	sogdemo01-8kaw.ids.soliton-ods.jp
Active Directory	<ul style="list-style-type: none">□ ドメイン :sog.netattest.tech□ ホスト名 :adsrv01
Password Manager アカウント作成条件グループ	<ul style="list-style-type: none">□ セキュリティグループ :PasswordManagerG
デモ用ユーザー	<ul style="list-style-type: none">□ 姓 :山田□ 名 :太郎□ ログイン名 :tyamada
SSO先システム	<ul style="list-style-type: none">□ リモートデスクトップ接続(アプリ)□ FileZen S
SSO先ユーザー	<ul style="list-style-type: none">□ ユーザー名 :user01□ パスワード :password



管理者による操作

① OneGate設定

② AD連携

③ ローカルユーザ作成

④ 招待コード発行

⑤ AppSSO設定

⑥ SPMインストール

⑦ WebSSO設定

⑧ SKMインストール

⑨ 証明書発行

⑩ SPMインストール・SSO

Soliton Cloud Service Portal 利用開始手続き

- OneGateお申し込み後、ご契約内容とサービスポータルアカウント情報を通知するメールが届きます。
メール件名:【ダウンロード期限14日間】Soliton OneGateサービス開始のお知らせ
- 上記メールからダウンロードできるアカウント通知書には、以下①～③の情報が記載されています。
- ①のパスワード初期設定URLにアクセスし、②のログイン名を入力後「メール送信」をクリックします。

Soliton OneGate にお申し込みいただきまして、誠にありがとうございます。
本サービスの契約情報とサポート ID をお知らせいたします。

サービス契約情報	
お客様名	株式会社ソリトンシステムズ
サービス名	Soliton OneGate
プラン	Standard プラン
ライセンス数	100
開通日	2023/04/12

アクセス先、および、ユーザーアカウント情報
Soliton Cloud Service Portal (略称SCSP)

① パスワード初期設定 URL ※1	https://service-portal.ids.soliton-ods.jp/idp/authcode
③ ログイン URL	https://service-portal.soliton-ods.jp
② ログイン名	お申し込み時にご登録されたメールアカウント

 Soliton
Cloud Service Portal

利用者情報に登録されているメールアドレスにパスワード再設定コードを送ります。

ログイン名

メール送信

戻る

① OneGate設定

② AD連携

③ ローカルユーザ作成

④ 招待コード発行

⑤ AppSSO設定

⑥ SPMインストール

⑦ WebSSO設定

⑧ SKMインストール

⑨ 証明書発行

⑩ SPMインストール・SSO

Soliton Cloud Service Portal 利用開始手続き

- 「メール送信」をクリック後、受信したメールに記載されているパスワード再設定コードを入力します。
- 新しいパスワードを入力し、「パスワード変更」をクリックします。
- パスワード変更後、前ページ③のログインURLにアクセスし、右上の「ログイン」をクリックします。

パスワード再設定コード入力

メールに記載されているパスワード再設定コードを入力してください。

パスワード再設定コード

パスワード再設定コード送信

Soliton Cloud Service Portal

ログイン名: isis@soliton.co.jp

新しいパスワードを設定してください。

新しいパスワード

新しいパスワード (確認)

パスワード変更

戻る

Soliton Cloud Service Portal

お知らせ

ログイン

お知らせ

すべてのお知らせ 重要 障害 メンテナンス

すべてのサービス 検索キーワードを入力してください

① OneGate設定

② AD連携

③ ローカルユーザ作成

④ 招待コード発行

⑤ AppSSO設定

⑥ SPMインストール

⑦ WebSSO設定

⑧ SKMインストール

⑨ 証明書発行

⑩ SPMインストール・SSO

Soliton Cloud Service Portal 利用開始手続き

- [アカウント通知書](#)に記載のログイン名(②)と、前ページで変更したパスワードでログインします。
- ログインが完了すると、OneGateサービスのお知らせやメンテナンス情報を確認することができます。

以上で、Soliton Cloud Service Portalの利用開始手続きは完了です。

The screenshot displays the Soliton Cloud Service Portal interface. At the top, there is a navigation bar with the Soliton logo and the text "Soliton Cloud Service Portal". Below this, there are tabs for "お知らせ" (Notifications), "サービス管理" (Service Management), and "アクセスログ" (Access Log). The "お知らせ" tab is active, showing a sub-navigation bar with "すべてのお知らせ" (All Notifications), "重要" (Important), "障害" (Incident), and "メンテナンス" (Maintenance). A search bar is present with the text "すべてのサービス" (All Services) and "検索キーワードを入力してください" (Please enter search keywords). Below the search bar, there is a pagination control showing "前へ | 1 - 10 / 17 | 10 25 50 100 | 次へ". The main content area shows a notification dated "2023/01/31 14:02" with a blue "SOG" button.

① OneGate設定

② AD連携

③ ローカルユーザ作成

④ 招待コード発行

⑤ AppSSO設定

⑥ SPMインストール

⑦ WebSSO設定

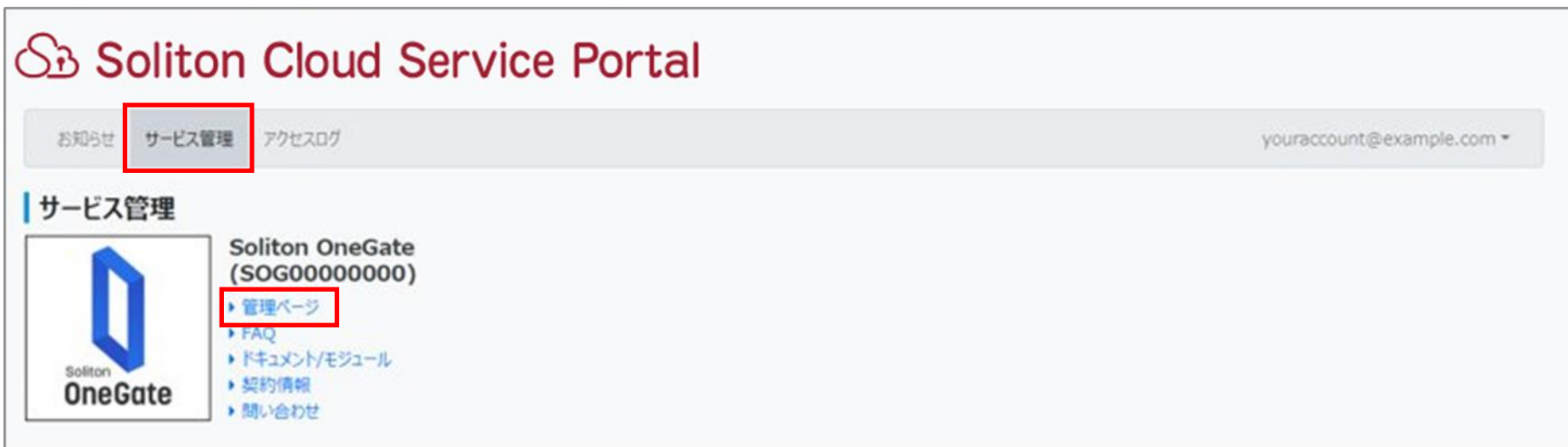
⑧ SKMインストール

⑨ 証明書発行

⑩ SPMインストール・SSO

OneGate管理ページへアクセス

- サービス管理 > 管理ページ よりOneGate管理ページにアクセスします。



Soliton Cloud Service Portal

お知らせ サービス管理 アクセスログ youraccount@example.com ▾

サービス管理

Soliton OneGate (SOG00000000)

- ▶ 管理ページ
- ▶ FAQ
- ▶ ドキュメント/モジュール
- ▶ 契約情報
- ▶ 問い合わせ

1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

CA証明書の取得

※証明書の取得前にデフォルトのCA設定を確認いただき、組織名や部署名などを設定したい場合や有効期限などを変更したい場合には、**再構築操作**を行ってください。

- OneGate管理ページで、AD サーバーにインストールする CA 証明書をダウンロードします。
(次ページの連携クライアント用証明書発行時に、「CA証明書を含める」のチェックを入れる場合、この手順は必要ありません。)

The screenshot shows the Soliton OneGate management console. The top navigation bar includes '証明書管理' (Certificate Management), which is highlighted. A dropdown menu is open, and 'CA情報' (CA Information) is selected and highlighted with a red box. A blue callout box with the number '1' points to this menu item, containing the text: 「証明書管理」-「CA情報」に進む (Proceed to 'Certificate Management' - 'CA Information').

Below the navigation, the '証明書管理 > CA情報' page is shown. It features a 'CRL次回更新予定設定' (CRL Next Update Schedule Setting) button. At the bottom, there is a section for 'CA証明書ファイルのダウンロード' (Download CA Certificate File). Two buttons are visible: 'DER形式' (DER Format) and 'PEM形式' (PEM Format). The 'DER形式' button is highlighted with a red box. A blue callout box with the number '2' points to this button, containing the text: CA証明書ファイルをダウンロード (Download CA Certificate File). A '再構築' (Rebuild) button is also visible in the bottom right corner.

1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

Soliton ADConnector 用の証明書ダウンロード

- AD サーバーとの連携に使用する証明書をダウンロードします。
(「CA証明書を含める」にチェックを入れた場合、前ページのCA証明書のダウンロードは必要ありません。)

Soliton OneGate

利用管理 設定 クラウド設定 AD設定 証明書管理 ICカード管理 アプライアンス管理 同期スケジュール設定 システム設定 ログ管理 youraccount@example.com

AD設定 > AD連携設定

連携クライアント用証明書の作成 Azure AD登録 削除

1 「AD設定」-「AD連携設定」に進み、「連携クライアント用証明書の作成」をクリック

連携クライアント用証明書の作成

発行される証明書の有効期限は10年です。
ただし、CA証明書の有効期限を超えている場合、発行される証明書の有効期限はCA証明書の有効期限に設定されます。

パスフレーズ *

パスフレーズ (確認) *

CA証明書を含める * CA証明書の格納

発行 キャンセル

2 任意のパスフレーズを入力し、「CA証明書の格納」にチェックを入れ「ダウンロード」をクリック

1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

ネットワーク設定

- 本資料では「社外からのアクセスにクライアント証明書認証を必要とする構成」を想定しているため、ネットワーク設定と招待コードの発行を行います。

※本設定は管理画面へのアクセスにも適用されますので、社外から管理画面にアクセスする場合には先に証明書のインストールを行って下さい。(④招待コード発行・⑨証明書発行をご参照ください。)

- 「システム設定」-「システムポリシー設定」に進みます。

The screenshot shows the Soliton OneGate management interface. At the top, there is a navigation bar with several menu items: 利用者管理, クラウド設定, AD設定, 証明書管理, ICカード管理, アプライアンス管理, 同期スケジュール設定, システム設定, ログ管理, and a user profile for youraccount@example.com. The 'システム設定' (System Settings) menu item is highlighted with a red box, and its dropdown menu is open, showing options: 管理者設定, 全般設定, 信頼する外部認証局設定, パスワードポリシー設定, メール通知設定, and システムポリシー設定. The 'システムポリシー設定' (System Policy Settings) option is also highlighted with a red box. Below the navigation bar, the breadcrumb path is 'システム設定 > システムポリシー設定'. The main content area is titled 'ネットワーク設定(管理者ページ/利用者ページ)' and contains a section '信頼できるネットワークを設定する' with a toggle switch and a note: 'アクセス元のネットワークを1つ以上指定してください'.

① OneGate設定

② AD連携

③ ローカルユーザ作成

④ 招待コード発行

⑤ AppSSO設定

⑥ SPMインストール

⑦ WebSSO設定

⑧ SKMインストール

⑨ 証明書発行

⑩ SPMインストール・SSO

ネットワーク設定

- 「ネットワーク設定」を有効にし、適当なグローバルIPアドレスを登録します。
今回は社外からのアクセス時に証明書認証を行うため、会社の送信元グローバルIPアドレスを設定します。
- 「アクセス制御設定」を有効にし、「例外を設定する」の「信頼できるネットワーク」にチェックを入れます。
この設定により、「ネットワーク設定」に登録したIPアドレスからのアクセスでは証明書認証を求められません。

システム設定 > システムポリシー設定

ネットワーク設定(管理者ページ/利用者ページ)

信頼できるネットワークを設定する ⓘ

アクセス元のネットワークを1つ以上指定してください

IPアドレス	サブネットマスク	備考
xxx.xxx.xxx.xxx	255.255.255.255 (32)	本社拠点グローバルIPアドレス

+

アクセス制御設定 (管理者ページ/利用者ページ)

クライアント証明書を持たないデバイスからのアクセスを拒否する ⓘ

例外を設定する

信頼できるネットワーク

指定するクライアントアプリケーション

例外アプリケーション (UserAgent形式)

例: mozilla/5.0 (iphone; cpu iphone os 12_0 like Mac os x) applewebkit/605.1.15 (KHTML, like Gecko) mobile/16a366 safari line/8.14.5

+

1 送信元グローバルIPを設定

2 「信頼できるネットワーク」に
チェックを入れる

1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

Soliton ADConnector のプログラム入手

- サービスポータルに戻り、Soliton ADConnector プログラムをダウンロードします。

Soliton Cloud Service Portal

お知らせ サービス管理 アクセスログ youraccount@example.com

サービス管理

Soliton OneGate (SOG00000000)

- 管理ページ
- FAQ
- ドキュメント/モジュール**
- 契約情報
- 問い合わせ

1 「ドキュメント/モジュール」より、「【ソフトウェア】Soliton ADConnector」をクリック

ドキュメント/モジュール一覧 (SOG)

検索キーワードを入力してください

前へ | 1 - 8 / 8 | 10 25 50 100 | 次へ

2023/03/29 11:43	【ドキュメントマニュアル/はじめにおよみください】
2023/03/29 11:42	【ソフトウェア】CRL Uploader
2023/01/31 17:26	【ソフトウェア】Soliton ADConnector

【ソフトウェア】Soliton ADConnector

SOG

サービス名: Soliton OneGate

2023/01/31 17:26

ダウンロードファイル

SolitonOnpremisesADConnectorV180.zip

閉じる

2

ダウンロードファイルより
「SolitonOnpremisesADConnector」
をクリックしてzipファイルをダウンロード

1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

Soliton ADConnector のインストール

- 今回は AD サーバー上に ADConnector をインストールします。
前ページでダウンロードしたzipファイルをADサーバー上で解凍し、
「SolitonOnpremisesADConnectorVxxx.msi」ファイルをダブルクリックして実行します。
- セットアップウィザードが表示されますので、[次へ] をクリックして進み、最後に [インストール] をクリックしてセットアップは完了です。

1 ADサーバー上にzipファイルをコピー、
中にあるmsiファイルを実行

Soliton Onpremises ADConnector セットアップ

Soliton Onpremises ADConnector のインストール準備完了

インストールを開始するには [インストール] をクリックしてください。インストール設定を確認または変更するには [戻る] をクリックしてください。ウィザードを終了するには [キャンセル] をクリックしてください。

戻る(B) **インストール(I)** キャンセル

1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

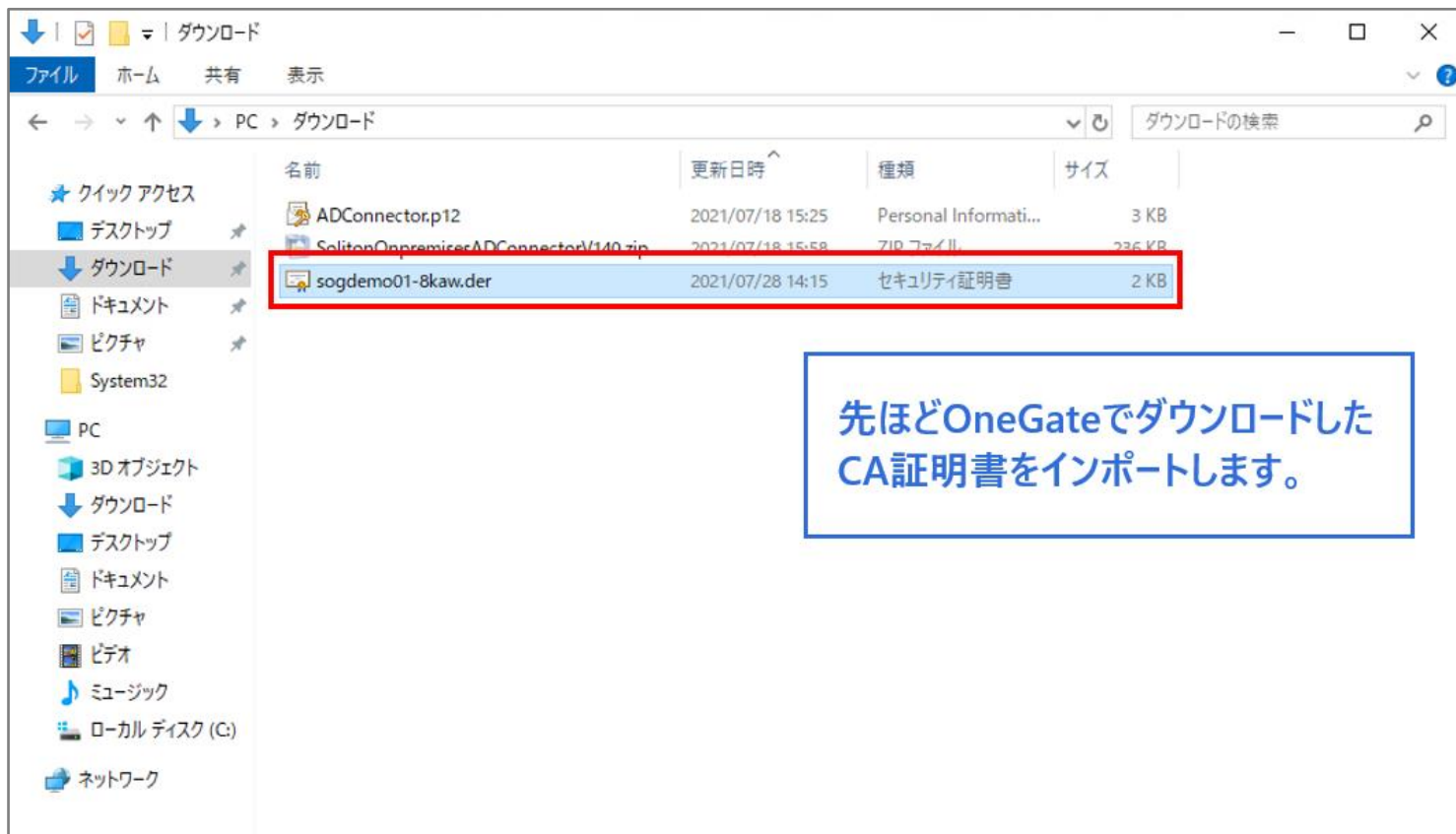
8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

CA証明書のインポート

- [CA証明書の取得](#)でダウンロードしたOneGate のCA証明書をADサーバー上にコピーし、ダブルクリックしてインポートします。
([連携クライアント用証明書発行時](#)に「CA証明書を含める」のチェックを入れた場合、この手順は必要ありません。)



1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

CA証明書のインポートウィザード1

1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

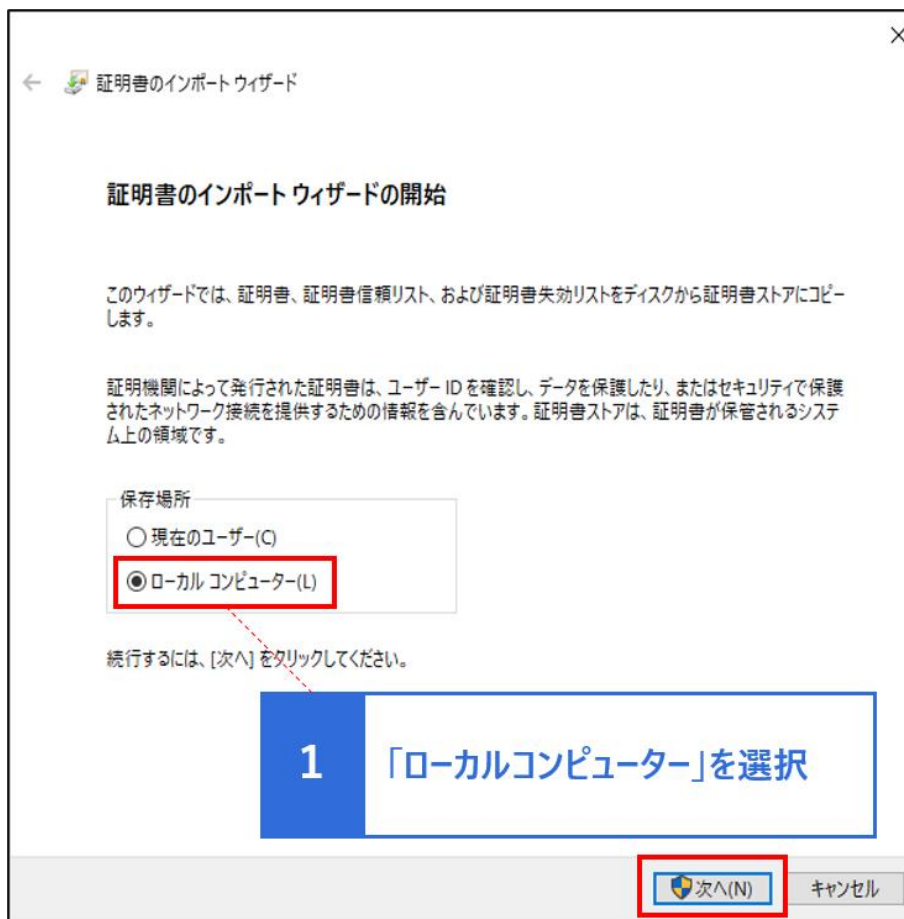
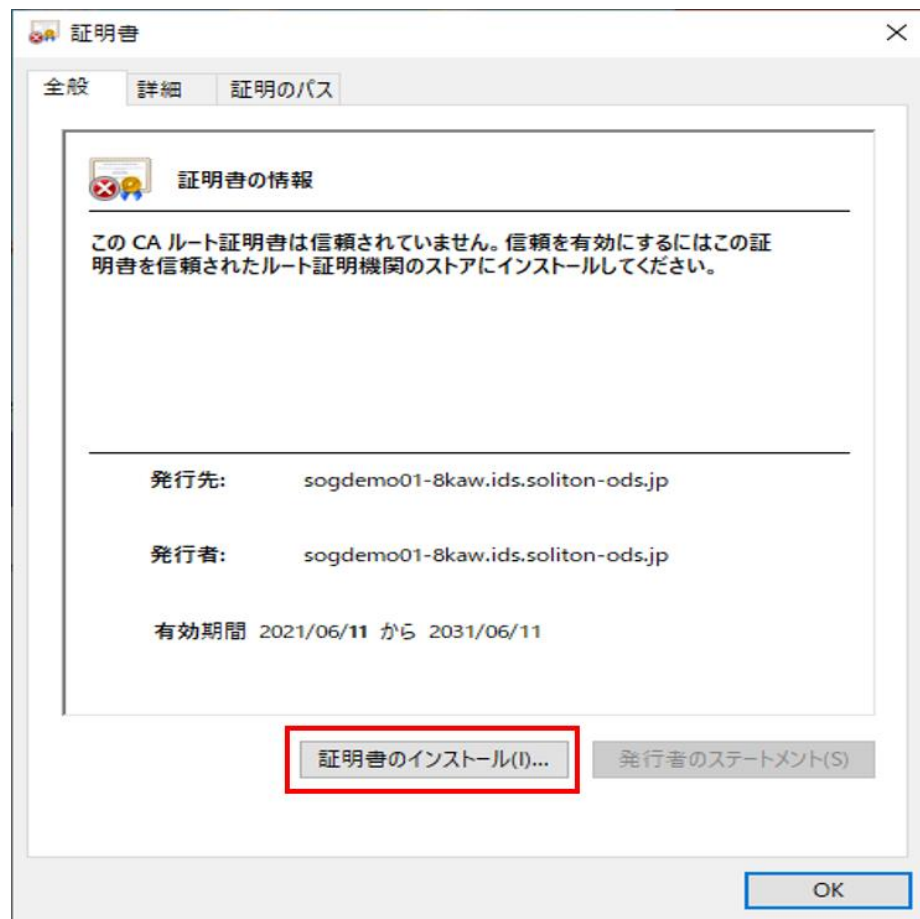
6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO



CA証明書のインポートウィザード2

1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

← 証明書のインポートウィザード

証明書ストア

証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。

Windows に証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書の場所を指定することができます。

証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)

証明書をすべて次のストアに配置する(P)

証明書ストア:

信頼されたルート証明機関

参照(R)...

1 「証明書をすべて次のストアに配置する」を選択し、「参照」より「信頼されたルート証明機関」を選択する。

次へ(N) キャンセル

← 証明書のインポートウィザード

証明書のインポートウィザードの完了

[完了] をクリックすると、証明書がインポートされます。

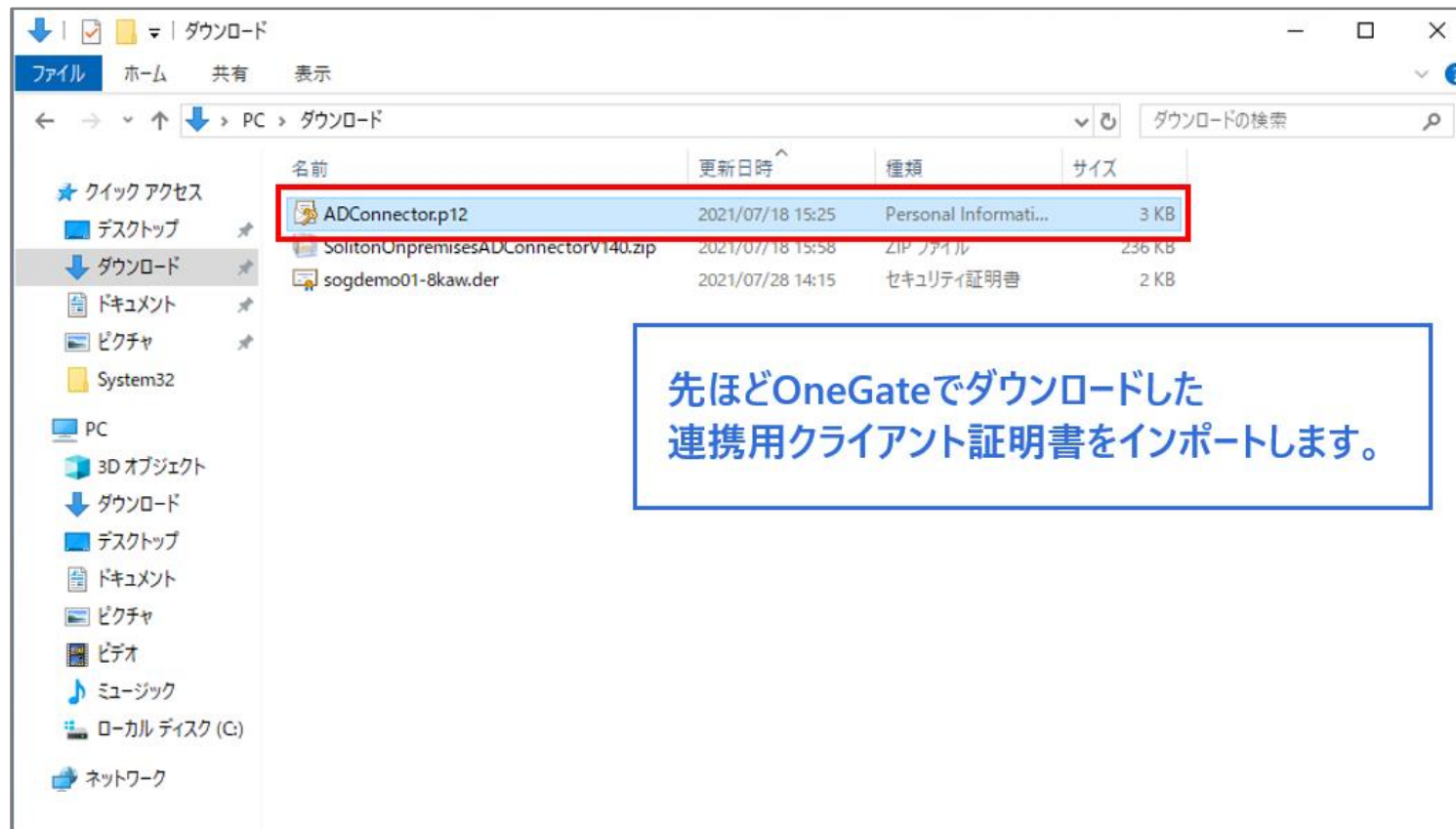
次の設定が指定されました:

ユーザーが選択した証明書ストア	信頼されたルート証明機関
内容	証明書

完了(F) キャンセル

ADConnector用証明書のインポート

- ダウンロードしたADConnector用証明書をADサーバー上にコピーし、ダブルクリックしてインポートします。



① OneGate設定

② AD連携

③ ローカルユーザ作成

④ 招待コード発行

⑤ AppSSO設定

⑥ SPMインストール

⑦ WebSSO設定

⑧ SKMインストール

⑨ 証明書発行

⑩ SPMインストール・SSO

ADConnector用証明書のインポートウィザード1

1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

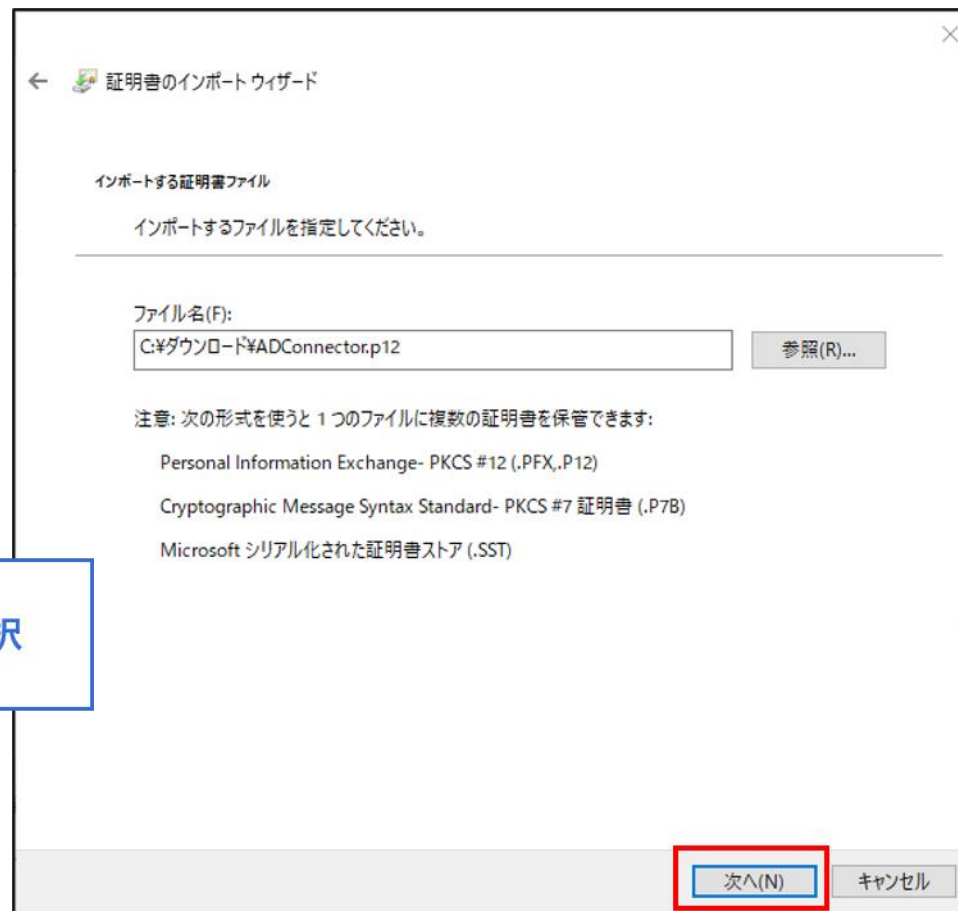
6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO



ADConnector用証明書のインポートウィザード2

1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

← 証明書のインポートウィザード

1 設定したパスワードを入力

秘密キーの保護
セキュリティを維持するために、秘密キーはパスワードで保護されています。

秘密キーのパスワードを入力してください。

パスワード(P):
●●●●●●●●

パスワードの表示(D)

インポート オプション(O):

秘密キーの保護を強力にする(E)
このオプションを有効にすると、秘密キーがアプリケーションで使われるたびに確認を求められます。

このキーをエクスポート可能にする(M)
キーのバックアップやトランスポートを可能にします。

仮想化ベースのセキュリティを使用して秘密キーを保護する(エクスポート不可)(P)

すべての拡張プロパティを含める(A)

次へ(N) キャンセル

- 「パスワード」には、OneGateからダウンロードする際に設定したパスワードを入力して下さい。

← 証明書のインポートウィザード

証明書ストア

証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。

Windows に証明書ストアを自動的に選択させるが、証明書の場所を指定することができます。

証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)

証明書をすべて次のストアに配置する(P)

証明書ストア:
参照(R)...

次へ(N) キャンセル

← 証明書のインポートウィザード

証明書のインポートウィザードの完了

[完了] をクリックすると、証明書がインポートされます。

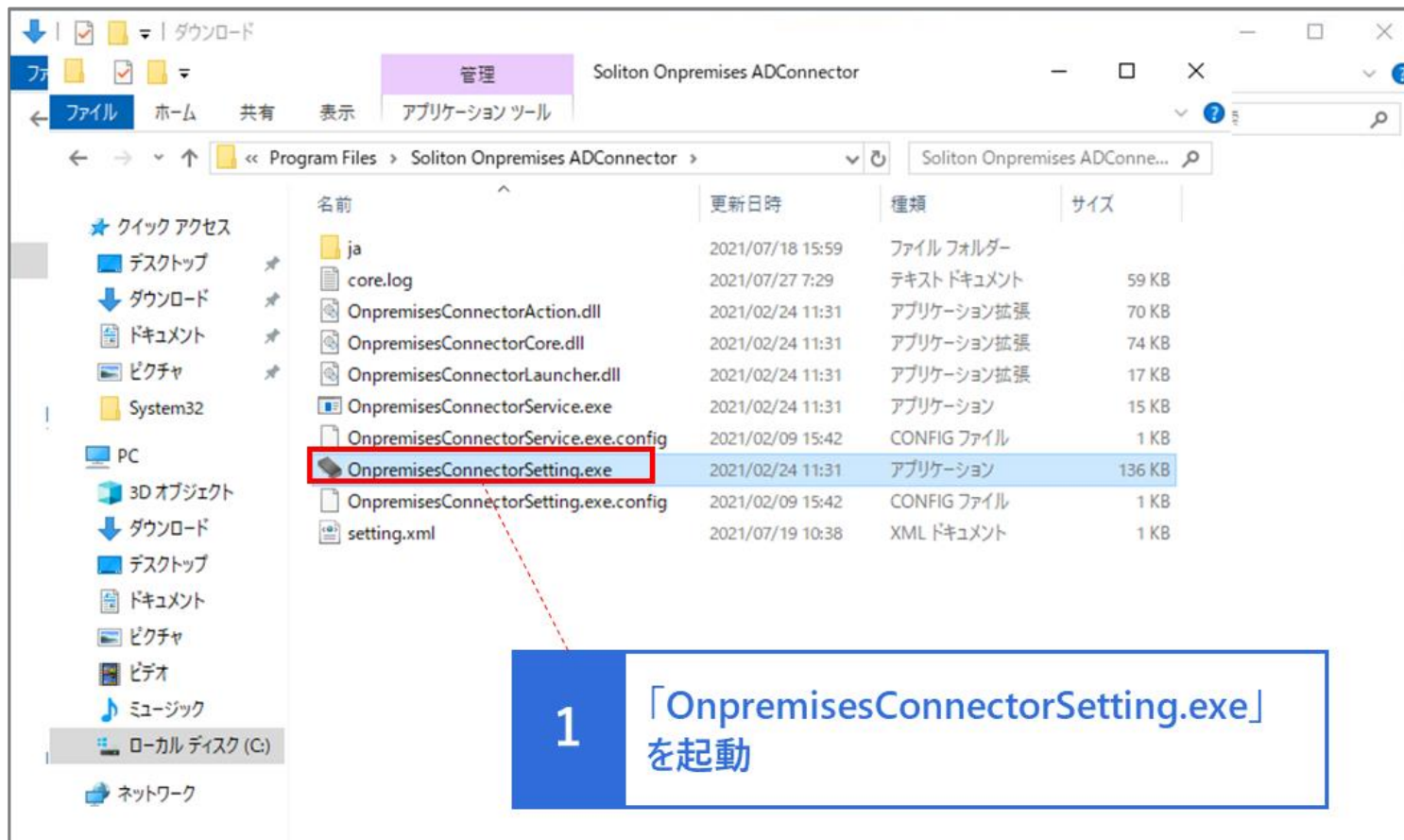
次の設定が指定されました:

内容	ファイル名
選択された証明書ストア	ウィザードで自動的に決定されます
内容	PFX
ファイル名	C:\ダウンロード\ADConnector.p12

完了(F) キャンセル

ADConnectorの設定1

- ADConnectorの設定ツール(「OnpremisesConnectorSetting.exe」)を起動します。
(デフォルトでは“C:¥Program Files¥Soliton Onpremises ADConnector”の中にあります。)



1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

ADConnectorの設定2

- テナントコードを入力し、クライアント証明書欄で先ほどインポートしたADConnector用証明書を選択します。

The image shows two overlapping windows. The left window is titled 'Active Directory コネクター設定' (Active Directory Connector Settings). It has two sections: 'OneGate Service 接続設定' (OneGate Service Connection Settings) and 'Active Directory 接続設定' (Active Directory Connection Settings). In the first section, the 'テナントコード(T)' (Tenant Code) field contains 'sogdemo01-8kaw'. The 'クライアント証明書(C)' (Client Certificate) field is empty, and its selection button (three dots) is highlighted with a red box. A blue callout box with the number '1' points to this button, containing the text: 'OneGateのテナントコードを入力し、「クライアント証明書」の「...」をクリック' (Enter the OneGate tenant code and click the '...' button in the 'Client Certificate' field). The right window is titled 'Windows セキュリティ' (Windows Security) and is titled 'クライアント証明書の選択' (Select Client Certificate). It asks the user to select a client certificate. A certificate is listed with the name 'ad-connector.ids.soliton-ods.jp', which is highlighted with a red box. Below the name, it shows the issuer as 'sogdemo01-8kaw.ids.soliton-ods.jp' and the validity period as '2021/07/18 から 2031/07/18'. At the bottom, there are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons, with the 'OK' button highlighted by a red box. A blue callout box with the number '2' points to the 'OK' button, containing the text: 'インポートしたADConnector用の証明書が表示されるので、「OK」をクリック' (Since the imported AD Connector certificate is displayed, click 'OK').

1 OneGateのテナントコードを入力し、「クライアント証明書」の「...」をクリック

2 インポートしたADConnector用の証明書が表示されるので、「OK」をクリック

1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

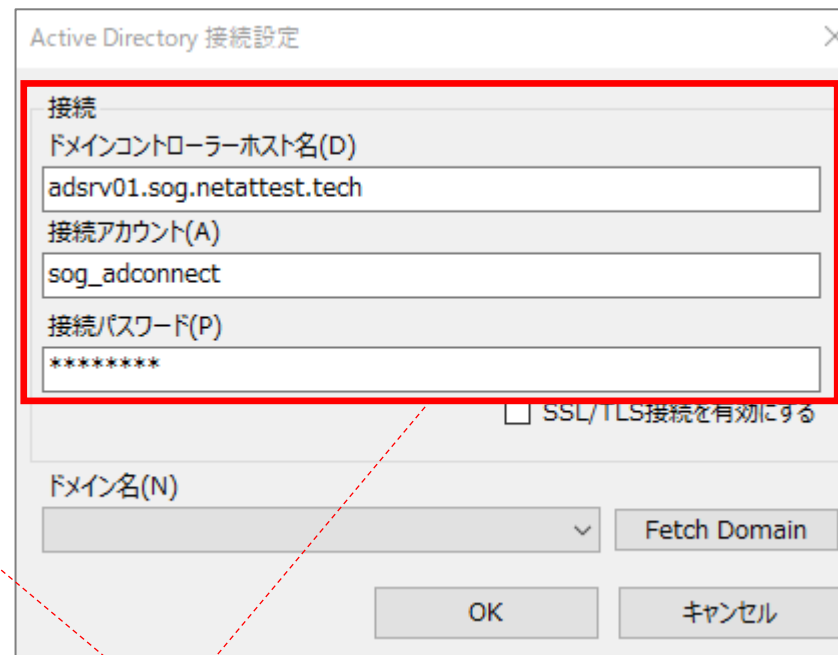
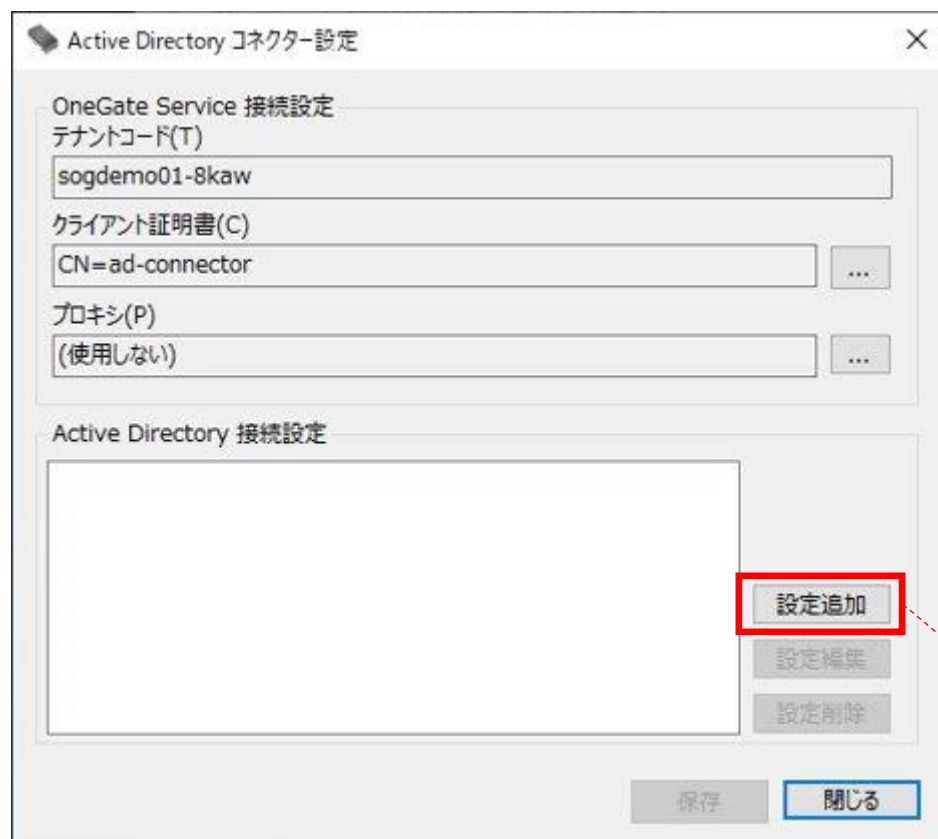
8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

ADConnectorの設定3

- Active Directory 接続設定に、AD接続用の情報を入力します。



1

「設定追加」をクリックし、
AD接続設定を入力

1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

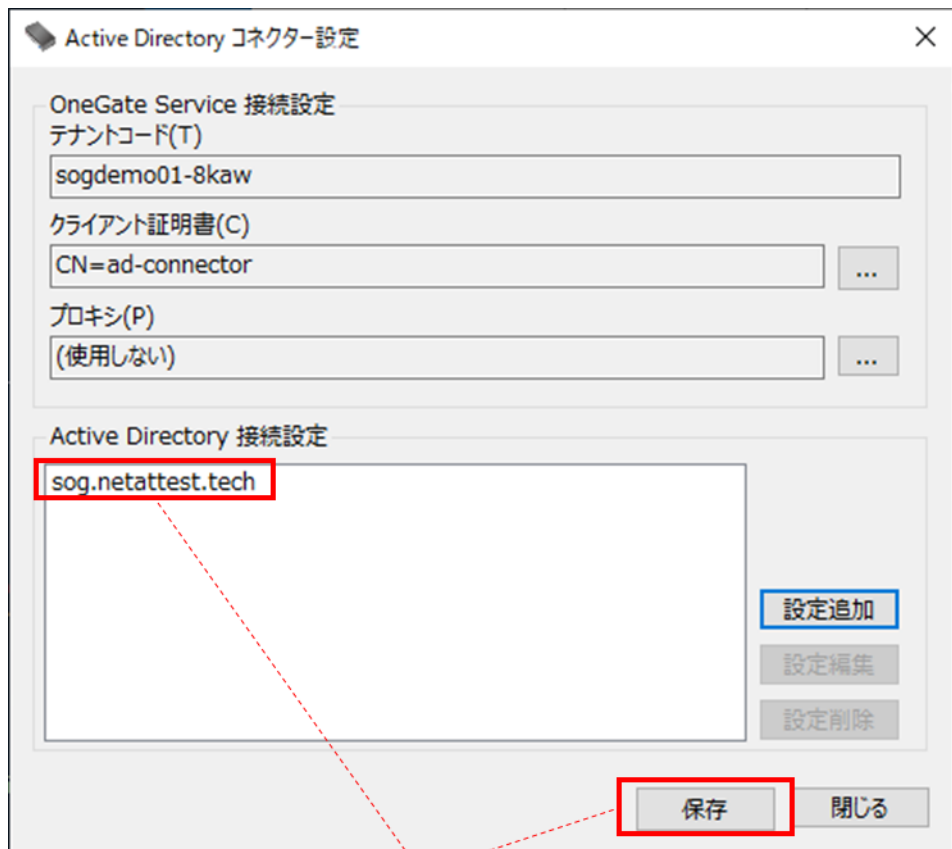
8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

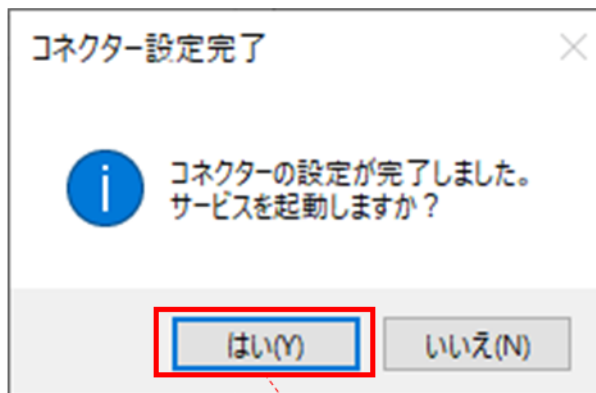
ADConnectorの設定4

- 設定情報を保存し、サービスを起動してください。



1

設定情報が追加されたことを確認して「保存」をクリック



2

サービスを起動する

1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

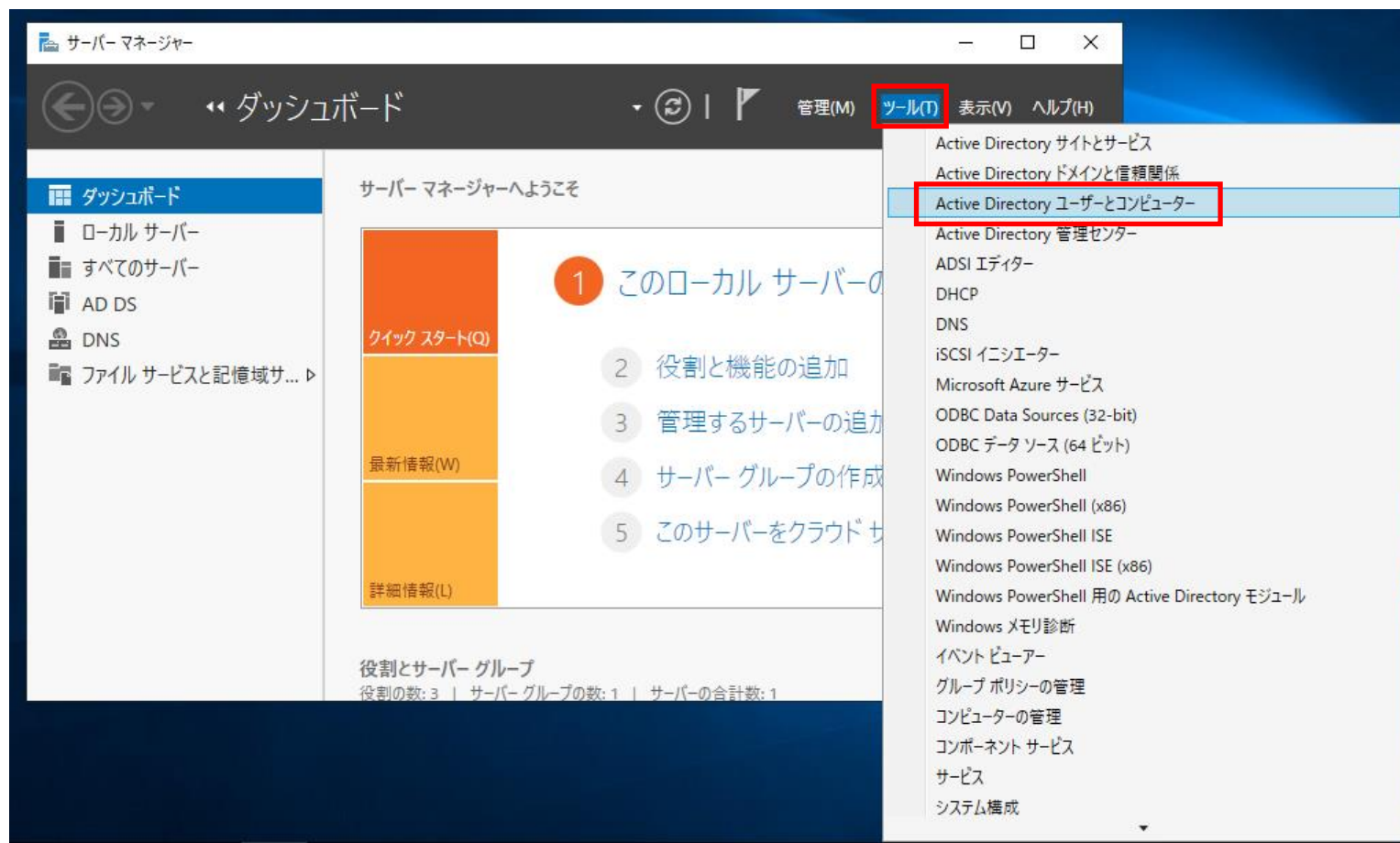
8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

アプリケーションロール割当用グループの作成

- OneGateに同期されたADユーザーに対し、PasswordManagerを利用可能にするアプリケーションロールの割当設定を行います。
- 「Active Directory ユーザーとコンピューター」を開きます。



1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

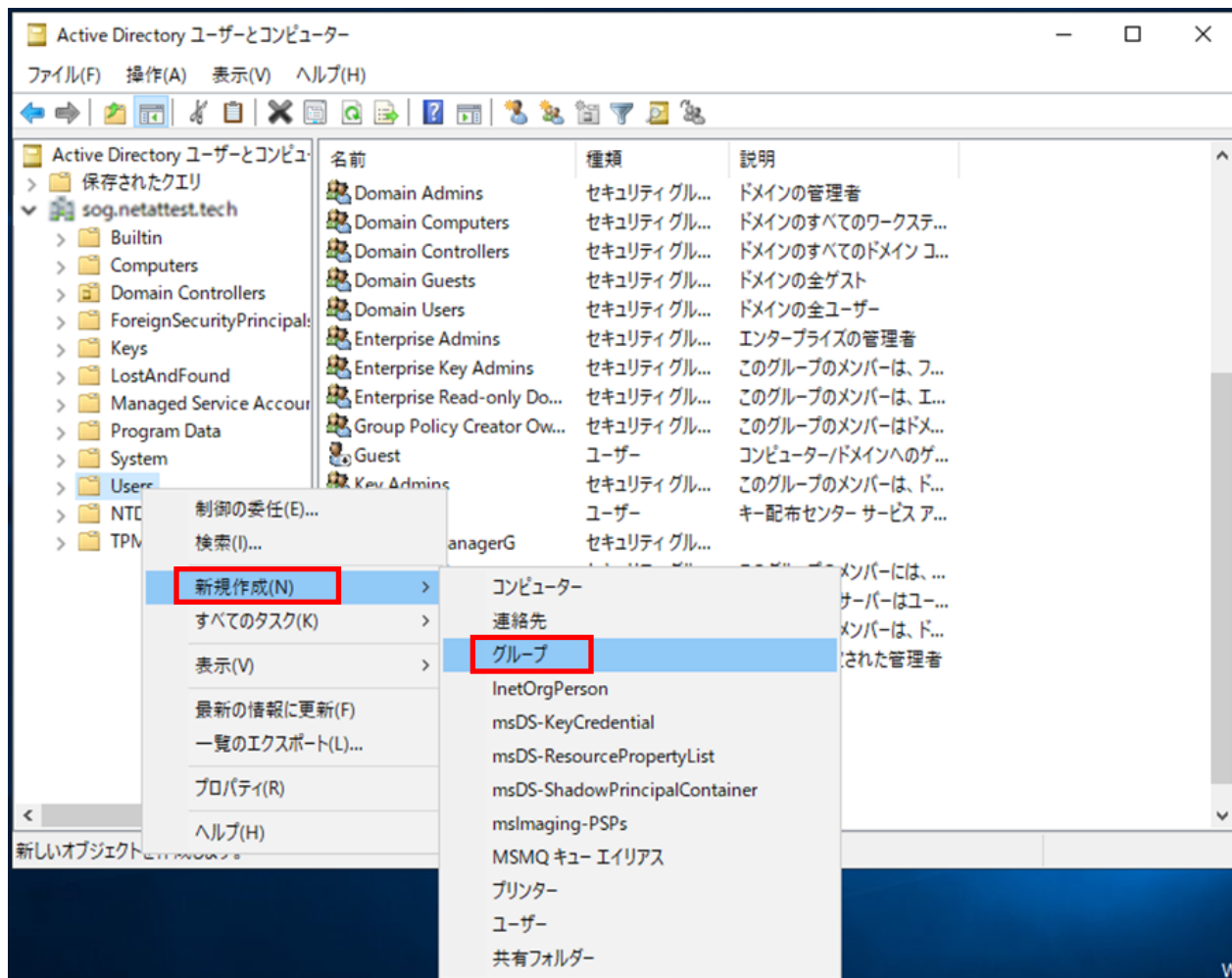
8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

アプリケーションロール割当用グループの作成

- 任意のコンテナまたはOUを右クリックしてメニューを表示し、「新規作成」-「グループ」に進みます。



1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

アプリケーションロール割当用グループの作成

- グループ名に「PasswordManagerG」と入力し、[OK]をクリックします。
以下のようにグループが作成されていることを確認してください。

新しいオブジェクト - グループ

作成先: sog.netattest.tech/Users

グループ名(A):
PasswordManagerG

グループ名 (Windows 2000 より前)(W):
PasswordManagerG


グループのスコープ

- ドメイン ローカル(O)
- グローバル(G)
- ユニバーサル(U)

グループの種類

- セキュリティ(S)
- 配布(D)

OK キャンセル

 PasswordManagerG

1

グループが作成されていることを確認

1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

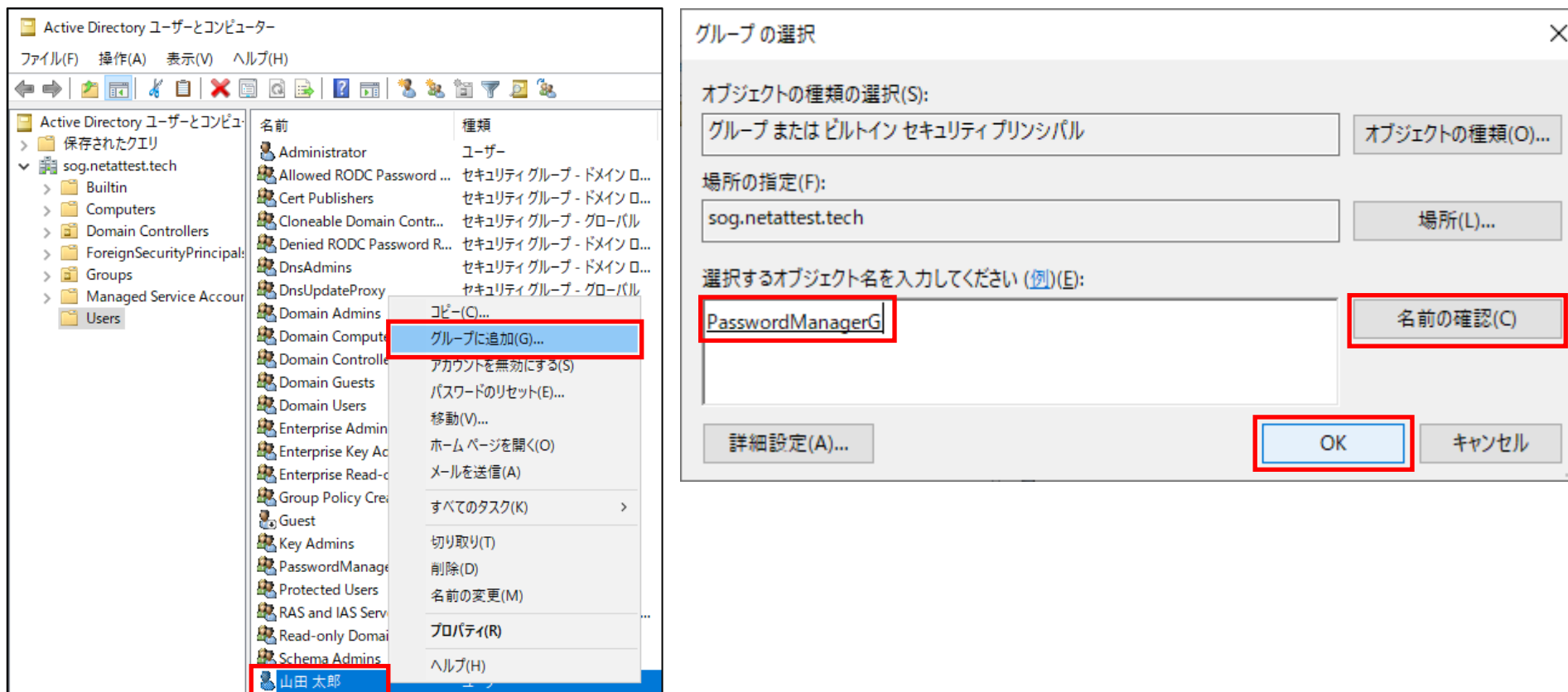
8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

作成したグループにユーザーを追加

- ユーザーがPasswordManagerを利用するには、作成した「PasswordManagerG」にユーザーが所属している必要があります。
- PasswordManagerを利用するユーザーを右クリックしてメニューを表示し、「グループに追加」を選択します。「選択するオブジェクト名を入力して下さい」の欄に「PasswordManagerG」と入力し、[名前の確認]よりグループ名の確認を行った後[OK]をクリックして、グループへの追加は完了です。



1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

OneGate管理画面 AD連携状態の確認

- OneGateの管理画面の「AD設定」-「AD連携設定」より、ADサーバーが**有効・オンライン**になっていることを確認します。

The screenshot displays the 'AD設定 > AD連携設定' (AD Settings > AD Connection Settings) page. At the top, there are buttons for '連携クライアント用証明書の作成' (Create certificate for federated client), 'Azure AD登録' (Register Azure AD), and '削除' (Delete). A search bar contains the text '検索キーワードを入力して下さい。' (Please enter a search keyword). Below this, there are options for 'すべて選択' (Select all) and '表示順序' (Display order) set to '設定名(昇順)' (Setting name (ascending)). A table lists the AD connection settings, with the first entry 'sog.netattest.tech' highlighted by a red box. This entry has three status indicators: '有効' (Enabled) in a green box, 'オンライン' (Online) in a blue box, and 'Onpre AD' in a blue box. To the right of the table, there are links for '詳細設定' (Detailed settings), '属性設定' (Attribute settings), 'グループ権限設定' (Group permissions settings), '外部認証設定' (External authentication settings), and '確認' (Check).

1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

OneGate管理画面

AD連携設定のアプリケーションロール割当グループ名確認

- ドメイン名の部分をクリックし、「AD連携設定変更」画面を表示します。
- 「アプリケーションロール割当グループ」の「PasswordManager」の欄が、先ほどADで作成したグループ名と同じ「PasswordManagerG」であることを確認します。

AD連携設定変更

	変更前	変更後
有効 *	<input type="checkbox"/> AD連携を有効にする	<input checked="" type="checkbox"/> AD連携を有効にする
設定名 *	sog.netattest.tech	sog.netattest.tech
連携サーバータイプ	Onpre AD	Onpre AD

アプリケーションロール割当グループ

OneGateサービス	AuthenticationG	
PasswordManager	PasswordManagerG	
標準クラウドサービス	Office 365 Office365G	Office365G
	Google Workspace GoogleG	GoogleG
	cybozu.com CybozuComG	CybozuComG
	Salesforce SalesforceG	SalesforceG
	Box BoxG	BoxG
	Splashtop Enterprise Cloud SplashtopG	SplashtopG
追加クラウドサービス	+	

PasswordManagerロール割当グループ

Webシングルサインオン <small>※ポータル表示のみ</small>	+	
--	---	--

保存 キャンセル

1

アプリケーションロール
割当グループ名を確認

1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

OneGate管理画面 ADユーザーの同期

- AD連携が正常に行われていることと「アプリケーションロール割当グループ」名を確認後、ADサーバー上のユーザーをOneGateに反映するために、必ず同期処理を行ってください。
- 「同期スケジュール設定」に進み、「差分同期スケジュール」の[即時実行]をクリックします。確認画面が表示されるので[はい]をクリックして下さい。画面上部に「同期が開始されました。」というメッセージが表示されます。

同期スケジュール設定

有効 無効

<input type="checkbox"/>	無効 差分同期スケジュール 日指定 08:00/1日毎 通知: 通知しない	変更が必要なユーザー情報だけ同期します。	1 即時実行
<input type="checkbox"/>	有効 完全同期スケジュール 日指定 05:00/1日毎 通知: 通知する(常時)	全てのユーザー情報を同期します。	1 即時実行

確認

差分同期スケジュールを実行します。よろしいですか？

はい いいえ

同期が開始されました。

1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

OneGate管理画面 ADユーザーの同期

- 同期処理の実行状態は、OneGate管理画面左上にある「Soliton OneGate」のロゴをクリックすると表示される「ダッシュボード」から確認ができます。
- 同期処理中の場合は、少し時間をおいてから(数分程度)「表示更新」をクリックして最新の状態を確認して下さい。

The screenshot displays the Soliton OneGate management interface. At the top left, the Soliton OneGate logo is highlighted with a red box. Below the logo is a navigation menu with various options: 利用者管理, クラウド設定, AD設定, 証明書管理, ICカード管理, アプライアンス管理, 同期スケジュール設定 (highlighted with a red box), システム設定, ログ管理, and a user profile dropdown for youraccount@example.com. Below the navigation menu is the 'ダッシュボード' (Dashboard) section, which includes a '設定ウィザード' (Setup Wizard) button. Underneath is an 'お知らせ' (Notice) section with the message '特にお知らせはありません。' (There are no special notices.) and a '表示更新' (Refresh) button. The main section is '最近行われた同期' (Recent Synchronization), which shows a list of synchronization tasks. The first task is '差分同期スケジュール[3415]' (Delta Synchronization Schedule [3415]), dated 2022/11/02 14:21:39. This task is currently in progress, indicated by a progress bar with a '処理中' (Processing) label. The progress bar shows '処理中: 1' (Processing: 1) and '処理待ち: 3' (Waiting for processing: 3). Below the progress bar, it says '即時実行(youraccount@example.com)' (Immediate execution (youraccount@example.com)). A '表示更新' (Refresh) button is highlighted with a red box. At the bottom right of the task entry, there is a red 'X' icon and the text '同期実行の中止' (Stop synchronization execution).

1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

OneGate管理画面

OneGateローカルに直接ユーザーを作成

- OneGateユーザーは、AD連携による登録だけでなくローカルに直接作成することも可能です。
- ローカルユーザーの作成は、手動で1ユーザーずつ登録する方法と、CSVファイルをインポートして一括で複数ユーザーを登録する方法があります。(複数ユーザーのインポート用CSVファイルについては、「Soliton OneGate_AdminGuide」の「付録2 利用者CSVフォーマット」をご確認ください。)

ここでは手動でのローカルユーザー作成方法について説明します。

- 「利用者管理」-「利用者一覧」に進み、[登録]をクリックします。

利用者管理 > 利用者一覧

* AD連携によって作成された利用者の情報を変更するには、AD連携設定 画面から連携元設定の 属性設定 を選択し、変更したい属性の「変更を有効にする」チェックボックスを ON にしてください。

登録 強制同期 削除 インポート ▼ エクスポート ▼

すべて ▼ 検索キーワードを入力して下さい。 🔍

1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

OneGate管理画面

OneGateローカルに直接ユーザーを作成

- 利用者登録画面が表示されますので、ログイン名、姓、名、メールアドレス、パスワードを入力して下さい。
- アプリケーションロール欄の「+」をクリックし、「PasswordManager」にチェックを入れます。
- 全ての項目を入力後、[保存]をクリックします。
- 保存後、ユーザー同期を必ず行ってください(32,33ページ参照)。

利用者登録

ログイン名 * 例: tyamada

姓 例: 山田

名 例: 太郎

メールアドレス 例: tyamada@example.com

(Office 365) Location

アプリケーションロール +

Webシングルサインオン +

パスワード *

パスワード (確認入力) *

利用者によるパスワード変更 * 次回ログイン時にパスワードの変更が必要

保存 キャンセル

アプリケーションロール選択

検索キーワードを入力して下さい。

すべて選択

PasswordManager

desknet's NEO for

OK キャンセル

1 「PasswordManager」にチェックを入れる

1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

OneGate管理画面

クライアント証明書用の招待コード発行

- 利用者がSoliton KeyManagerで証明書発行を行う際に必要となる招待コードを発行します。
- 「証明書管理」-「招待コード管理」に進み、[発行]をクリックします。
- 招待コードを発行するユーザーを選択し、[発行]を行います。

以上でOneGate管理画面での設定は完了です。



1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

SSO設定の登録パターン

- SSO設定には管理者と利用者による2つの登録方法があり、管理者による設定ではさらに2パターンの運用方法があります。

- 管理者によるCSVファイルでの登録(PasswordManager Agentの「組織管理アプリ」に表示)

- ◆ SSO先・代行入力値(ユーザーID/パスワード)を管理者がCSVで設定
- ◆ SSO先は管理者がCSVで設定、ユーザーID/パスワードは利用者が設定

- 利用者による登録(PasswordManager Agentの「個人用アプリ」に表示)



1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

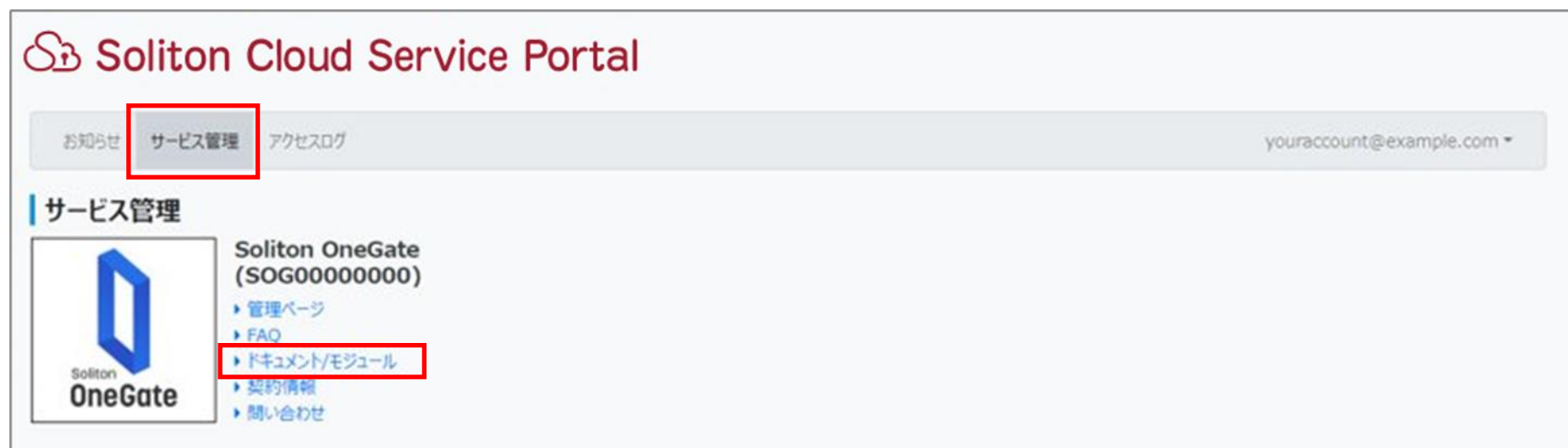
8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

SSO設定ツールのインストール

- サービスポータルを開き、「サービス管理」-「ドキュメント/モジュール」よりSSO設定ツール「SSO SettingTools」のzipファイルをダウンロードします。ダウンロード先は「PasswordManagerでSSOを行うWebアプリ・ネイティブアプリが利用できる端末」です。



1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

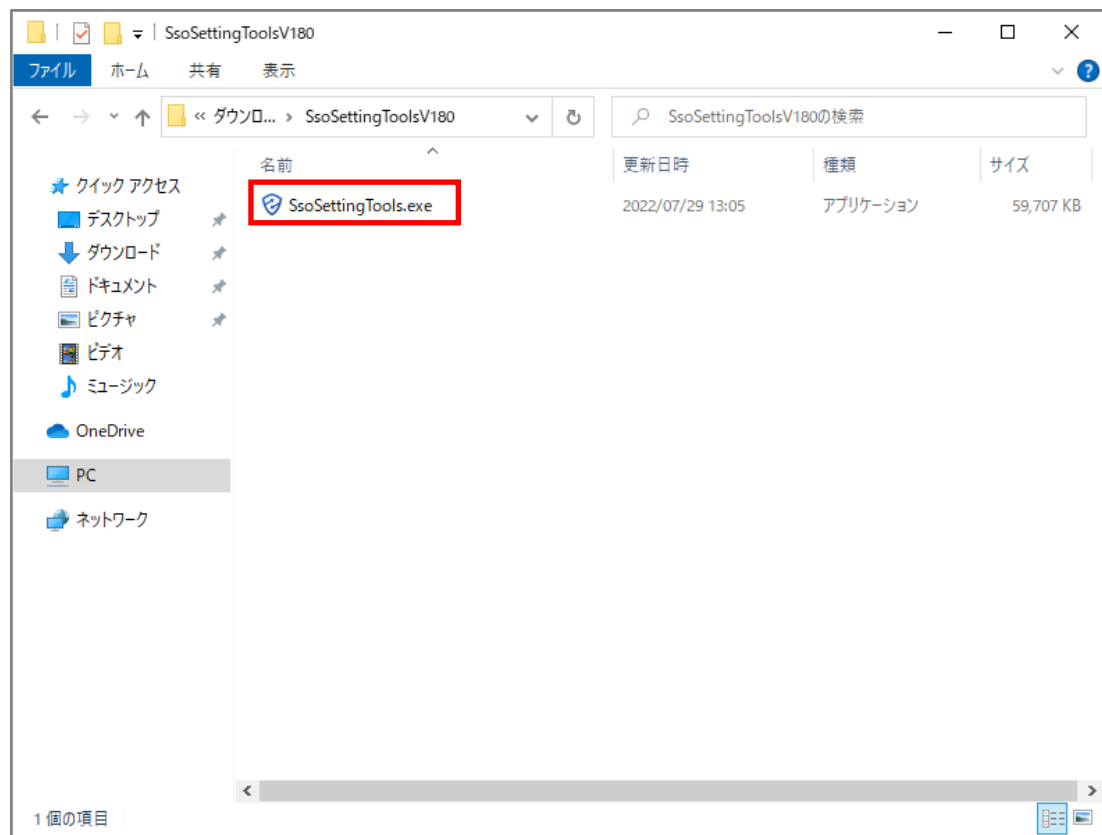
8 SKMインストール

9 証明書発行

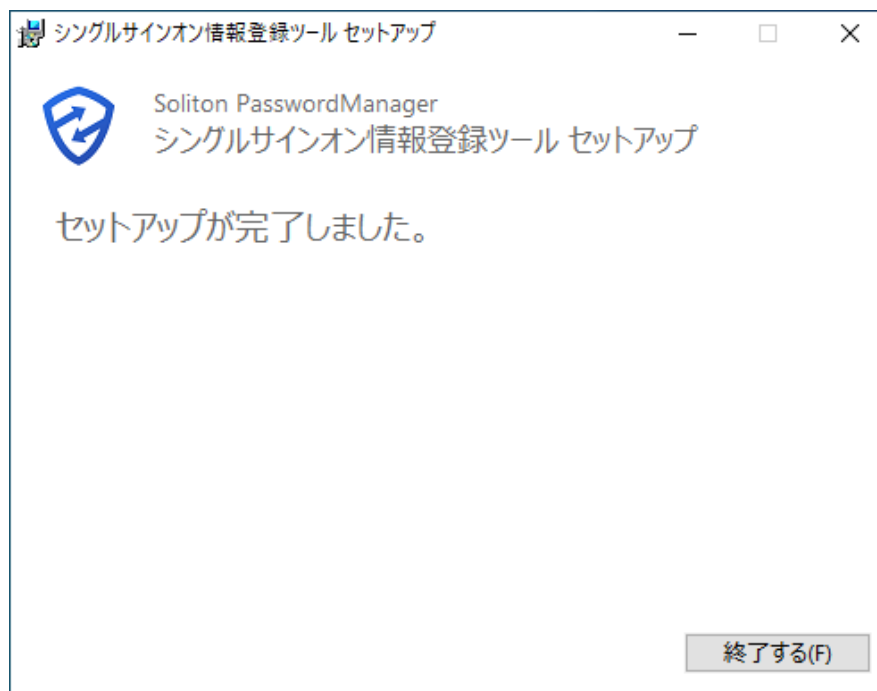
10 SPMインストール・SSO

SSO設定ツールのインストール

- ダウンロードしたzipファイルを解凍し、「SsoSettingTools.exe」をダブルクリックで実行します。
- 「シングルサインオン情報登録ツール」のセットアップウィザードが始まるので、画面に沿って進みインストールを完了します。



<インストール完了画面>



① OneGate設定

② AD連携

③ ローカルユーザ作成

④ 招待コード発行

⑤ AppSSO設定

⑥ SPMインストール

⑦ WebSSO設定

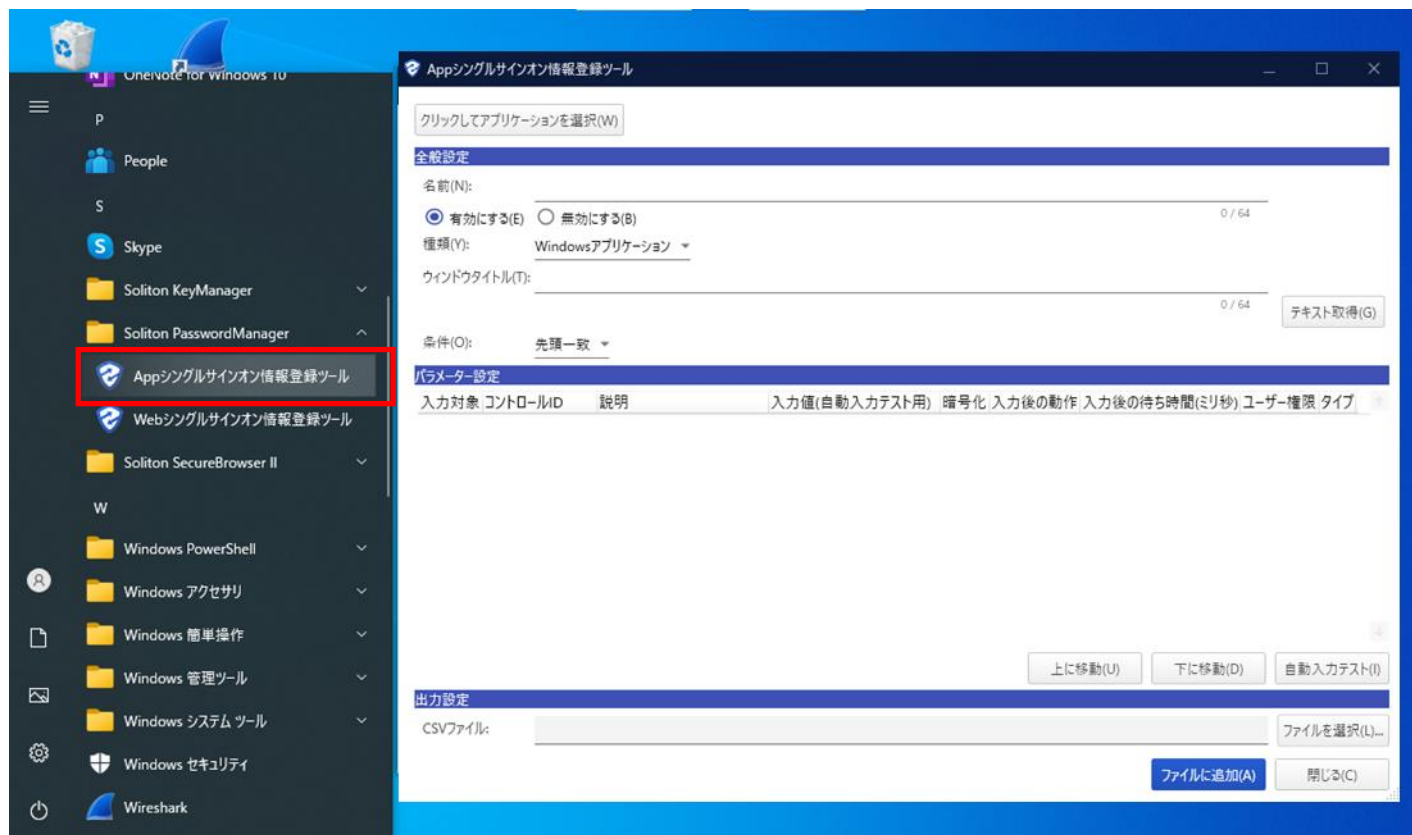
⑧ SKMインストール

⑨ 証明書発行

⑩ SPMインストール・SSO

管理者によるAppSSO設定の登録(組織管理アプリ) 設定ツールでSSO設定ファイルを作成 ネイティブアプリ編

- まずは、以下のパターンでのAppシングルサインオン設定の手順です。
 - 管理者によるCSVファイルでの設定(PasswordManager Agentの「組織管理アプリ」に表示)
 - ◆ SSO先・代行入力値(ユーザーID/パスワード)を管理者がCSVで登録
- インストールした「Appシングルサインオン情報登録ツール」を起動します。



1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

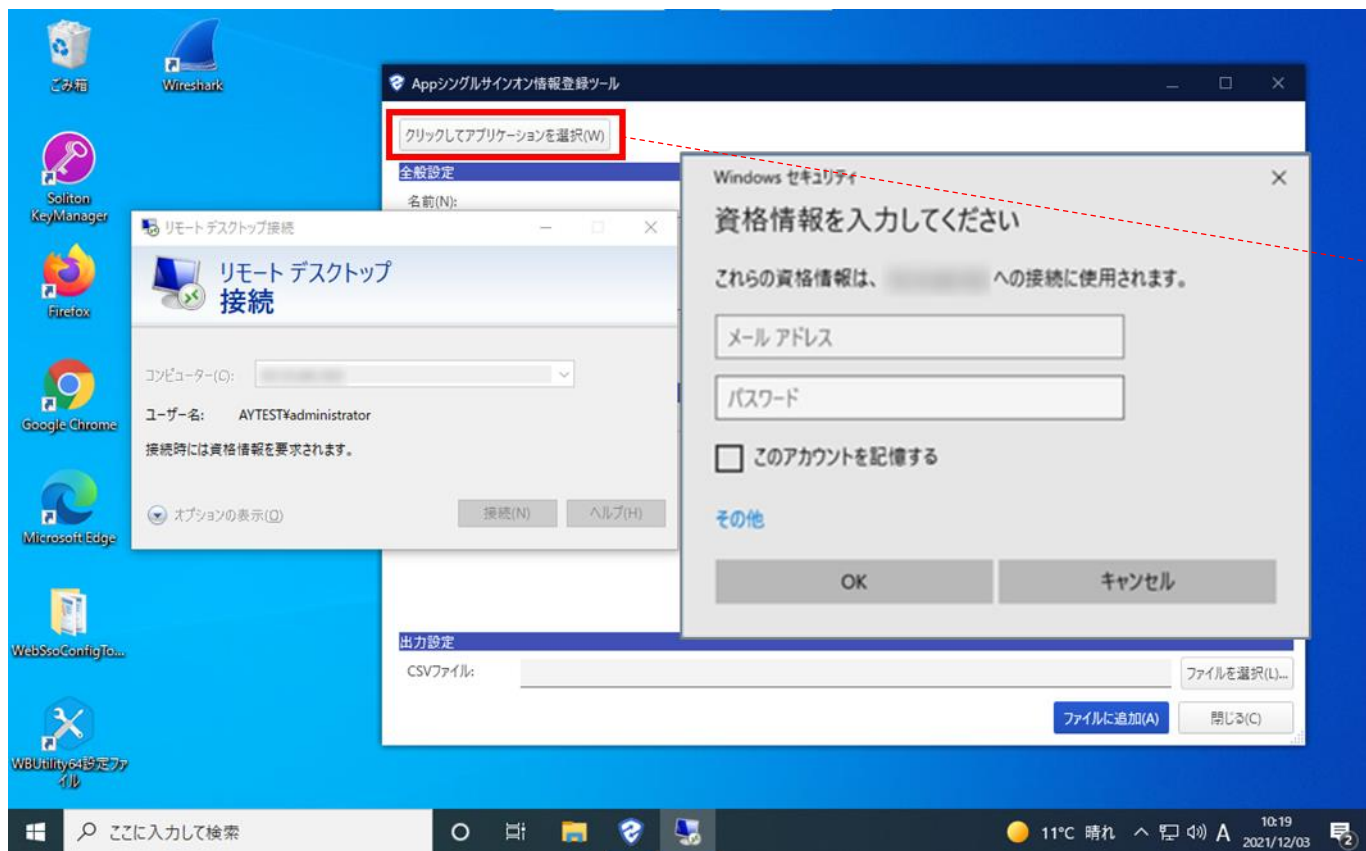
8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

管理者によるAppSSO設定の登録(組織管理アプリ) 設定ツールでSSO設定ファイルを作成 ネイティブアプリ編

- SSOを行うアプリ(今回は「リモートデスクトップ接続」)を起動します。
- 接続先情報を入力し[接続]をクリックすると、ユーザー名/パスワードの入力画面が表示されます。
この画面が表示された状態で、登録ツールの[クリックしてアプリケーションを選択(W)]をクリックします。

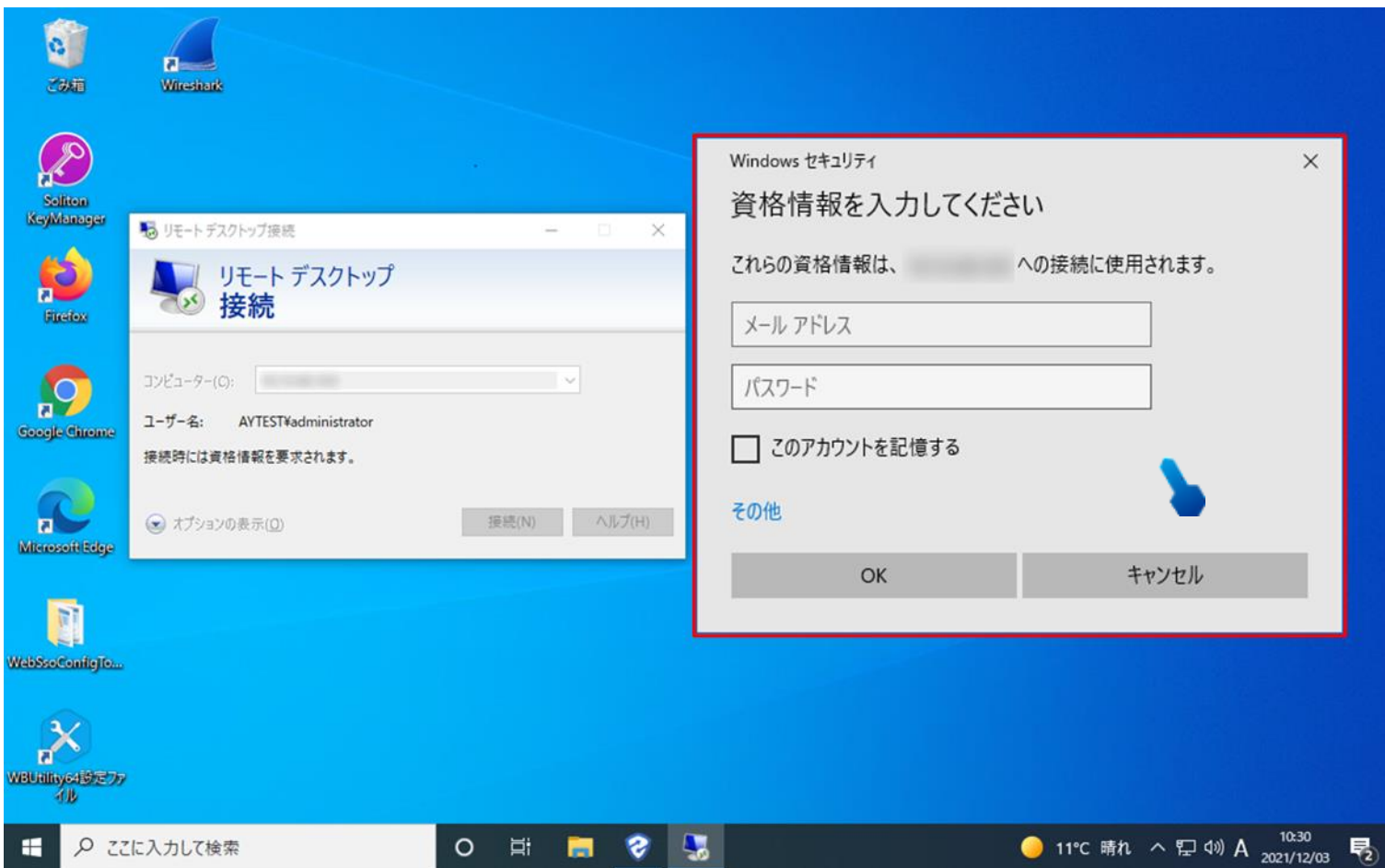


1 ログイン画面が表示された状態で、ここをクリック

- 1 OneGate設定
- 2 AD連携
- 3 ローカルユーザ作成
- 4 招待コード発行
- 5 AppSSO設定
- 6 SPMインストール
- 7 WebSSO設定
- 8 SKMインストール
- 9 証明書発行
- 10 SPMインストール・SSO

管理者によるAppSSO設定の登録(組織管理アプリ) 設定ツールでSSO設定ファイルを作成 ネイティブアプリ編

- カーソルがスポイトに変化するので、そのスポイトをログイン画面のウィンドウに合わせ、クリックします。
(スポイトをウィンドウに合わせると、下の画像右側のようにウィンドウが赤い枠で囲われます。)



1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

管理者によるAppSSO設定の登録(組織管理アプリ) 設定ツールでSSO設定ファイルを作成 ネイティブアプリ編

- ログイン画面をスポイトで選択すると、登録ツールに読み取った情報が反映されます。
「サブタイトル(S):」にはリモートデスクトップの接続先情報が反映されます。
(代行入力時にアプリケーションを検索する際に、ウィンドウタイトルに加えてサブタイトルも検索条件に加えることができます。その場合、サブタイトルに指定した値が見つからない場合は代行入力を行いません。)
- 「パラメーター設定」の「入力値(自動入力テスト用)」欄にログイン情報を入力します。
- 自動入力が正常に行われることを確認するため、[自動入力テスト(I)]を行ってください。

Appシングルサインオン情報登録ツール

クリックしてアプリケーションを選択(W)

全般設定

名前(N): _____ 0 / 64

有効にする(E) 無効にする(B)

種類(Y): Windowsセキュリティダイアログ

ウィンドウタイトル(T): Windows セキュリティ

サブタイトル(S): _____ テキスト取得(G)

条件(O): 含む

パラメーター設定

入力対象	対象	説明	入力値(自動入力テスト用)	暗号化	入力後の動作	入力後の待ち時間(ミリ秒)	ユーザー権限	タイプ
<input checked="" type="checkbox"/>	ユーザー名	ユーザー名	user01	<input type="checkbox"/>	何もしない	0	読み書き	なし
<input checked="" type="checkbox"/>	パスワード	パスワード	●●●●●●●●	<input checked="" type="checkbox"/>	デフォルトまたはEnterキー	1000	読み書き	なし

5 / 64 5 / 64

上に移動(U) 下に移動(D) **自動入力テスト(I)**

出力設定

CSVファイル: _____ ファイルを選択(L)...

ファイルに追加(A) 閉じる(C)

1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

管理者によるAppSSO設定の登録(組織管理アプリ) 設定ツールでSSO設定ファイルを作成 ネイティブアプリ編

- 自動入力が行われることを確認後、そのほかの設定を行います。
- 「名前(N):」に、任意のSSO先名称を入力します。
- 今回はSSO先・代行入力値(ユーザーID/パスワード)を管理者がCSVで登録する運用例なので、「パラメータ設定」-「ユーザー権限」はすべて「読み取り専用」もしくは「非表示」と設定します。
- 「タイプ」はそれぞれ「ユーザー名」「パスワード」を設定します。
- 上記の設定完了後、「出力設定」-[ファイルを選択(L)...]よりCSVファイルの保存先を指定し、[ファイルに追加(A)]をクリックします(デフォルトのファイル名は「appsso.csv」)。

入力対象	対象	説明	入力値(自動入力テスト用)	暗号化	入力後の動作	入力後の待ち時間(ミリ秒)	ユーザー権限	タイプ
<input checked="" type="checkbox"/>	ユーザー名	ユーザー名	user01	<input type="checkbox"/>	何もしない	0	読み取り専用	ユーザー名
<input checked="" type="checkbox"/>	パスワード	パスワード	●●●●●●●●	<input checked="" type="checkbox"/>	デフォルトまたはEnterキー	1000	読み取り専用	パスワード

1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

管理者によるAppSSO設定の登録(組織管理アプリ) ユーザーSSO設定ファイルを作成 ネイティブアプリ編

- ユーザーSSO設定ファイルは、先ほどの設定ツールからは生成されないため手動で作成する必要があります。
- CSV形式で保存可能な表計算ソフトなどで、以下のような表を作成します。

#user_name	app_sso_name	param.index	param.plain_value

<カラム説明>

カラム	説明
user_name	シングルサインオンを設定するOneGateのユーザー名。(必須)
app_sso_name	シングルサインオンを行うアプリケーション設定名。 SSO設定ファイル(appsso.csv)の[#name]カラムと同じ値を入力する。(必須)
param.index	パラメータのインデックス。 SSO設定ファイル(appsso.csv)の[param.index]カラムと同じ値を入力する。(必須)
param.plain_value	実際に自動入力させるユーザーごとのパラメータ(ユーザー名/パスワード等)。 利用者自身に設定させるために空の既定値を設定する場合、 ダブルクォーテーションで囲んだ空データ("")を指定してください。(必須)

① OneGate設定

② AD連携

③ ローカルユーザ作成

④ 招待コード発行

⑤ AppSSO設定

⑥ SPMインストール

⑦ WebSSO設定

⑧ SKMインストール

⑨ 証明書発行

⑩ SPMインストール・SSO

管理者によるAppSSO設定の登録(組織管理アプリ) ユーザーSSO設定ファイルを作成 ネイティブアプリ編

- 作成した表に、ユーザーごとの値を入力して[保存]します。

<SSO設定ファイル>

	A	B	C	D	E	F	G	
1	#name	s_enabled	type	title	subtitle	condition	param.index	param.
2	リモートデスクトップ接続	1	1	Windows セキュリティ		2	0	メール
3	リモートデスクトップ接続	1	1	Windows セキュリティ		2	1	パスワード
4								

	A	B	C	D
1	#user_name	app_sso_name	param.index	param.plain_value
2	tyamada	リモートデスクトップ接続	0	user01
3	tyamada	リモートデスクトップ接続	1	password
4				

1 それぞれ同じ値を入力

<ユーザーSSO設定ファイル>

1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

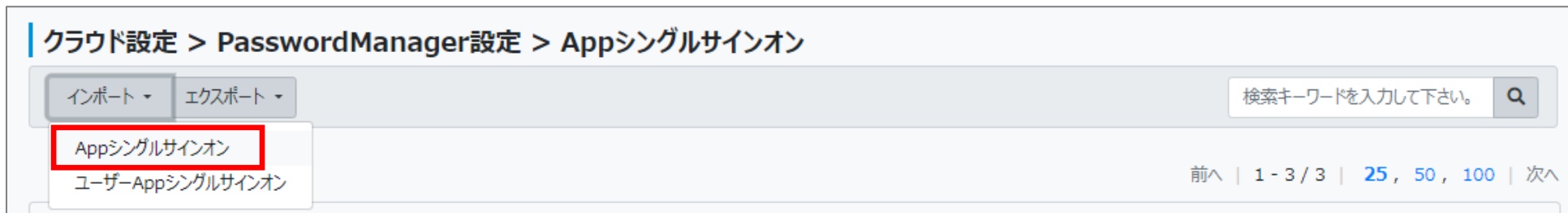
8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

管理者によるAppSSO設定の登録(組織管理アプリ) 2つのSSO設定ファイルをインポート ネイティブアプリ編

- 作成した2つのSSO設定ファイルを、OneGateにインポートします。
- 「クラウド設定」-「PasswordManager設定」-「Appシングルサインオン設定」に進み、[インポート]から「Appシングルサインオン」を選択します。
- インポート種類は「追加」のまま、先ほど作成したSSO設定ファイル(appsso.csv)を選択し、[インポート]をクリックします。
- 「インポートが完了しました。」と画面上部に表示され、SSO先が追加されます。



1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

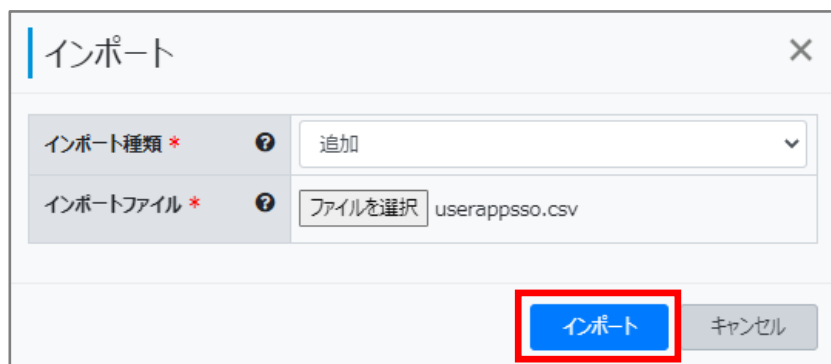
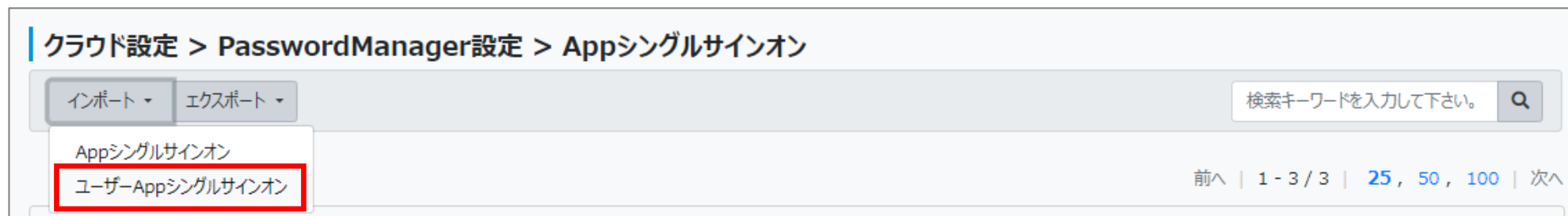
8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

管理者によるAppSSO設定の登録(組織管理アプリ) 2つのSSO設定ファイルをインポート ネイティブアプリ編

- 次は[インポート]から「ユーザーAppシングルサインオン」を選択します。
- インポート種類は「追加」のまま、先ほど作成したユーザーSSO設定ファイルを選択し、[インポート]をクリックします。
- 「インポートが完了しました。」と画面上部に表示されれば、Appシングルサインオンの設定は完了です。



1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

管理者によるAppSSO設定の登録(組織管理アプリ) モバイルアプリ編

- 続いては以下のパターンでの、モバイルアプリシングルサインオン設定の手順です。
 - 管理者によるCSVファイルでの登録(PasswordManager Agentの「組織管理アプリ」に表示)
 - ◆ SSO先は管理者がCSVで設定、ユーザーID/パスワードは利用者が
(Windows版SPMAgentで)設定
- モバイル端末上のアプリに対して代行入力SSOを行う場合、
基本的にはAppシングルサインオンの設定をOneGateに登録いただく必要がありますが、
LINE WORKSやSalesforceなど、アプリ内の画面がWebコンテンツとなっている場合には、
Webシングルサインオンの設定をOneGateに登録いただく必要があります。
- Appシングルサインオン設定を登録してもアプリへの代行入力SSO情報が表示されない場合は、
Webシングルサインオン設定をお試してください。
- Webシングルサインオンの設定方法については、[73ページ](#)から記載しています。

1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

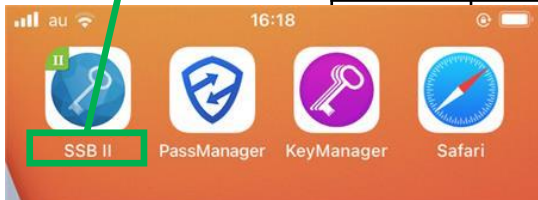
10 SPMインストール・SSO

管理者によるAppSSO設定の登録(組織管理アプリ) SSO設定ファイルを作成 モバイルアプリ編

- Appシングルサインオンに設定ファイルをインポートする場合は、以下のSSO設定用のCSVファイルを作成します。
(A~H列2,3行目は必須です。I~O列2,3行目の値はモバイルアプリ用SSOの登録には必要ありませんので。)
- A列の“#name”欄には、モバイルアプリのアイコン表示名を入力します。
今回はユーザーID/パスワードは利用者が設定する運用例なので、
F列の“param.edit_type”欄には、username:1、password:1(1:パラメーター変更可)を入力します。
- 今回ユーザーID/パスワードは利用者が設定するため、ユーザーSSO設定ファイルは必要ありません。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	#name	is_enabled	type	title	param.index	param.edit_type	param.value_type	param.is_encrypted
2	SSB II	1	3	Soliton SecureBrowser II	0	1	username	0
3	SSB II	1	3	Soliton SecureBrowser II	1	1	password	1

I	J	K	L	M	N	O
subtitle	condition	param.description	param.control_id	param.target	param.next_action	param.next_interval



1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

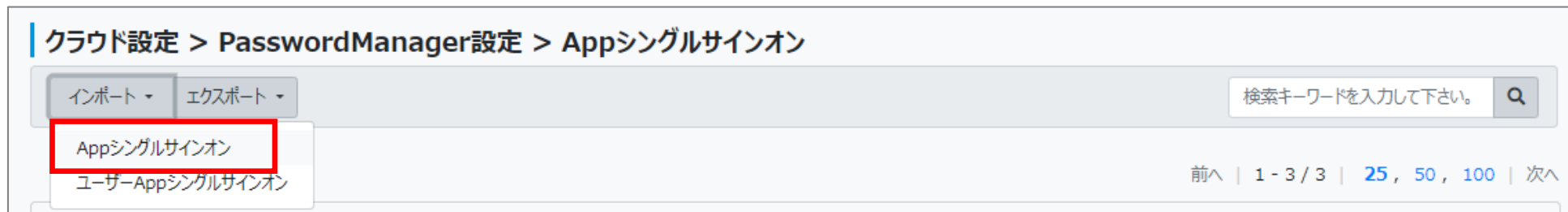
10 SPMインストール・SSO

管理者によるAppSSO設定の登録(組織管理アプリ) SSO設定ファイルをインポート モバイルアプリ編

- OneGate管理画面の「クラウド設定」-「PasswordManager設定」-「Appシングルサインオン設定」より作成した2つのSSO設定ファイルを、Appシングルサインオンにインポートします。

以上でモバイルアプリシングルサインオン設定の管理者側の操作は完了です。

(利用者によるパスワードの設定方法については[こちらから](#)ご確認ください。)



1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

管理者によるAppSSO設定の登録(組織管理アプリ) ユーザーSSO設定ファイルの作成 モバイルアプリ編

1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

※補足

- 以下のような運用を行う際は、下のカラム説明を参考にユーザーSSO設定用のCSVファイルを作成し、OneGateにインポートします。

□ 管理者によるCSVファイルでの設定(PasswordManager Agentの「組織管理アプリ」に表示)

◆ SSO先・代行入力値(ユーザーID/パスワード)を管理者がCSVで登録

	A	B	C	D
1	#user_name	app_sso_name	param.index	param.plain_value
2	tyamada	SSB II	0	tyamada
3	tyamada	SSB II	1	password

1

PasswordManagerが
代行入力する値を設定

<カラム説明>

カラム	説明
#user_name	シングルサインオンを設定するOneGateのユーザー名。(必須)
app_sso_name	シングルサインオンを行うアプリケーション設定名。 SSO設定ファイル(前ページで作成)の[#name]カラムと同じ値を入力する。(必須)
param.index	パラメータのインデックス。SSO設定ファイルの[param.index]カラムと 同じ値を入力する。(必須)
param.plain_value	実際に自動入力させるユーザーごとのパラメータ(ユーザー名/パスワード等)。(必須)

PasswordManagerをインストール

- 管理者または利用者自身でのSSO先登録やパラメーター設定、「Webシングルサインオン情報登録ツール」の使用には、PasswordManager Agentのインストールと各ブラウザへのプラグインの追加が必要です。
- 以下のページより、端末にSoliton PasswordManagerをダウンロードします。
https://www.soliton.co.jp/download/ssx_download.html
- Windowsの場合：
Soliton PasswordManagerの「Windows版 ダウンロードはこちら」よりダウンロードしてください。



1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

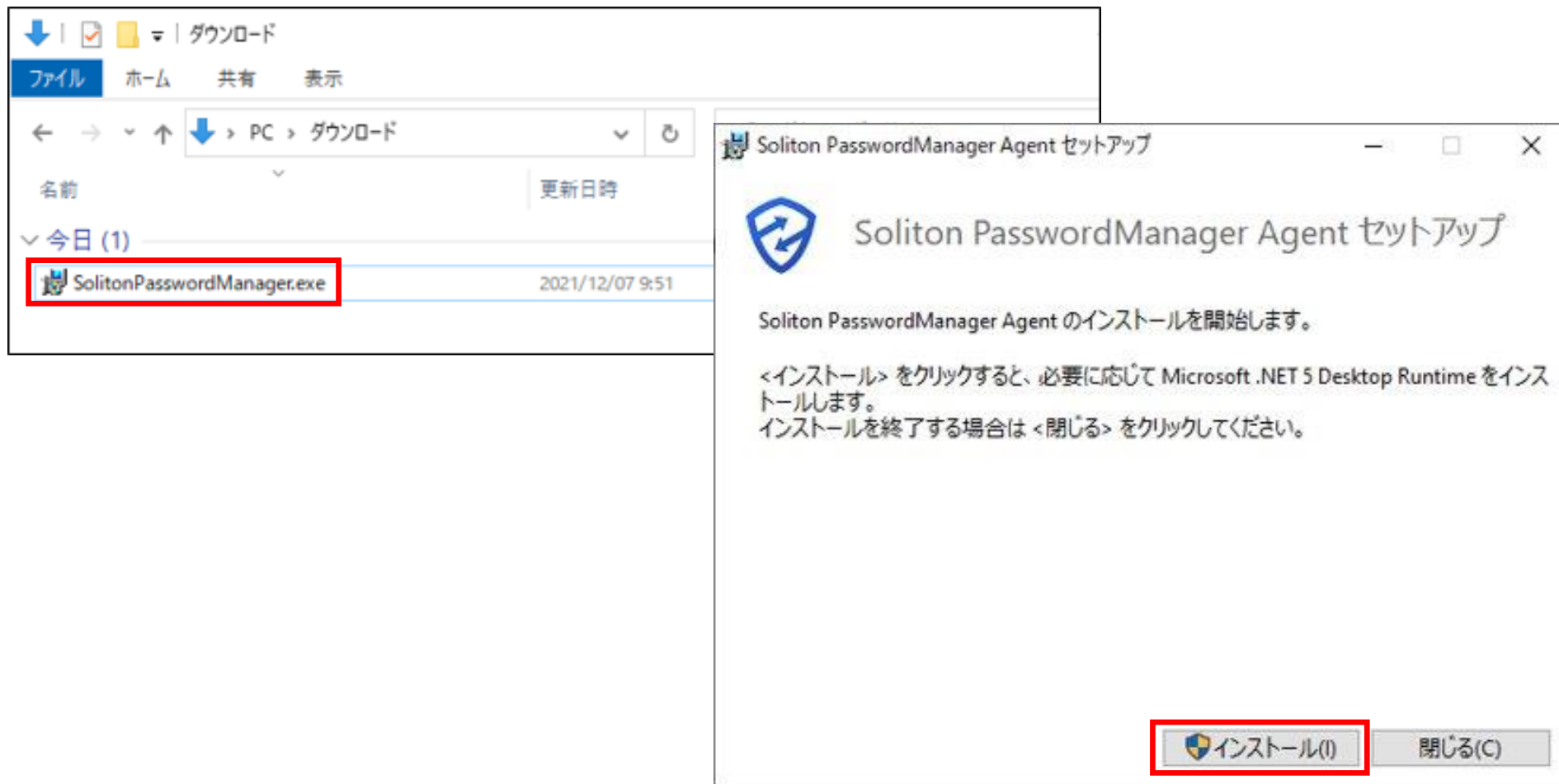
8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

PasswordManagerをインストール

- ダウンロードしたインストーラーを、ダブルクリックで実行してください。
- PasswordManager Agentのセットアップウィザードが開始されますので、画面に沿ってインストールを行います。



① OneGate設定

② AD連携

③ ローカルユーザ作成

④ 招待コード発行

⑤ AppSSO設定

⑥ SPMインストール

⑦ WebSSO設定

⑧ SKMインストール

⑨ 証明書発行

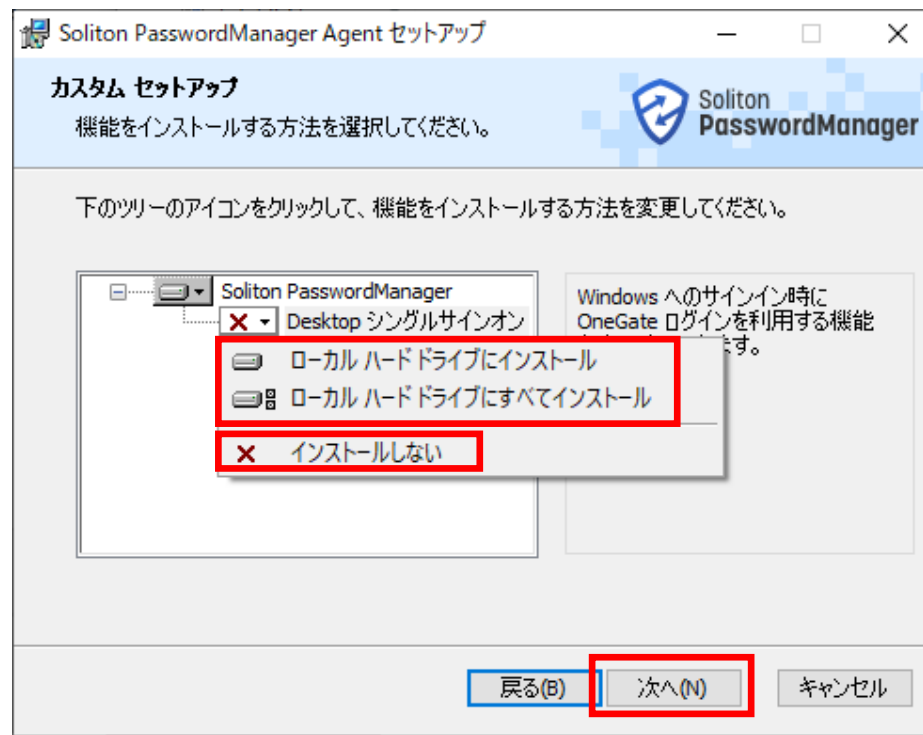
⑩ SPMインストール・SSO

PasswordManagerをインストール

- PasswordManagerのWindowsサインイン機能を利用する場合は「ローカルハードドライブにインストール」または「ローカルハードドライブにすべてインストール」を選択します。利用しない場合は、「インストールしない」を選択し、「次へ」進みます。

※Windowsサインインの設定方法については、「SPM Windowsサインイン利用開始ガイド」をご確認ください。

- インストールが完了すると、ブラウザ拡張機能のインストール案内画面が自動で表示されます。PasswordManagerの利用には各ブラウザにそれぞれの拡張機能をインストールする必要があり、Google ChromeとMicrosoft Edge、Internet Explorer、Firefoxでインストール方法がそれぞれ異なります。次のスライドからそれぞれの設定方法について説明します。



1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

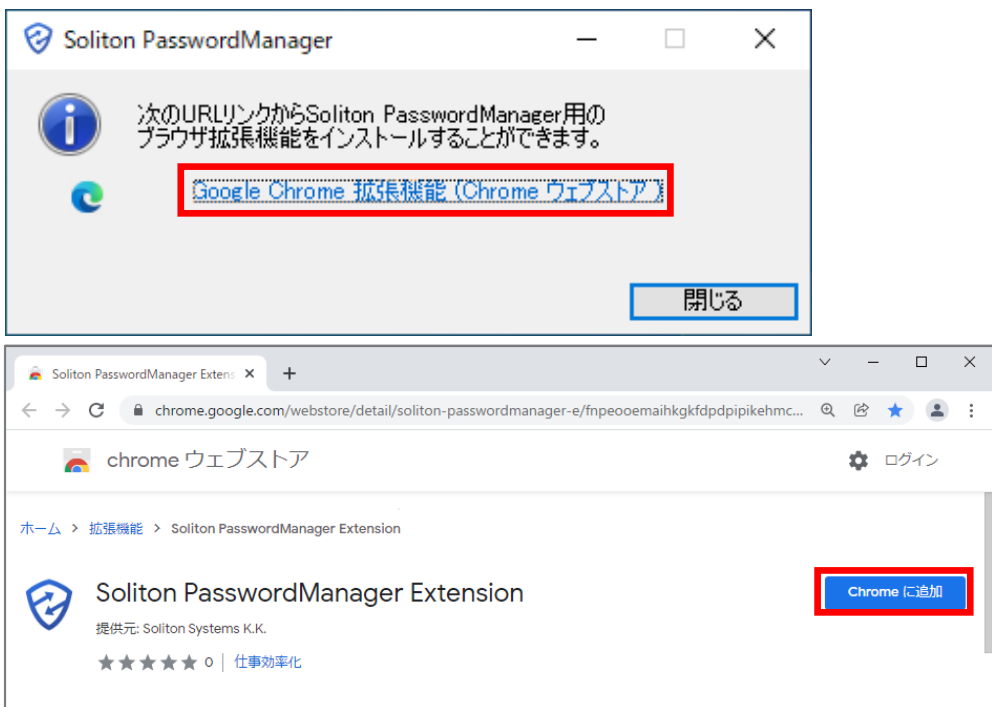
10 SPMインストール・SSO

PasswordManager用ブラウザ拡張機能をインストール

● Google Chrome、Microsoft Edgeの場合

PasswordManagerインストール完了後に表示された、ブラウザ拡張機能のインストール案内画面に表示されている「Google Chrome 拡張機能(Chromeウェブストア)」のリンクをクリックします。拡張機能インストール画面が開かれるので、[Chromeに追加]をクリック後、ポップアップウィンドウで[拡張機能を追加]をクリックします。

拡張機能追加後、ブラウザ右上にPasswordManagerのアイコンが表示されればインストールは完了です。



1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

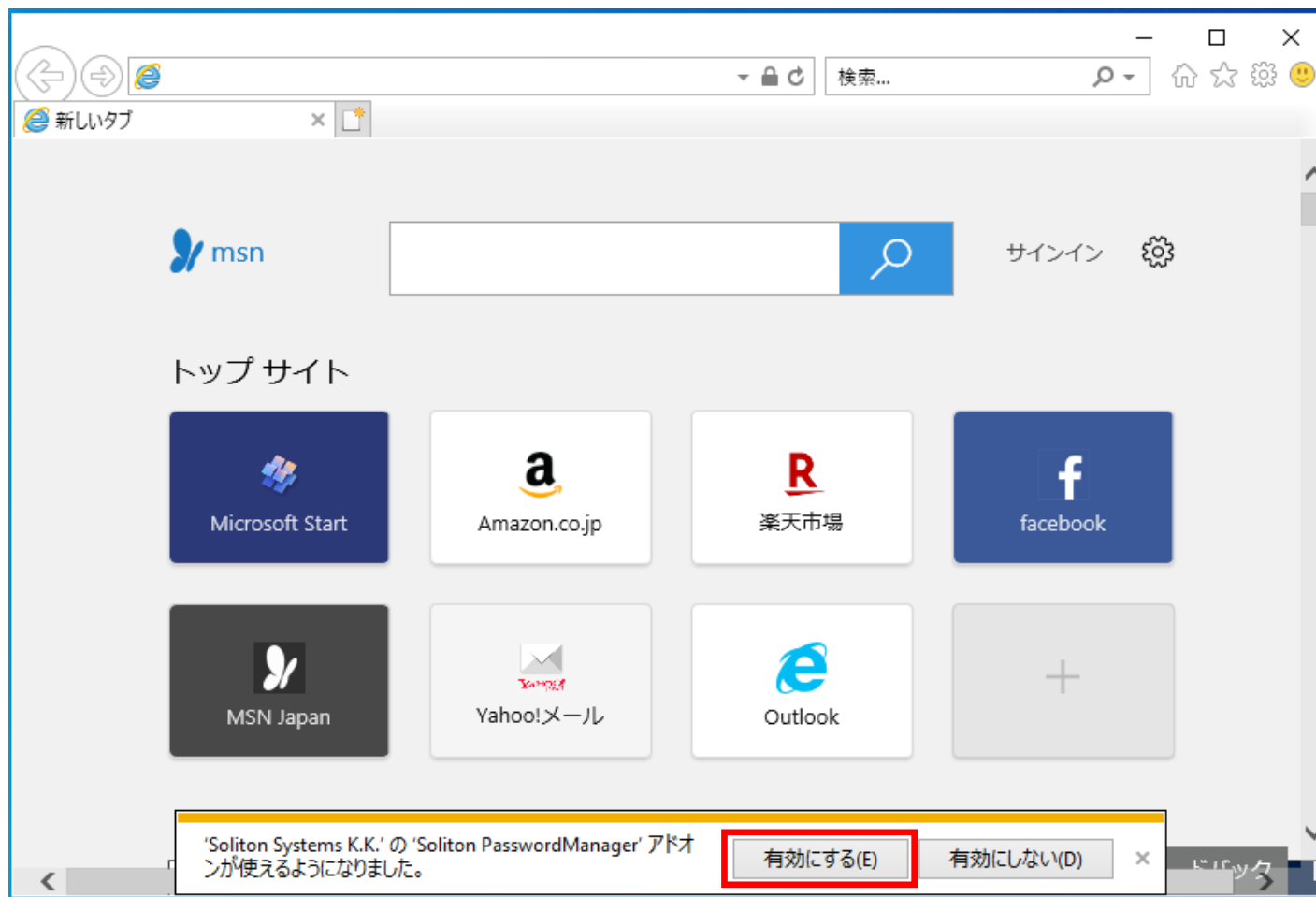
9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

PasswordManager用ブラウザ拡張機能をインストール

● Internet Explorerの場合

PasswordManagerインストール後、Internet Explorerの初回起動時にアドオンの有効化について確認メッセージが表示されますので、[有効にする]をクリックします。



1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

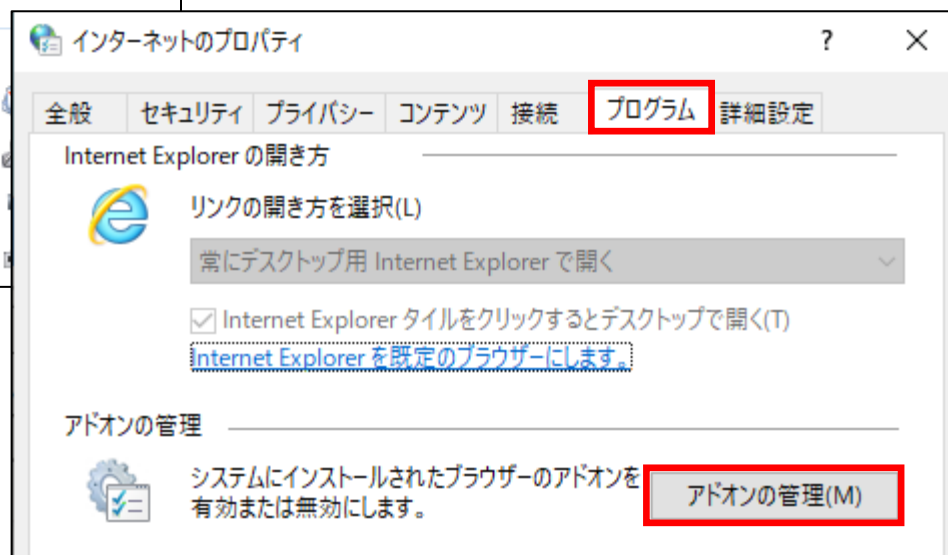
9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

PasswordManager用ブラウザ拡張機能をインストール

- インターネットオプションよりアドオンを有効にする場合

Microsoft EdgeでInternet Explorerモードを使用している場合は、アドオンを有効にするための確認メッセージが表示されないため、インターネットオプションより設定を有効にする必要があります。コントロールパネルから「インターネットオプション」を開き、[プログラム]タブで[アドオンの管理]をクリックします。



1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

PasswordManager用ブラウザ拡張機能をインストール

- インターネットオプションよりアドオンを有効にする場合

表示されるアドオンの一覧からSoliton PasswordManagerを選択し、ウィンドウ右下の[有効にする]をクリックして、設定は完了です。

アドオンの管理

Internet Explorer アドオンの表示と管理

アドオンの種類	名前	発行元	状態	アーキテクチャ	読み込み時...	ナビゲーショ...
ツールバーと拡張機能(T)	Microsoft Corporation					
検索プロバイダー(S)		Microsoft Corporation	有効	32ビットと6...		
アクセラレータ(A)		Microsoft Corporation	有効	32ビットと6...	0.00秒	0.00秒
追跡防止(K)	Soliton Systems K.K.					
	Soliton PasswordManager	Soliton Systems K.K.	無効	32ビットと6...	(0.01秒)	(0.00秒)

表示:
すべてのアドオン

Soliton PasswordManager
Soliton Systems K.K.

バージョン: 3.2.0.0
ファイル日付: 2021年11月30日、15:27
詳細情報(R)

種類: ブラウザーヘルパーオブジェクト
既定の検索プロバイダーでこのアドオンを検索(C)

有効にする(E)

追加のツールバーと拡張機能を検索(F)...
ツールバーと拡張機能の詳細(N)

閉じる(L)

1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

PasswordManager用ブラウザ拡張機能をインストール

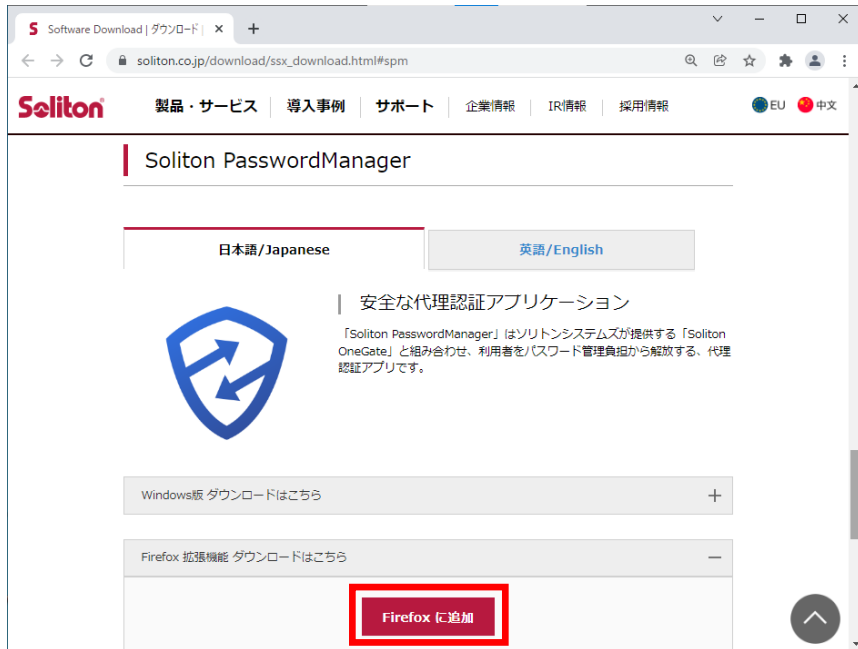
● Firefox の場合

以下のダウンロードページより、Firefox用の拡張機能をダウンロードします。

https://www.soliton.co.jp/assets/archive/ssx_download/soliton_passwordmanager_extension-1.4.0.7-fx.xpi

「Firefox 拡張機能 ダウンロードはこちら」から[Firefox に追加]をクリックし、拡張機能ファイルをダウンロードします。

Firefoxブラウザを開き、右上のメニューより「アドオンとテーマ」をクリックします。



1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

PasswordManager用ブラウザ拡張機能をインストール

1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

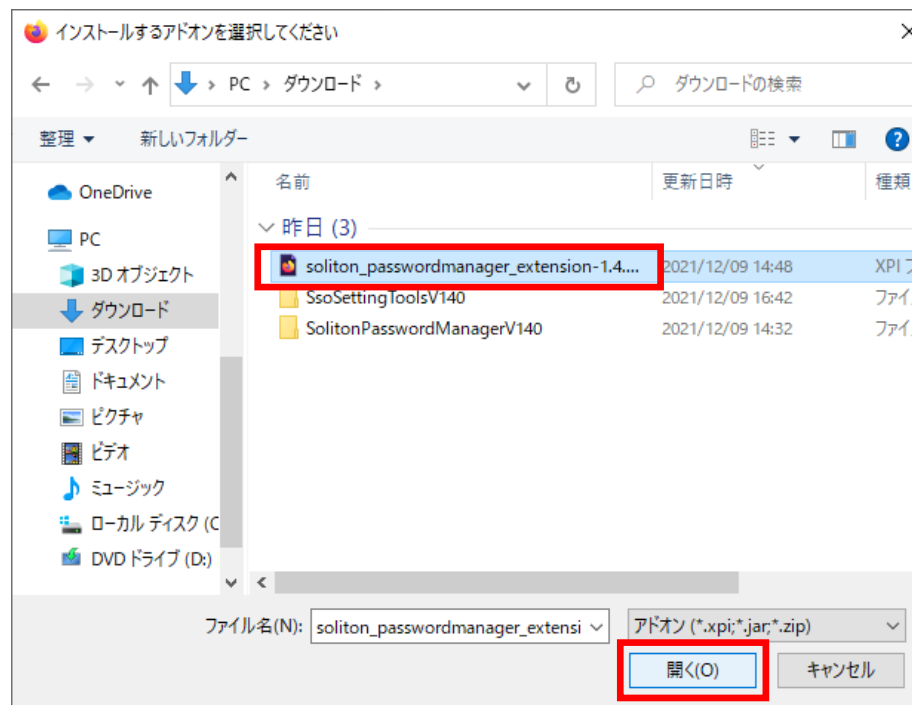
9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

● Firefox の場合

拡張機能の管理画面がひらかれるので、画面右上の歯車ボタンをクリックし「ファイルからアドオンをインストール」をクリックします。

先ほどダウンロードしたFirefoxの拡張機能ファイルを選択し、「開く」をクリックします。

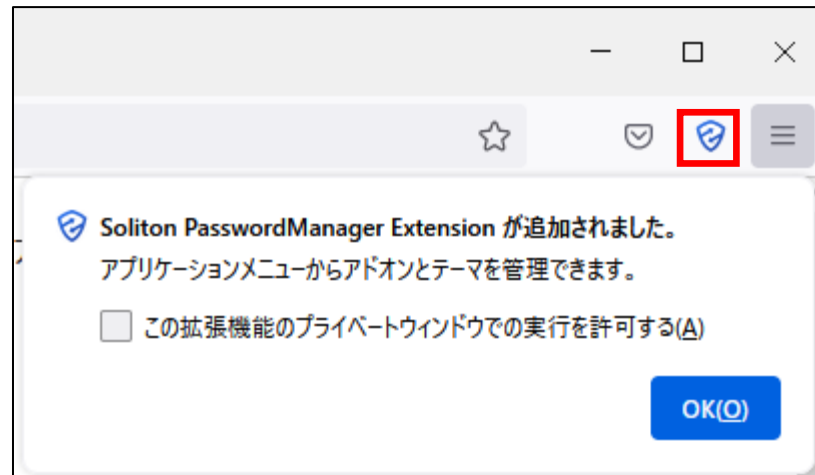
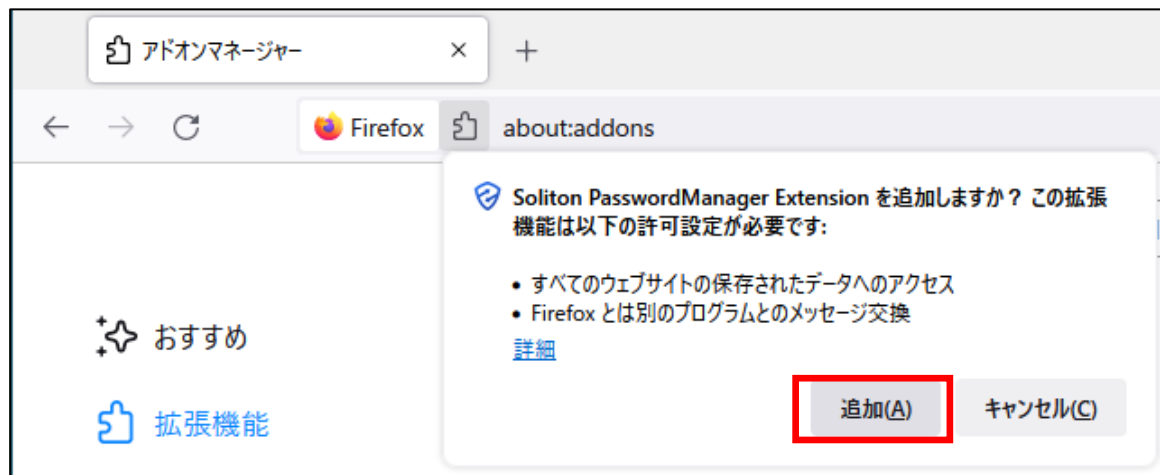


PasswordManager用ブラウザ拡張機能をインストール

● Firefox の場合

追加確認のポップアップウィンドウが表示されるので、[追加]をクリックします。

拡張機能追加後、ブラウザ右上にPasswordManagerのアイコンが表示されればインストールは完了です。



1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

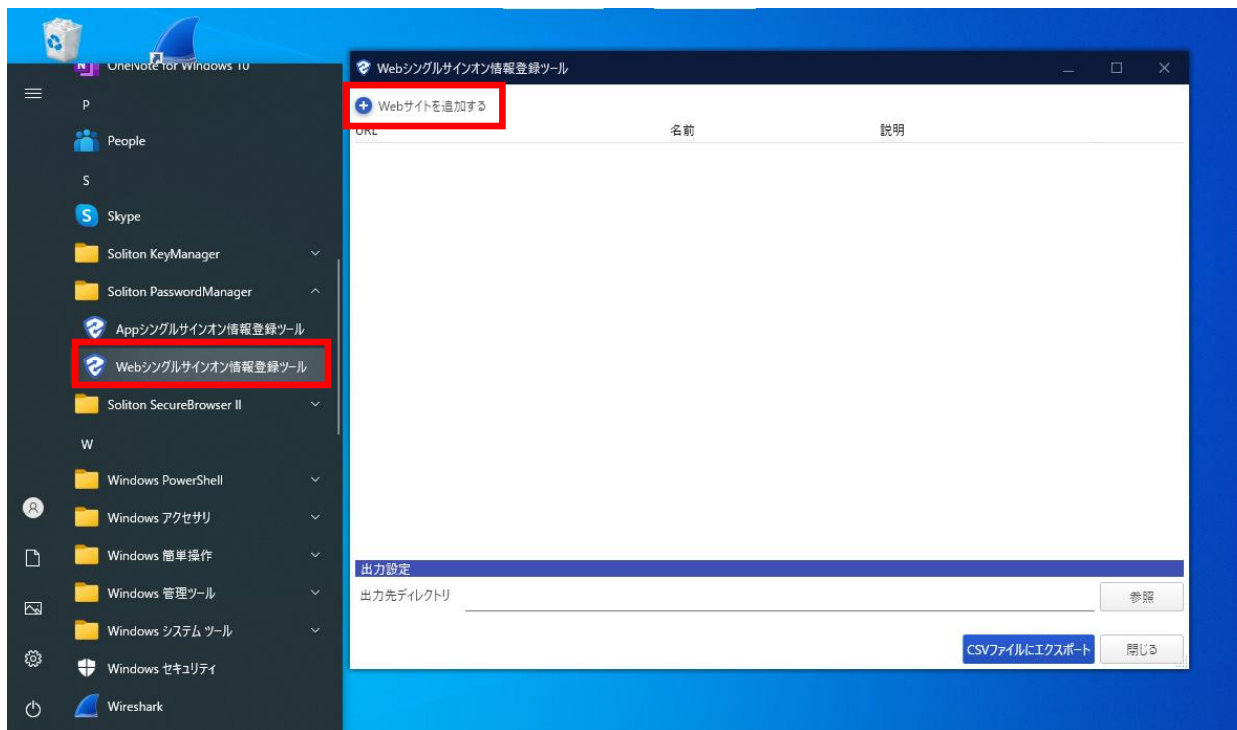
8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

管理者によるWebSSO設定の登録(組織管理アプリ) 設定ツールでSSO設定ファイルを作成 Webアプリ編

- ここからは、以下パターンでのWebシングルサインオン設定の手順です。
 - 管理者によるCSVファイルでの登録(PasswordManager Agentの「組織管理アプリ」に表示)
 - ◆ SSO先・代行入力値(ユーザーID/パスワード)を管理者がCSVで設定
- 「Webシングルサインオン情報登録ツール」を起動します。
- ウィンドウ左上の「Webサイトを追加する」をクリックし、設定画面を開きます。



1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

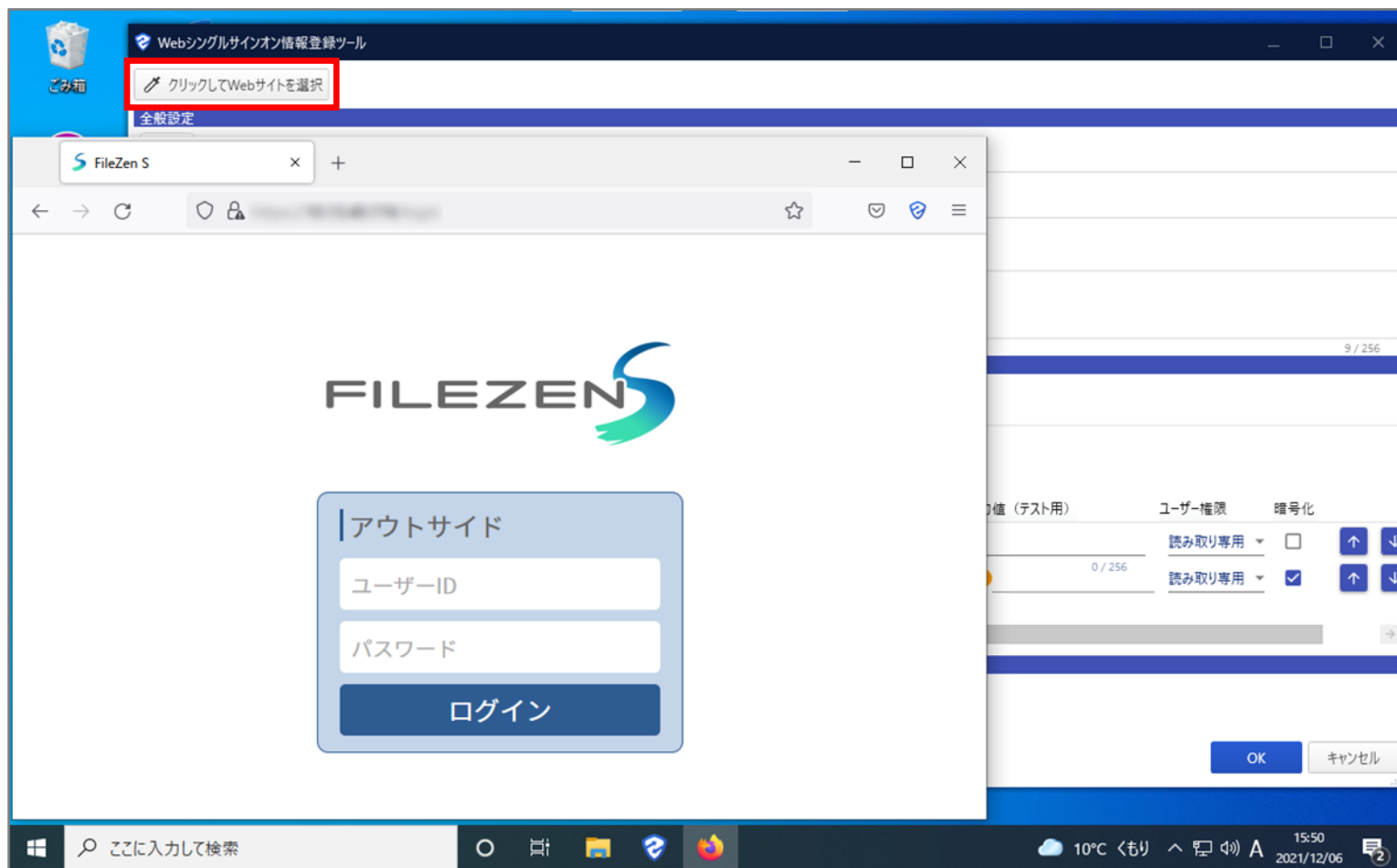
8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

管理者によるWebSSO設定の登録(組織管理アプリ) 設定ツールでSSO設定ファイルを作成 Webアプリ編

- ブラウザで、SSOを行うWebサイト(今回は「FileZen S」)のログイン画面を開きます。
- ログイン画面を表示した状態で、登録ツールの[クリックしてWebサイトを選択]をクリックします。



1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

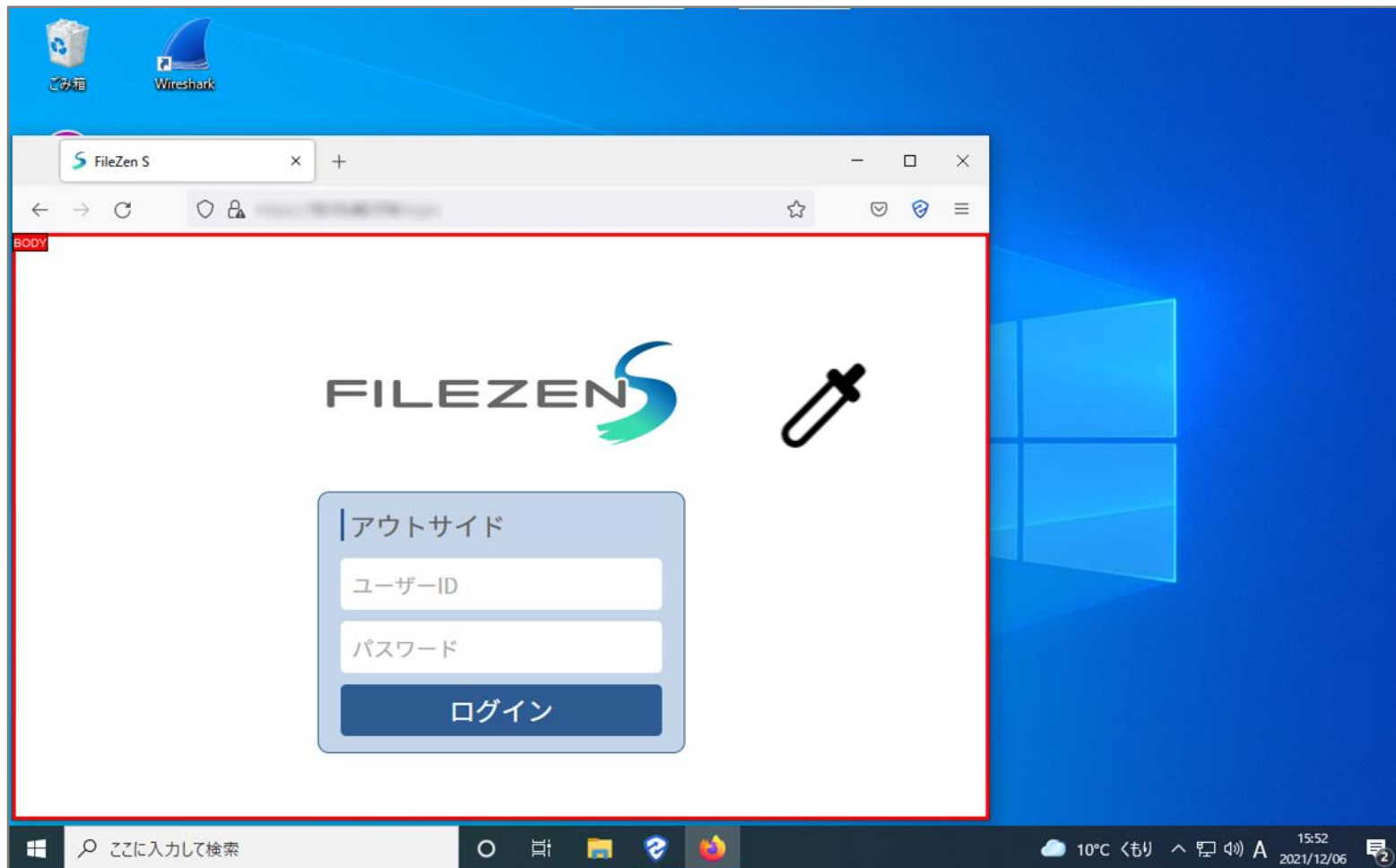
8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

管理者によるWebSSO設定の登録(組織管理アプリ) 設定ツールでSSO設定ファイルを作成 Webアプリ編

- [クリックしてWebサイトを選択]をクリックするとカーソルがスポイトに変化するので、そのスポイトをログイン画面のウィンドウに合わせ、クリックします。
(スポイトをウィンドウに合わせると、下の画像のようにログイン画面が赤い枠で囲われます。)



① OneGate設定

② AD連携

③ ローカルユーザ作成

④ 招待コード発行

⑤ AppSSO設定

⑥ SPMインストール

⑦ WebSSO設定

⑧ SKMインストール

⑨ 証明書発行

⑩ SPMインストール・SSO

管理者によるWebSSO設定の登録(組織管理アプリ) 設定ツールでSSO設定ファイルを作成 Webアプリ編

- ログイン画面をスポイトで選択すると、登録ツールに読み取った情報が反映されます。
(SSOの際、ここで読み取ったURLの値は前方一致で評価されます。)
- 「パラメーターセット名」は、個人用Webアプリに同じSSO先の設定を登録した際に区別をつけるため、「FileZen S(組織管理アプリ)」など分かりやすい名称に変更します。
(個人用Webアプリの登録については[こちらから](#)ご確認ください。)

Webシングルサインオン情報登録ツール

クリックしてWebサイトを選択

全般設定

URL :

名前 : FileZen S

設定を有効にする

説明

FileZen S

入力パラメーター設定

パラメーターセット名 : FileZen S (組織管理アプリ)

パラメーターを設定 モバイル/その他の設定

+ パラメーターを追加する

タイプ	パラメーター名	表示名	CSSセレクタ	インターバル	入力値 (テスト用)	ユーザー権限	暗号化
ユーザー名	user_name	ユーザーID	input[placeholder='ユーザーID']	0	<input type="text"/>	読み取り専用	<input type="checkbox"/>
パスワード	password	パスワード	input[placeholder='パスワード']	0	<input type="text"/>	読み取り専用	<input checked="" type="checkbox"/>

オプション設定

常にシングルサインオンを実行する

入力イベントを発生させる

複数の入力対象が該当した場合に、すべてに対して入力/クリックする

OK キャンセル

1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

管理者によるWebSSO設定の登録(組織管理アプリ) 設定ツールでSSO設定ファイルを作成 Webアプリ編

- 「タイプ」欄では、「ユーザー名」「パスワード」を正しく設定してください。
(モバイル版PasswordManagerでは、こちらを正しく設定していないと正常に動作しません。)
- また、生成した設定ファイルの編集時に分かりやすいよう、「パラメーター名」欄はデフォルトの「param_name_x」から、分かりやすいパラメーター名に変更します。
- 今回はSSO先・代行入力値(ユーザーID/パスワード)を管理者がCSVで設定する運用例なので、「ユーザー権限」欄は「読み取り専用」または「非表示」を選択します。

タイプ	パラメーター名	表示名	CSSセクタ	インターバル	入力値 (テスト用)	ユーザー権限	暗号化
ユーザー名	user_name	ユーザーID	input[placeholder='ユーザーID']	0		読み取り専用	<input type="checkbox"/>
パスワード	password	パスワード	input[placeholder='パスワード']	0		読み取り専用	<input checked="" type="checkbox"/>

オプション設定

- 常にシングルサインオンを実行する
- 入力イベントを発生させる
- 複数の入力対象が該当した場合に、すべてに対して入力/クリックする

OK キャンセル

1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

管理者によるWebSSO設定の登録(組織管理アプリ) 設定ツールでSSO設定ファイルを作成 Webアプリ編

- ログインボタンのパラメータを登録するため、「パラメータを追加する」をクリックします。
- 追加されたパラメーターの「タイプ」欄で「ボタン」を選択し、スポイトアイコンをクリックするとカーソルがスポイトに変化します。

入力パラメーター設定

パラメーターセット名 : FileZen S (組織管理アプリ)

パラメーターを設定 モバイル/その他の設定

+ パラメーターを追加する

タイプ	パラメーター名	表示名	CSSセレクト	インターバル	入力値 (テスト用)	ユーザー権限	暗号化
ユーザー名	user_name	ユーザーID	input[placeholder='ユーザーID']	0		読み取り専用	<input type="checkbox"/>
パスワード	password	パスワード	input[placeholder='パスワード']	0	0 / 256	読み取り専用	<input checked="" type="checkbox"/>
ボタン				0	0 / 256	非表示	<input type="checkbox"/>

オプション設定

常にシングルサインオンを実行する

入力イベントを発生させる

複数の入力対象が該当した場合に、すべてに対して入力/クリックする

OK キャンセル

1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

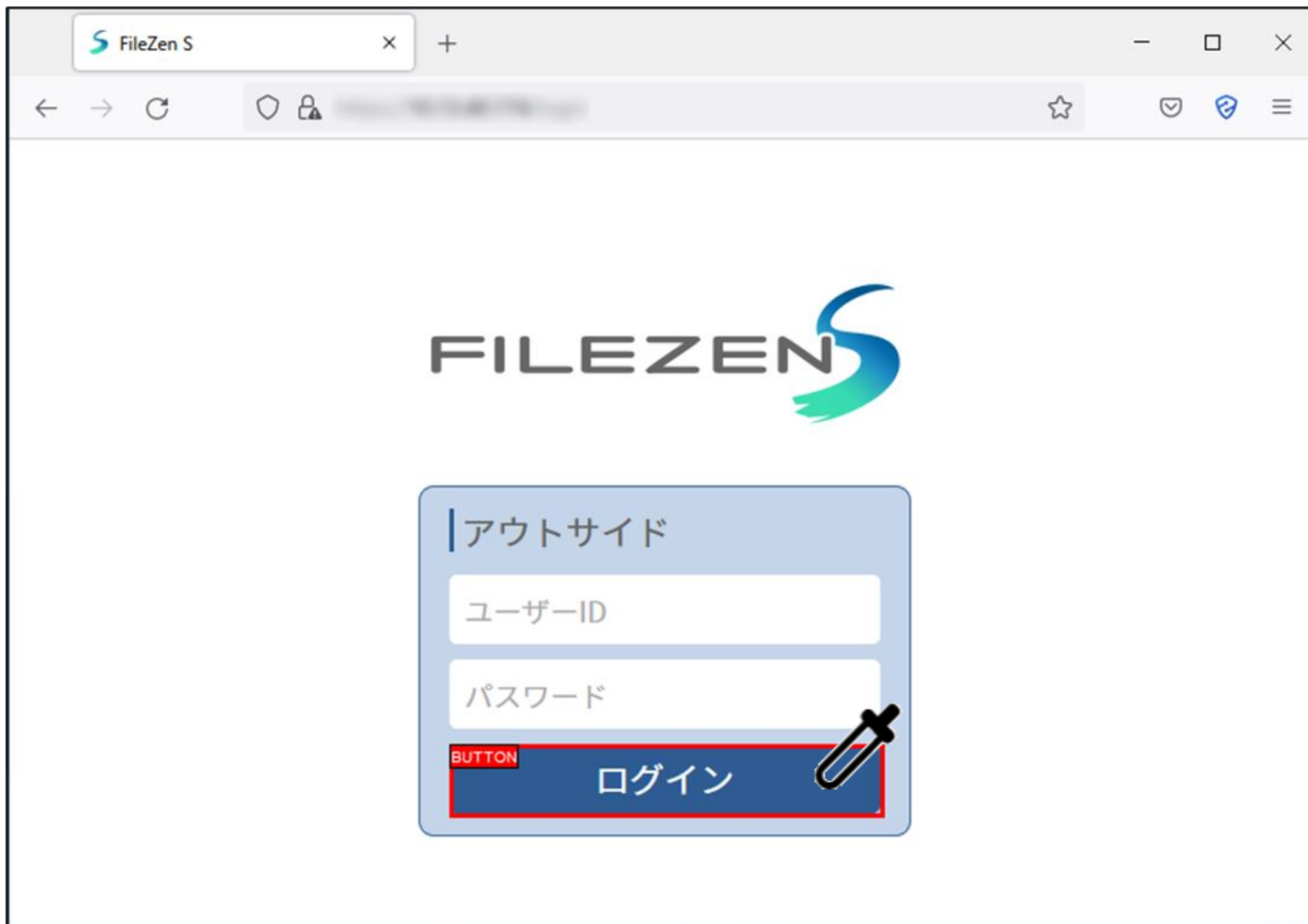
8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

管理者によるWebSSO設定の登録(組織管理アプリ) 設定ツールでSSO設定ファイルを作成 Webアプリ編

- スポイトをブラウザのログインボタンに合わせ、クリックします。
(スポイトに選択されている部分は画像のように赤枠で囲まれます。)



① OneGate設定

② AD連携

③ ローカルユーザ作成

④ 招待コード発行

⑤ AppSSO設定

⑥ SPMインストール

⑦ WebSSO設定

⑧ SKMインストール

⑨ 証明書発行

⑩ SPMインストール・SSO

管理者によるWebSSO設定の登録(組織管理アプリ) 設定ツールでSSO設定ファイルを作成 Webアプリ編

- 「パラメータ名」を分かりやすいものに変更(空白の場合は任意の名前を入力)し、「表示名」に任意の名称を入力します。
全てのパラメータを設定後、[OK]をクリックします。
- (※自動入力がうまく動かない場合は、インターバル値を大きくして再度お試しください。)

入力パラメーター設定

パラメーターセット名 : FileZen S (組織管理アプリ)

パラメーターを設定 モバイル/その他の設定

+ パラメーターを追加する

タイプ	パラメーター名	表示名	CSSセクタ	インターバル	入力値 (テスト用)	ユーザー権限	暗号化
ユーザー名	user_name	ユーザーID	input[placeholder='ユーザーID']	500		読み取り専用	<input type="checkbox"/>
パスワード	password	パスワード	input[placeholder='パスワード']	500	0 / 256	読み取り専用	<input checked="" type="checkbox"/>
ボタン	button	ボタン	form.ng-untouched.ng-pristine.ng-	500		非表示	<input type="checkbox"/>

オプション設定

常にシングルサインオンを実行する

入力イベントを発生させる

複数の入力対象が該当した場合に、すべてに対して入力/クリックする

OK キャンセル

1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

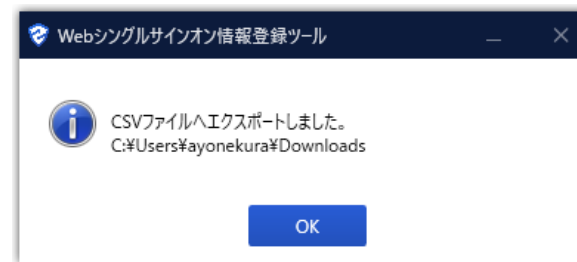
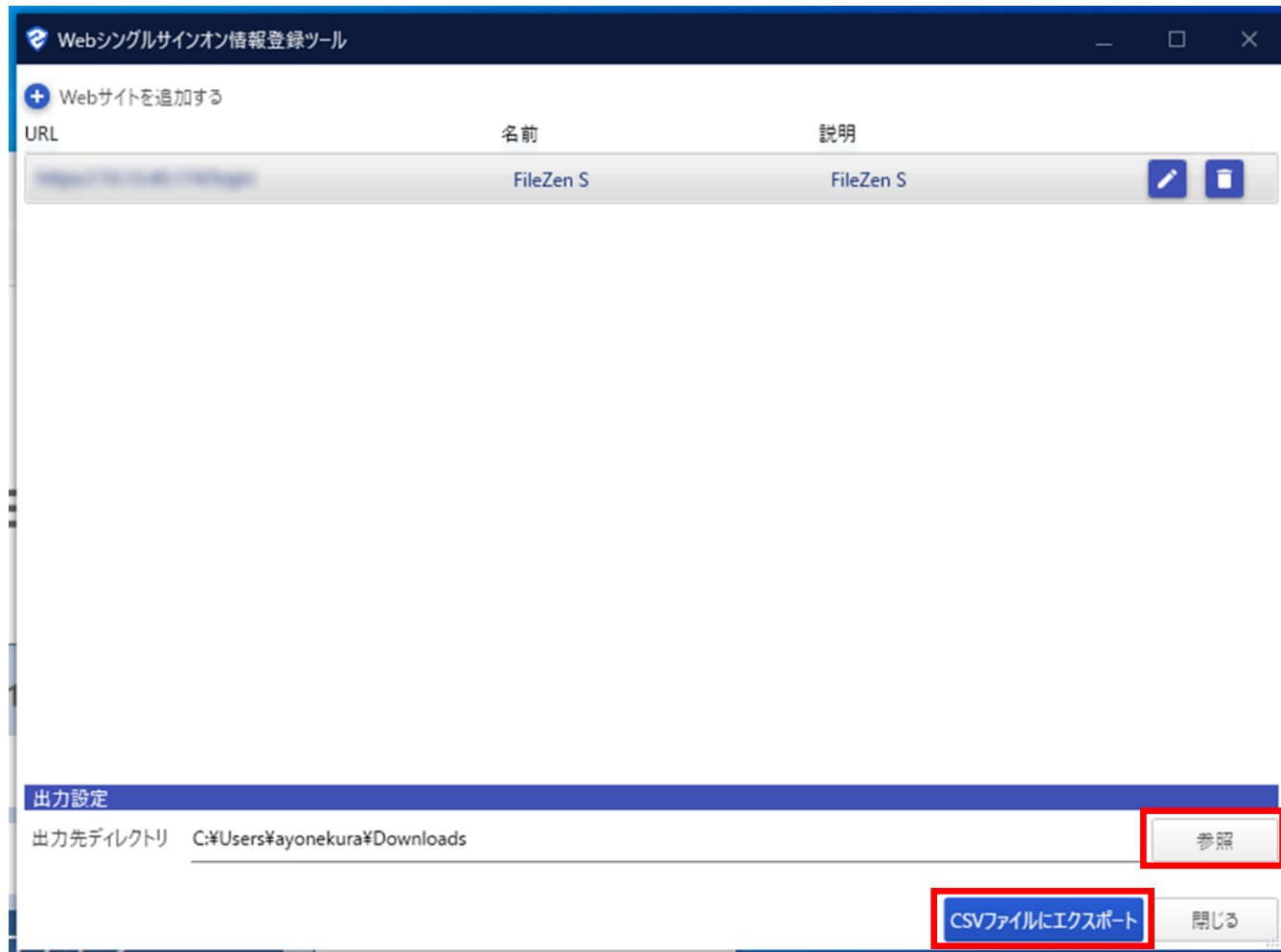
8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

管理者によるWebSSO設定の登録(組織管理アプリ) 設定ツールでSSO設定ファイルを作成 Webアプリ編

- [参照]をクリックして任意の出力先ディレクトリを選択し、[CSVファイルにエクスポート]します。
完了すると以下のようなメッセージが表示されます。



1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定



8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

管理者によるWebSSO設定の登録(組織管理アプリ) 作成したSSO設定ファイルを編集 Webアプリ編

- 以下のように2つのCSVファイルが生成されます。

 sso.csv	2021/12/06 17:16	Microsoft Excel CS...	1 KB
 sso_user_params_template.csv	2021/12/06 17:16	Microsoft Excel CS...	1 KB

- 「sso_user_params_template.csv」を開き、
「#user_name」にはシングルサインオンを設定するOneGateのユーザー名、
「plain_value」には実際に自動入力させるユーザーごとのパラメータ(ユーザー名/パスワード等)を入力して保存します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	#user_name	host	port	path	param_type	param_name	is_encrypted	param_description	param_set_name	encrypted_value	plain_value
2	tyamada		443	/login	Form-Input	user_name	0	ユーザーID	FileZen S (組織管理アプリ)		user01
3	tyamada		443	/login	Form-Input	password	1	パスワード	FileZen S (組織管理アプリ)		password
4											

① OneGate設定

② AD連携

③ ローカルユーザ作成

④ 招待コード発行

⑤ AppSSO設定

⑥ SPMインストール

⑦ WebSSO設定

⑧ SKMインストール

⑨ 証明書発行

⑩ SPMインストール・SSO

管理者によるWebSSO設定の登録(組織管理アプリ) 2つのSSO設定ファイルをインポート Webアプリ編

- 作成した2つのSSO設定ファイルを、OneGateにインポートします。
- 「クラウド設定」-「PasswordManager設定」-「Webシングルサインオン設定」に進み、[インポート]から「Webシングルサインオン」を選択します。
- インポート種類は「追加」のまま、先ほど作成したSSO設定ファイル(sso.csv)を選択し、[インポート]をクリックします。
- 「インポートが完了しました。」と画面上部に表示され、SSO先が追加されます。



1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

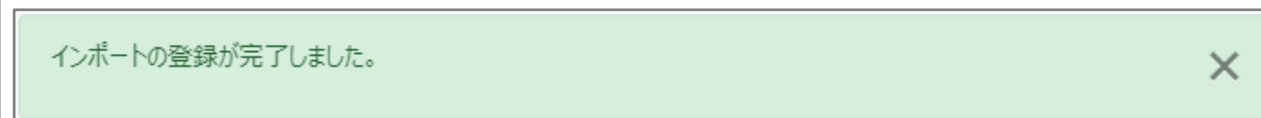
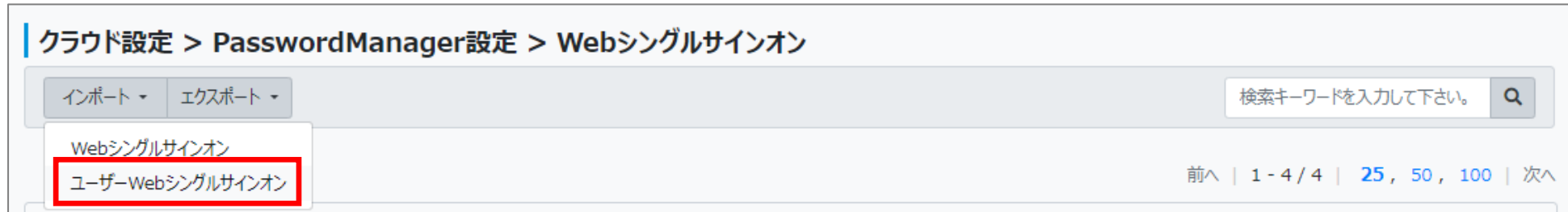
9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

管理者によるWebSSO設定の登録(組織管理アプリ) 2つのSSO設定ファイルをインポート Webアプリ編

- 次は[インポート]から「ユーザーWebシングルサインオン」を選択します。
- インポート種類は「追加」のまま、先ほど作成したユーザーSSO設定ファイルを選択し、[インポート]をクリックします。
- 「インポートが完了しました。」と画面上部に表示されます。

以上でWebアプリのSSO設定は完了です。



1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

管理者によるWebSSO設定の登録(組織管理アプリ) SSO設定ファイルを作成 モバイルアプリ編

- 続いては以下のパターンでの、モバイル端末のブラウザ用SSO設定登録方法です。
 - 管理者によるCSVファイルでの登録(PasswordManager Agentの「組織管理アプリ」に表示)
 - ◆ SSO先・代行入力値(ユーザーID/パスワード)を管理者がCSVで設定
- Webシングルサインオンに設定ファイルをインポートする場合は、以下のSSO設定用のCSVファイル(sso.csv)を作成します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	#host	port	path	param_type	param_name	param_value_type	is_encrypted	is_enabled	is_default_used	user_config_mode
2	example.com	443	/	Form-Input	param_name_0	username	0	1	0	read-only
3	example.com	443	/	Form-Input	param_name_1	password	1	1	0	read-only

<カラム説明>

カラム	説明
host	シングルサインオンURLのホスト。(対象が http://url:8080/login の場合 → http://url)
port	シングルサインオンURLのポート番号。(対象が http://url:8080/login の場合 → 8080)
path	シングルサインオンURLのパス(ホスト以降の文字列)。前方一致。(対象が http://url:8080/login の場合 → /login)
param_type	Form-Inputを指定する。
param_name	上記サンプルの値を指定。次ページのparam_nameの値と合わせます。
param_value_type	ユーザー名の属性 = username、パスワードの属性 = passwordと指定。
is_encrypted	パスワード属性の場合は必ず1を指定。
is_enabled	必ず1を指定。
is_default_used	0を指定。
user_config_mode	ユーザーによるパラメーターの編集権限を次のいずれかの文字列で指定。 editable：ユーザーに表示を行い、変更を許可します。 hide：ユーザーには表示しません。 read-only：ユーザーに表示を行い、変更を許可しません。←今回はSSO先・代行入力値(ユーザーID/パスワード)を管理者がCSVで設定の運用例のためこの値を指定します。

1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

管理者によるWebSSO設定の登録(組織管理アプリ) ユーザーSSO設定ファイルを作成 モバイルアプリ編

- 次に、ユーザーSSO設定用のCSVファイル(sso_user_params_template.csv)を作成します。
- A,H列には、SSO利用ユーザーごとの値を入力します(<カラム説明>参照)。
B - F列には前頁で作成した「sso.csv」と同じ値を入力します。

	A	B	C	D	E	F	G
1	#user_name	host	port	path	param_type	param_name	plain_value
2	tyamada	example.com	443	/	Form-Input	param_name_0	user01
3	tyamada	example.com	443	/	Form-Input	param_name_1	password

<カラム説明>

カラム	説明
user_name	シングルサインオンを設定するOneGateのユーザー名。
plain_value	実際に自動入力させるユーザーごとのSSOパラメータ（ユーザー名/パスワード等）。

① OneGate設定

② AD連携

③ ローカルユーザ作成

④ 招待コード発行

⑤ AppSSO設定

⑥ SPMインストール

⑦ WebSSO設定

⑧ SKMインストール

⑨ 証明書発行

⑩ SPMインストール・SSO

管理者によるWebSSO設定の登録(組織管理アプリ) 2つのSSO設定ファイルをインポート モバイルアプリ編

- OneGate管理画面の「クラウド設定」-「PasswordManager設定」-「Webシングルサインオン設定」より作成した2つのSSO設定ファイルを、Webシングルサインオン→ユーザーWebシングルサインオンの順にインポートします。

- **注意点**

- ◆ PC用の設定としてWebシングルサインオンのCSVファイルをインポートした場合、そのCSVファイルにモバイル用のデータとして必要な値が入っていれば、モバイルでのWebシングルサインオンにも利用できる場合があります。
(※PC/モバイル用のログインページの仕様やCSVファイルの内容によっては、利用できない場合もあります。)

モバイル端末のブラウザ用SSO設定は以上です。

① OneGate設定

② AD連携

③ ローカルユーザ作成

④ 招待コード発行

⑤ AppSSO設定

⑥ SPMインストール

⑦ WebSSO設定

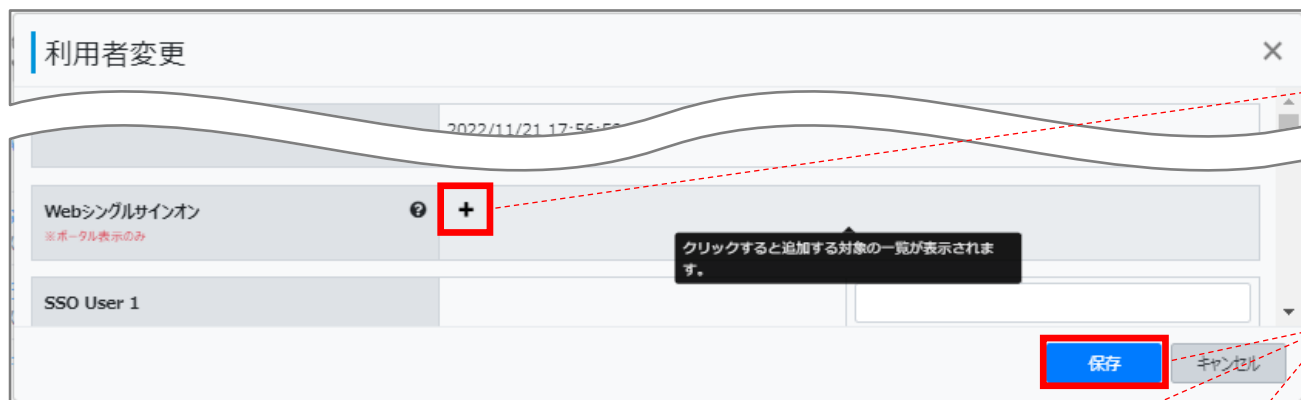
⑧ SKMインストール

⑨ 証明書発行

⑩ SPMインストール・SSO

管理者によるWebSSO設定の登録(組織管理アプリ) Web SSOを利用者ポータル画面に表示

- 組織管理アプリとして登録されたSSO先は、利用者ポータル画面にも表示することができます。
OneGate管理画面で 利用者管理>利用者一覧 に進み、「利用者変更」画面の「Webシングルサインオン」からSSO先にチェックを入れることで、利用者ポータルの「組織管理アプリ」タブに表示が可能です。



1 「+」をクリック

2 利用者ポータルに表示させたいSSO先にチェックを入れ、[OK]→[保存]をクリック



1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO



利用者のはじめの設定

① OneGate設定

② AD連携

③ ローカルユーザ作成

④ 招待コード発行

⑤ AppSSO設定

⑥ SPMインストール

⑦ WebSSO設定

⑧ SKMインストール

⑨ 証明書発行

⑩ SPMインストール・SSO

Soliton KeyManagerのインストール

※この手順は、[ネットワーク設定](#)を行った場合のみ必要な手順です。

証明書認証を行わない構成の場合は、[⑩SPMインストール・SSO](#)に進んでください。

- https://www.soliton.co.jp/download/ssx_download.html

上記のページより利用者端末にSoliton KeyManagerをダウンロードします。

Windowsの場合:Soliton KeyManagerの「Windows版 ダウンロードはこちら」よりダウンロードしてください。



① OneGate設定

② AD連携

③ ローカルユーザ作成

④ 招待コード発行

⑤ AppSSO設定

⑥ SPMインストール

⑦ WebSSO設定

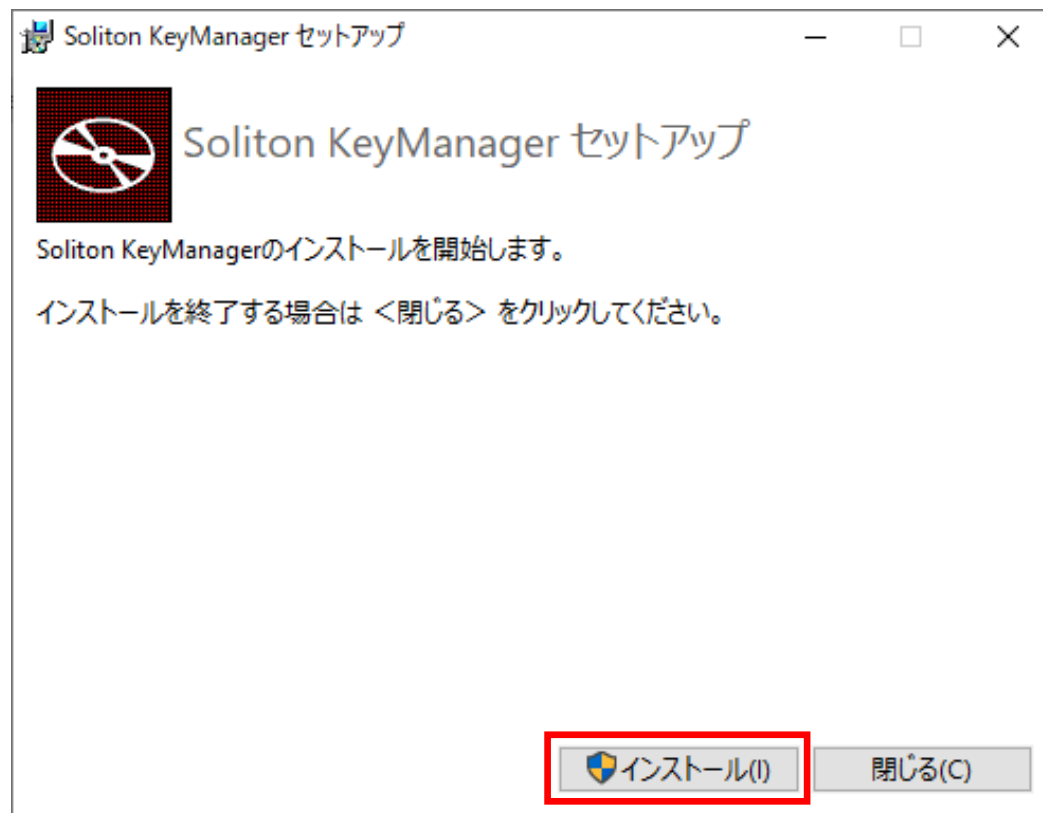
⑧ SKMインストール

⑨ 証明書発行

⑩ SPMインストール・SSO

Soliton KeyManagerのインストール

- インストールした「SolitonKeyManagerVxxx.exe」をダブルクリックして実行します。
- セットアップウィザードが表示されますので[インストール]をクリックし、表示される画面に沿って進みます。



① OneGate設定

② AD連携

③ ローカルユーザ作成

④ 招待コード発行

⑤ AppSSO設定

⑥ SPMインストール

⑦ WebSSO設定

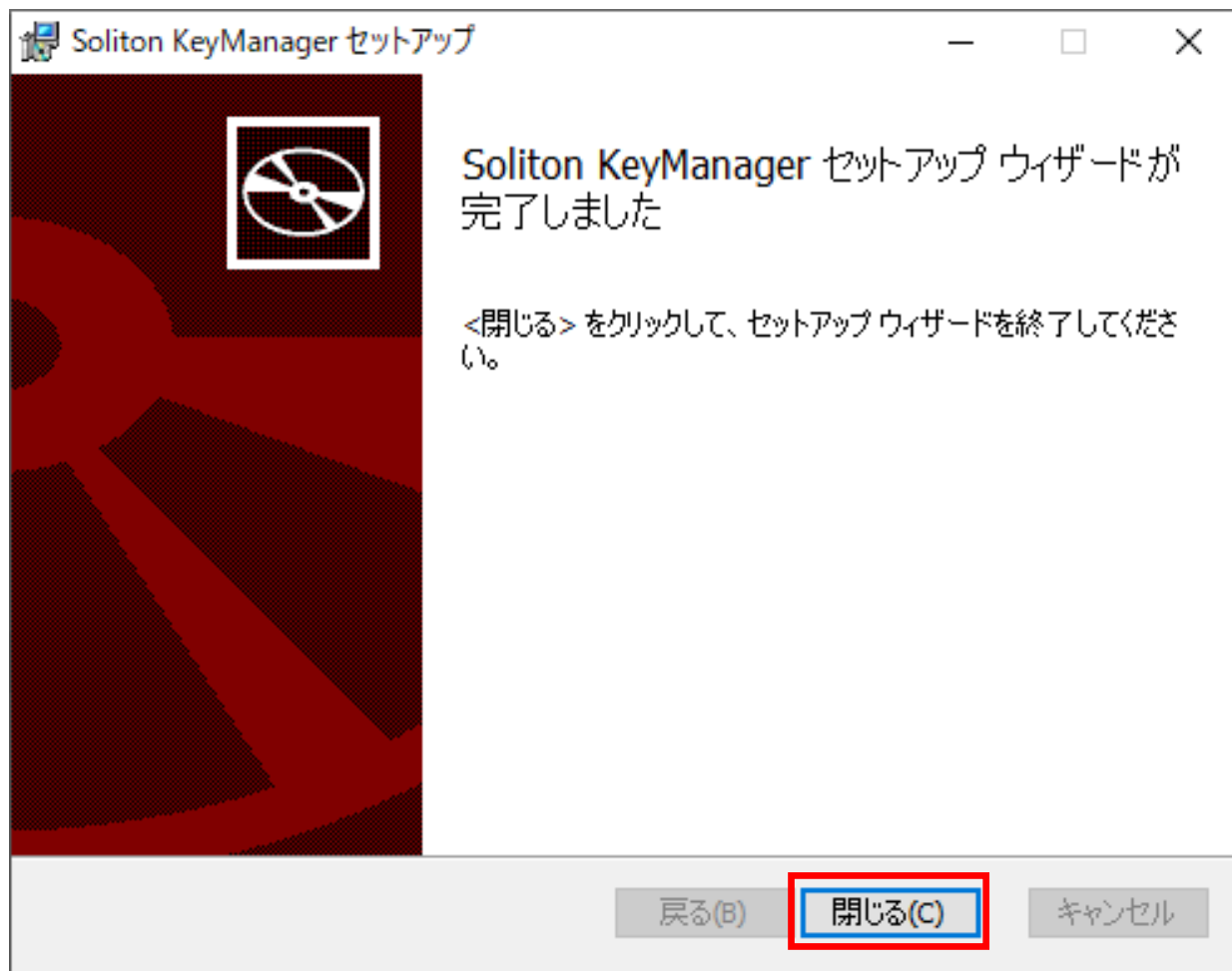
⑧ SKMインストール

⑨ 証明書発行

⑩ SPMインストール・SSO

Soliton KeyManagerのインストール

- 以下の画面が表示されれば、Soliton KeyManagerのインストールは完了です。



① OneGate設定

② AD連携

③ ローカルユーザ作成

④ 招待コード発行

⑤ AppSSO設定

⑥ SPMインストール

⑦ WebSSO設定

⑧ SKMインストール

⑨ 証明書発行

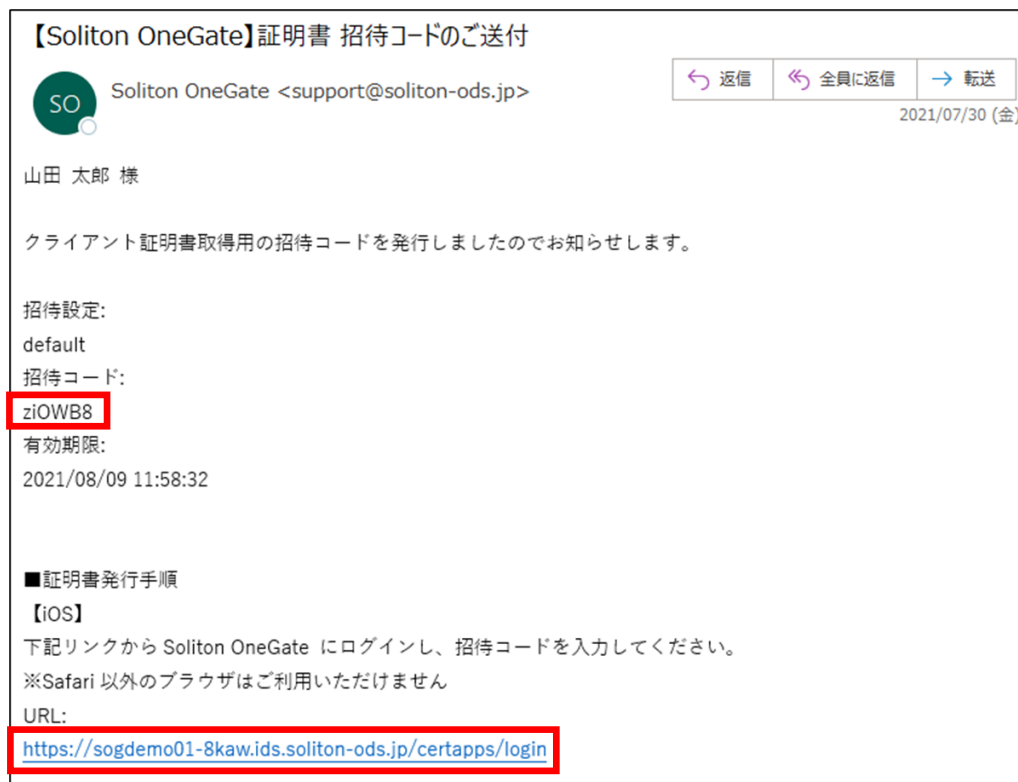
⑩ SPMインストール・SSO

招待コードメールの確認

※この手順は、[ネットワーク設定](#)を行った場合のみ必要な手順です。

証明書認証を行わない構成の場合は、[⑩SPMインストール・SSO](#)に進んでください。

- 利用者に届いている招待コード通知メールを確認します。
- 証明書の発行にはこのメールに記載されているOneGateのホスト名 (URLの「sogdemo01-8kaw.ids.soliton-ods.jp」の部分)と、招待コードが必要です。



① OneGate設定

② AD連携

③ ローカルユーザ作成

④ 招待コード発行

⑤ AppSSO設定

⑥ SPMインストール

⑦ WebSSO設定

⑧ SKMインストール

⑨ 証明書発行

⑩ SPMインストール・SSO

Soliton KeyManagerでクライアント証明書取得

- KeyManagerアプリを起動し、申請開始をクリックします。
- 招待コード通知メールに記載されているOneGateのホスト名を入力し、[次へ]をクリックします。



1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

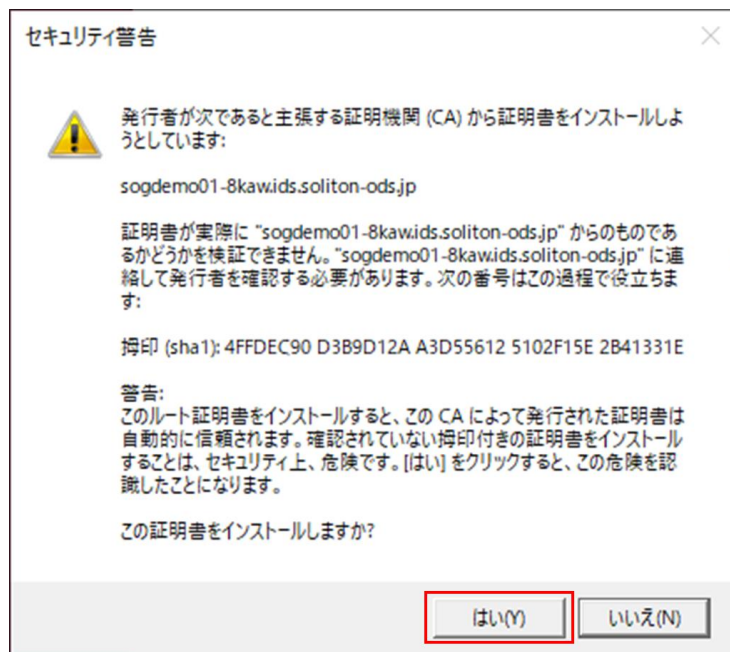
8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

Soliton KeyManagerでクライアント証明書取得

- 初回のみ、CA証明書のインストールが必要になりますので、左の画面で[はい]をクリックして下さい。
- 右の画面では、ユーザーを選択します。



1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

Soliton KeyManagerでクライアント証明書取得

- OneGateユーザーのユーザーID/パスワードを入力します。
- 招待コード通知メールに記載されている招待コードを入力します。

The image displays two sequential steps in the Soliton KeyManager web interface for client certificate acquisition. Both screens feature a dark sidebar on the left with navigation options: 'ホスト名・HTTPSポート番号', 'CA証明書ダウンロード', '証明書の格納先', 'ユーザーID・パスワード', '通知先メールアドレス', '申請理由', and '内容確認'. The main content area is light gray.

Left Screenshot: ユーザーID・パスワードを入力
The title is 'ユーザーID・パスワードを入力'. The 'ユーザーID' field contains 'tyamada'. The 'パスワード' field is masked with black dots. '戻る' and '次へ' buttons are at the bottom right.

Right Screenshot: 招待コードを入力
The title is '招待コードを入力'. The '招待コード' field contains 'ziOWB8'. '戻る' and '次へ' buttons are at the bottom right.

① OneGate設定

② AD連携

③ ローカルユーザ作成

④ 招待コード発行

⑤ AppSSO設定

⑥ SPMインストール

⑦ WebSSO設定

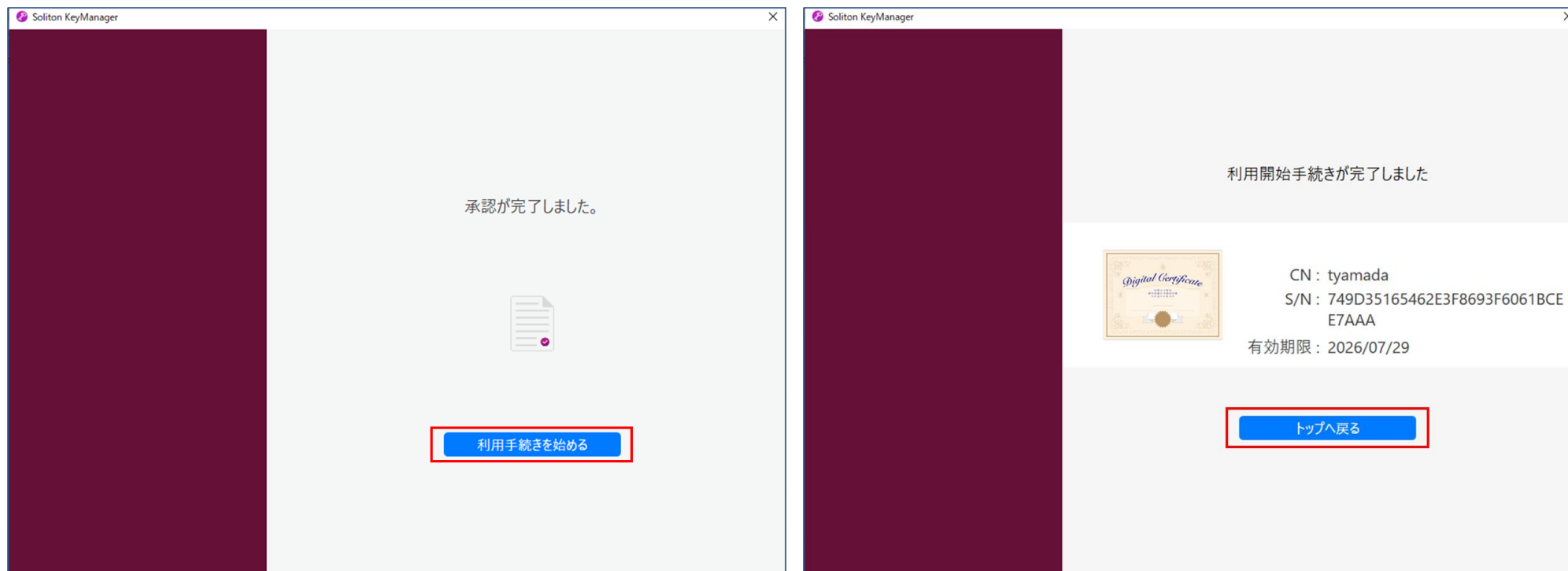
⑧ SKMインストール

⑨ 証明書発行

⑩ SPMインストール・SSO

Soliton KeyManagerでクライアント証明書取得

- 「利用手続きを始める」をクリックし、「利用開始手続きが完了しました」と表示されればクライアント証明書の発行は完了です。



① OneGate設定

② AD連携

③ ローカルユーザ作成

④ 招待コード発行

⑤ AppSSO設定

⑥ SPMインストール

⑦ WebSSO設定

⑧ SKMインストール

⑨ 証明書発行

⑩ SPMインストール・SSO

PasswordManagerとブラウザの拡張機能をインストール

- [⑥SPMインストール](#)の手順で、利用者端末にPasswordManager Agentのインストールと各ブラウザへの拡張機能の追加を行います。
 - [PasswordManager Agentのインストール](#)
 - [Google Chrome \(Microsoft Edge\)に拡張機能を追加する](#)
 - [Internet Exploreのアドオンを有効にする](#)
 - [Firefoxに拡張機能を追加する](#)

① OneGate設定

② AD連携

③ ローカルユーザ作成

④ 招待コード発行

⑤ AppSSO設定

⑥ SPMインストール

⑦ WebSSO設定

⑧ SKMインストール

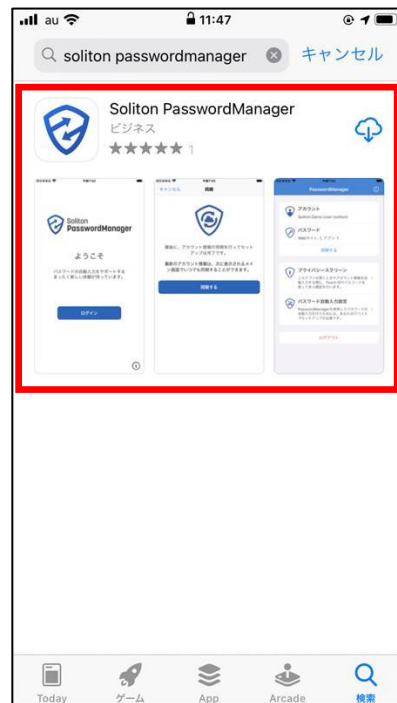
⑨ 証明書発行

⑩ SPMインストール・SSO

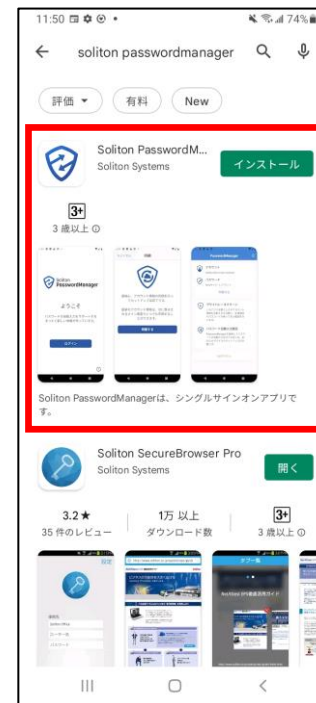
【モバイルアプリ】PasswordManagerをインストール

- モバイル端末でもSSOを行う場合、モバイル端末へPasswordManagerアプリのインストールが必要です。
- モバイル端末のアプリストアで「Soliton PasswordManager」と検索し、アプリをインストールします。
- 証明書認証を行う場合は、Soliton KeyManagerのインストールも必要です。
アプリインストール後、証明書のインストールを行って下さい。

<iOS>



<Android>



1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

PasswordManagerをタスクバーに固定

- PasswordManagerの状態がすぐに確認できるよう、PasswordManagerアイコンをタスクバーに固定します。
- 「Windowsの設定」より「個人用設定」-「タスクバー」に進み、「タスクバーに表示するアイコンを選択します」をクリックします。
- PasswordManagerを「オン」に切り替えると、PasswordManagerアイコンがタスクバーに表示されます。

The image shows two screenshots from the Windows Settings application. The left screenshot shows the 'Taskbar' settings page with the option 'タスクバーに表示するアイコンを選択します' (Select icons to show on the taskbar) highlighted with a red box. The right screenshot shows the 'Select icons to show on the taskbar' page with the 'Soliton PasswordManager' icon checked and highlighted with a red box. Below the screenshots, a taskbar is shown with the PasswordManager icon pinned and highlighted with a red box.

設定

タスクバー

タスクバー ボタンを結合する

常に結合、ラベルを非表示

タスクバーをカスタマイズする方法

通知領域

タスクバーに表示するアイコンを選択します

システムアイコンのオン/オフの切り替え

マルチディスプレイ

タスクバーをすべてのディスプレイに表示する

タスクバー ボタンの表示先

タスクバー

タスクバーに表示するアイコンを選択します

エクスプローラー
ハードウェアを安全に取り外してメディアを...

Windows Security notification icon
Windows セキュリティ - 処置が必要です。

VMware Tools Core Service
VMware Tools

Microsoft OneDrive
OneDrive - 個人用 サインインしてませ...

CounterACT agent
ForeScout SecureConnector Server...

Soliton PasswordManager
Soliton PasswordManager

ヘルプを表示

<タスクバー>

1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

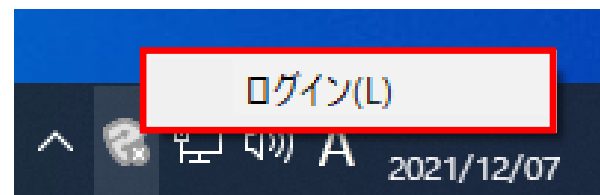
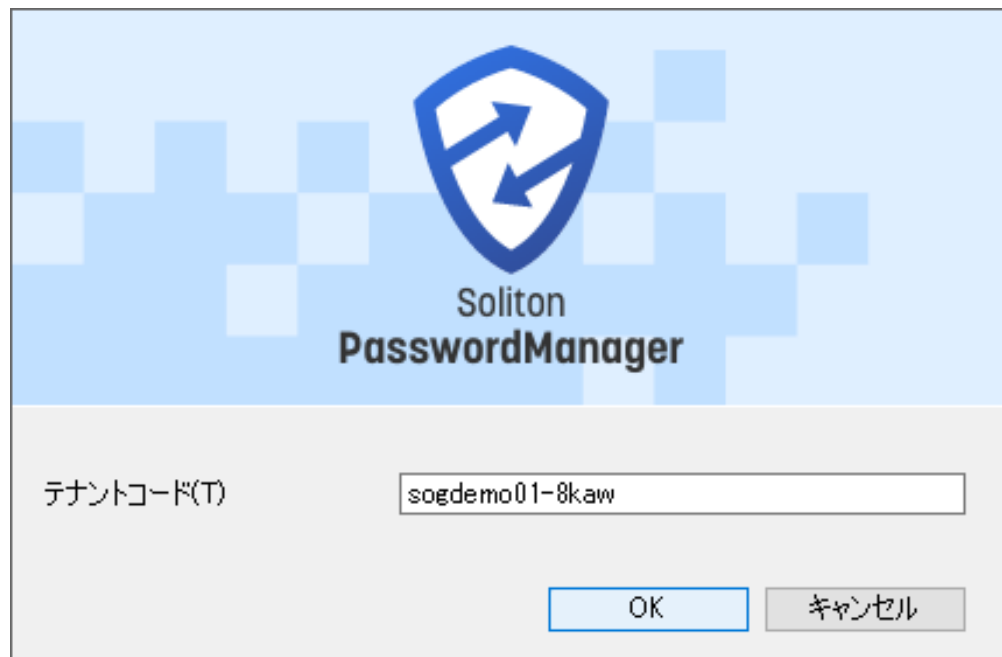
8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

PasswordManagerの利用開始

- 端末の再起動後、自動で以下のウィンドウが表示されます。(表示されない場合、タスクバーのPasswordManagerアイコンを右クリックし[ログイン]をクリックすると、同じウィンドウが表示されます。)
- テナントコードにはOneGateのテナント名を入力します。



① OneGate設定

② AD連携

③ ローカルユーザ作成

④ 招待コード発行

⑤ AppSSO設定

⑥ SPMインストール

⑦ WebSSO設定

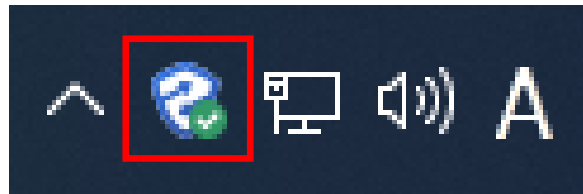
⑧ SKMインストール

⑨ 証明書発行

⑩ SPMインストール・SSO

PasswordManagerの利用開始

- OneGateのログイン画面が表示されます。ネットワーク設定に登録したIPアドレス以外からアクセスした場合、クライアント証明書を使用した証明書認証を行います。
(利用可能な証明書が1つの場合は、証明書選択画面は表示されず自動で証明書認証が行われます。)
- OneGateユーザーのユーザーID/パスワードを入力してログインします。
- ログインが完了すると、タスクバー上のPasswordManagerアイコンの表示が以下のようになります。



① OneGate設定

② AD連携

③ ローカルユーザ作成

④ 招待コード発行

⑤ AppSSO設定

⑥ SPMインストール

⑦ WebSSO設定

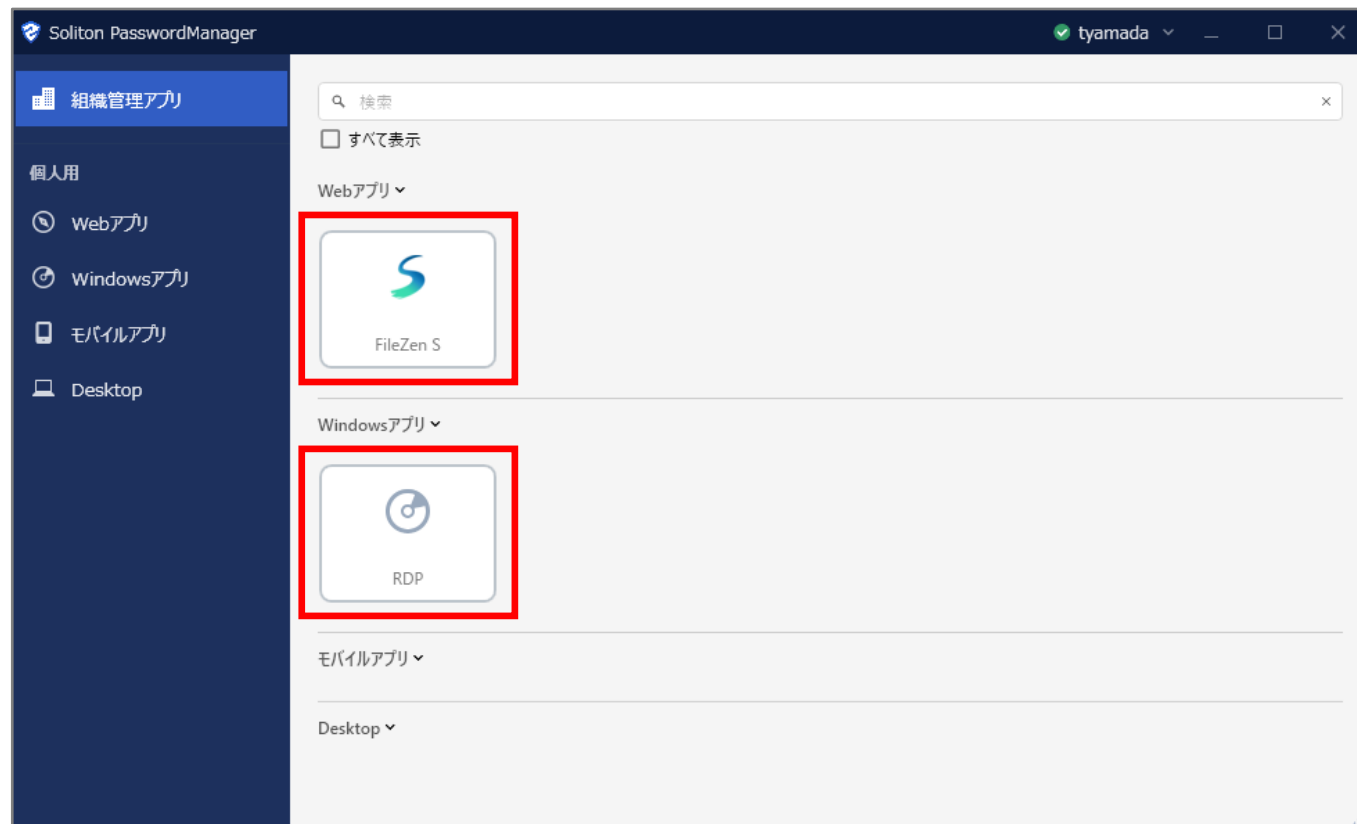
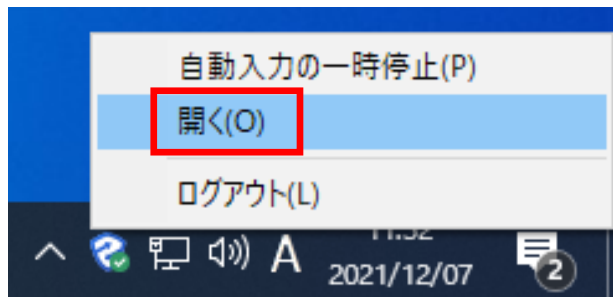
⑧ SKMインストール

⑨ 証明書発行

⑩ SPMインストール・SSO

PasswordManagerに登録されたSSO先設定の確認

- 先ほどOneGateで登録したSSO先が正常に登録されていることを確認します。
- タスクバーのPasswordManagerアイコンを右クリックし[開く]をクリックすると、右のようなウィンドウが開きます。
- **⑤AppSSO設定**と**⑦WebSSO設定**で登録した通り、「組織管理アプリ」としてWebアプリに「FileZen S」、Windowsアプリに「RDP」が登録されていることが確認できました。



① OneGate設定

② AD連携

③ ローカルユーザ作成

④ 招待コード発行

⑤ AppSSO設定

⑥ SPMインストール

⑦ WebSSO設定

⑧ SKMインストール

⑨ 証明書発行

⑩ SPMインストール・SSO

PasswordManager Agentでのパラメータ編集

- 49～51ページのユーザーID/パスワードの代行入力値をユーザーによる設定としたAppシングルサインオン設定について、利用者によるパラメーターの設定方法を説明します。
- SSO設定が無効なものは、「すべて表示」にチェックを入れることで表示されます。SSO設定が無効(パスワード未設定など)の場合、パネルアイコンの右上に「！」もしくは「-」が表示されます。
- アイコンを右クリックし、「パラメーターを編集」よりユーザーID/パスワードの設定を行って下さい。

The screenshot shows the Soliton PasswordManager Agent interface. The main window displays a list of applications with their SSO settings. A search bar at the top has a search icon and the text "検索". Below the search bar, there is a checkbox labeled "すべて表示" (Show all) which is checked. The main content area shows a list of applications: FileZen, Windowsアプリ (with a dropdown arrow), HQZ, RDP, モバイルアプリ (with a dropdown arrow), SSB II, and Desktop (with a dropdown arrow). The SSB II application icon has a red minus sign in the top right corner. A red box highlights the "すべて表示" checkbox. A blue callout box with the number "1" points to the checkbox and contains the text: "「すべて表示」にチェックを入れると先ほどのSSO設定が表示されます". Another blue callout box with the number "2" points to the RDP application icon and contains the text: "SSO設定のアイコンを右クリックして「パラメーターを編集」を選択". A third blue callout box with the number "3" points to the "パラメーターを編集" button in the context menu for the SSB II application and contains the text: "ユーザーID/パスワードを設定". The context menu also includes "パスワードを編集". A red box highlights the "パラメーターを編集" button. A dialog box titled "SSB II パラメーター編集" is shown in the foreground. It has a red border and contains the following fields: "ユーザー名" (User name) with the value "tyamada", and "パスワード" (Password) with a masked input field (dots) and a gear icon for settings. At the bottom of the dialog are "OK" and "キャンセル" (Cancel) buttons.

① OneGate設定

② AD連携

③ ローカルユーザ作成

④ 招待コード発行

⑤ AppSSO設定

⑥ SPMインストール

⑦ WebSSO設定

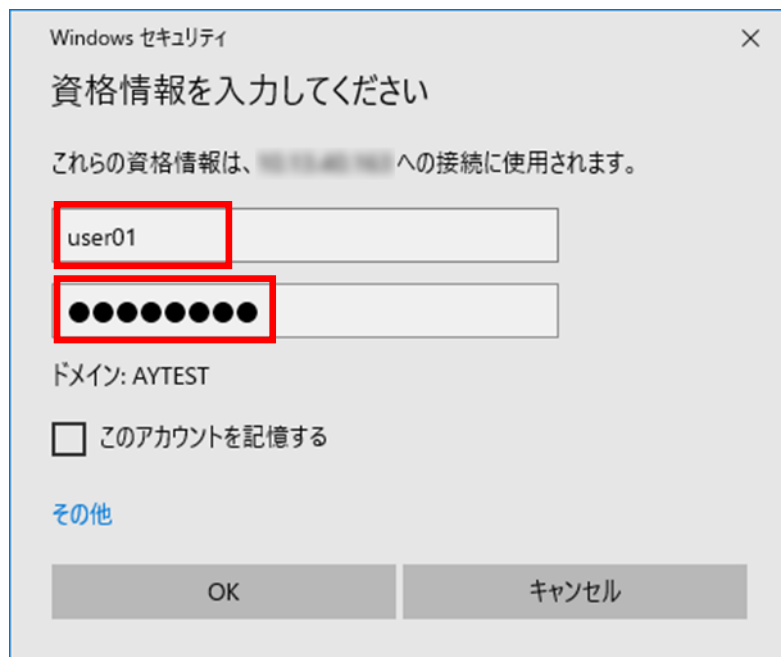
⑧ SKMインストール

⑨ 証明書発行

⑩ SPMインストール・SSO

PasswordManagerで代行入力でのSSOを行う

- SSO先が正常に登録されていることを確認したので、実際にSSO動作を確認します。
まずはWindowsアプリでのSSO動作の確認です。
- PasswordManagerにログインしていることを確認し、リモートデスクトップ接続のアプリを開くと自動でユーザーID/ パスワードが入力され、リモートデスクトップ接続が完了します。



Windows セキュリティ

資格情報を入力してください

これらの資格情報は、[redacted]への接続に使用されます。

user01

●●●●●●●●

ドメイン: AYTEST

このアカウントを記憶する

その他

OK キャンセル



1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

PasswordManagerで代行入力でのSSOを行う

- 次はWebアプリです。
- ブラウザでFileZen Sのログイン画面を開くと、自動でユーザーID/パスワードが入力され、ログインが完了します。



① OneGate設定

② AD連携

③ ローカルユーザ作成

④ 招待コード発行

⑤ AppSSO設定

⑥ SPMインストール

⑦ WebSSO設定

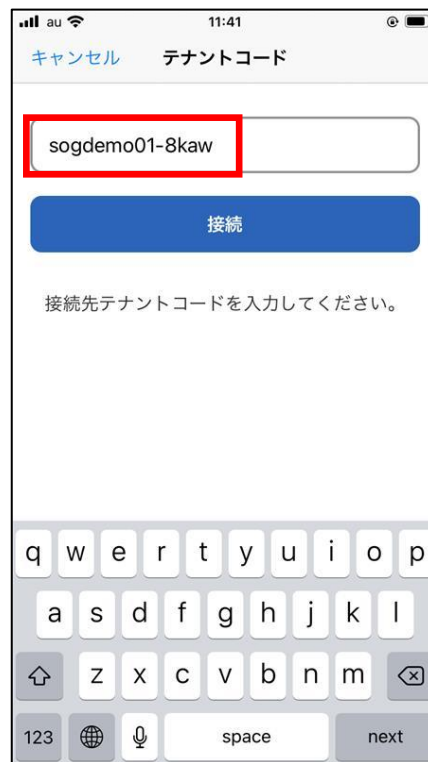
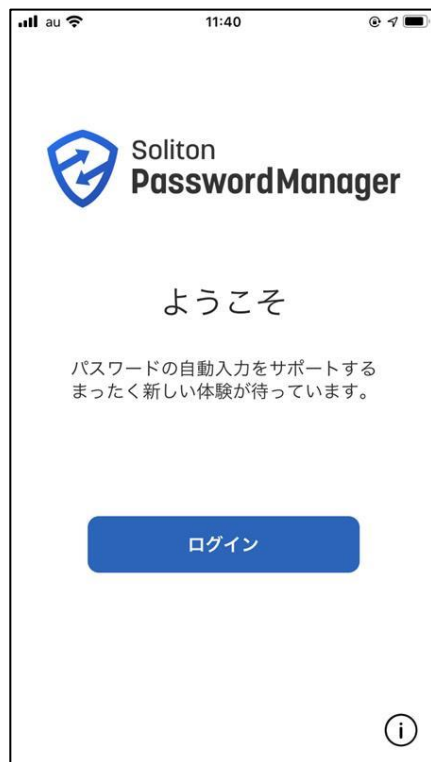
⑧ SKMインストール

⑨ 証明書発行

⑩ SPMインストール・SSO

PasswordManagerで代行入力でのSSOを行う

- 最後にモバイルアプリです。(モバイル端末での証明書取得については「SOG-かんたんクライアント証明書取得マニュアル」をご確認ください。)
- まずモバイル端末にインストールしたPasswordManagerアプリを起動し、テナントコード入力後、OneGateユーザーのユーザーID/パスワードでログインを行います。
- ログイン後、必ず**パスワード自動入力設定**を行ってください。



1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

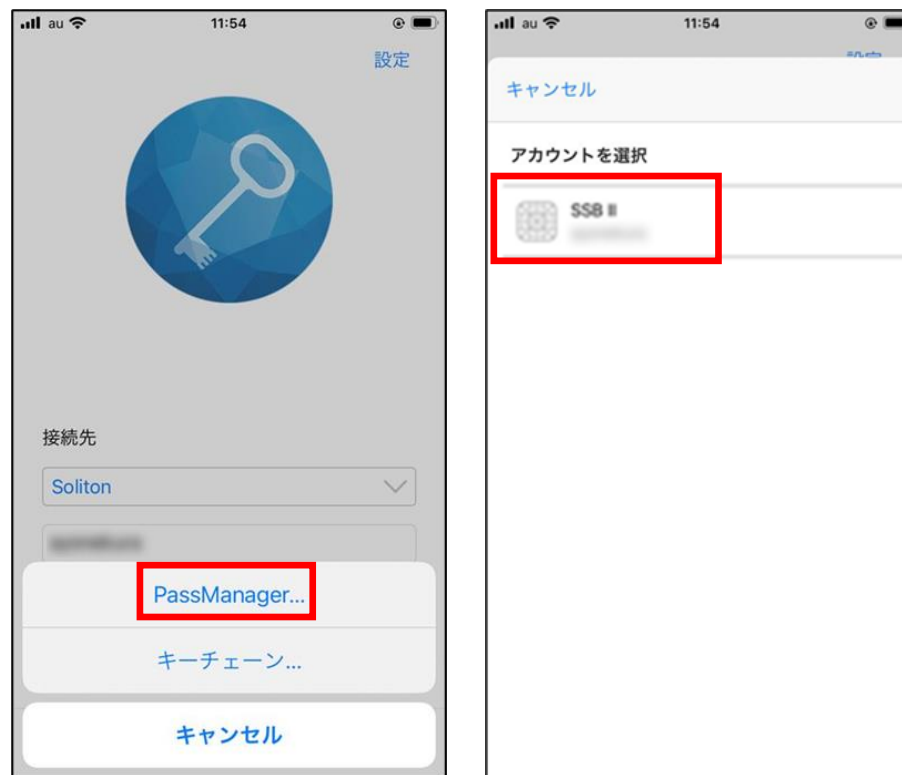
PasswordManagerで代行入力でのSSOを行う

- モバイルアプリへの代行入力SSOの動作です。SSO設定を行ったアプリを起動し、ユーザーIDもしくはパスワード入力欄をタップ、キーチェーンよりPasswordManagerを選択し、表示されるSSO設定の選択画面の中から起動したアプリを選択すると、自動でユーザーID/パスワードが入力されます。

◆ Appシングルサインオンの場合→選択画面には、登録したSSO先がすべて表示されます。

◆ Webシングルサインオンの場合→選択画面には、登録したSSO先の中でURLが前方一致したもののみ表示されます。

以上で、PasswordManagerによるSSO動作の確認は完了です。



<Appシングルサインオンの場合>

1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

付録1-組織管理アプリのSSOアクセスログ

- PasswordManager Agentの「組織管理アプリ」に登録されたSSO設定で代行入力を行った場合、OneGate管理画面の「ログ管理」-「SSOアクセスログ」で以下のようなログを確認することができます。

➤ 個人用アプリに登録されたSSO設定(付録2,3参照)のアクセスログは、表示されません。

ログ管理 > SSOアクセスログ

エクスポート

すべて 検索キーワードを入力して下さい。

表示順序 処理日時(降順)

前へ | 1 - 25 / 69 | 25, 50, 100 | 次へ

tyamada	接続元アドレス: プライベートIP: 192.168.0.3	マシン名: iPhone	2022/12/27 10:41:10
	接続先サービス: PasswordManager (AppSSO)		
	設定名: SSB II		
	SSOユーザー名: tyamada		
	アプリケーション名: null		
	クライアント情報: SolitonPasswordManager/1.8.0 (iOS)		
AppSSOに設定した「SSB II」に対して、iPhoneで代行入力			
tyamada	接続元アドレス: プライベートIP: 192.168.0.3	マシン名: iPhone	2022/12/27 09:57:57
	接続先サービス: PasswordManager (WebSSO)		
	設定名: FileZen S		
	SSOユーザー名: user01		
	URL: https://		
	クライアント情報: SolitonPasswordManager/1.8.0 (iOS)		
WebSSOに設定した「FileZen S」(URL)に対して、iPhoneで代行入力			
tyamada	接続元アドレス: プライベートIP: fe80::3abc:4925:3b9a:ea9a	マシン名: Windows10	2022/12/27 09:57:00
	接続先サービス: PasswordManager (WebSSO)		
	設定名: FileZen S		
	SSOユーザー名: user01		
	URL: https://		
	クライアント情報: SolitonPasswordManager/1.8.2 (Windows NT 10.0; WOW64)		
WebSSOに設定した「FileZen S」(URL)に対して、Windows10で代行入力			

1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

付録2-PasswordManager Agentでの利用者によるSSO設定登録

① OneGate設定

② AD連携

③ ローカルユーザ作成

④ 招待コード発行

⑤ AppSSO設定

⑥ SPMインストール

⑦ WebSSO設定

⑧ SKMインストール

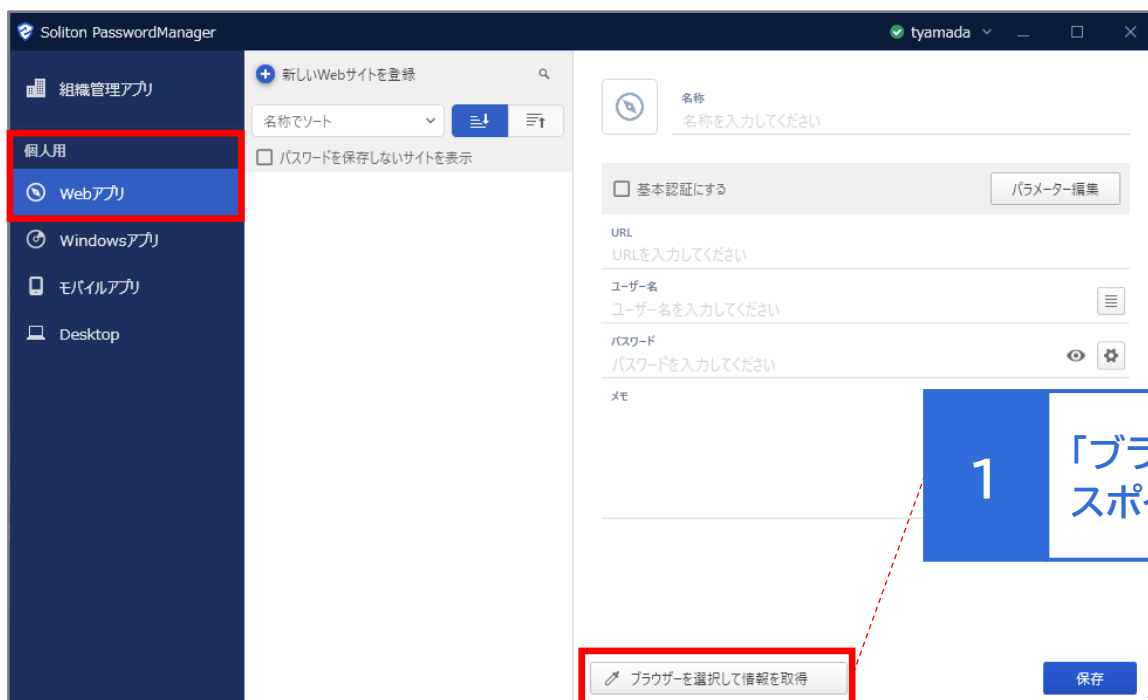
⑨ 証明書発行

⑩ SPMインストール・SSO

- 以下の運用例のように、SSO設定・代行入力値(ID/パスワード)のすべてを利用者側で登録することも可能です。

□ 利用者による登録(PasswordManager Agentの「個人用アプリ」に表示)

- PasswordManager Agentで[個人用]>[Webアプリ]に進み、「ブラウザーを選択して情報を取得」をクリックします。
- スポイトで、SSO設定を登録するログイン画面のウィンドウを選択します。

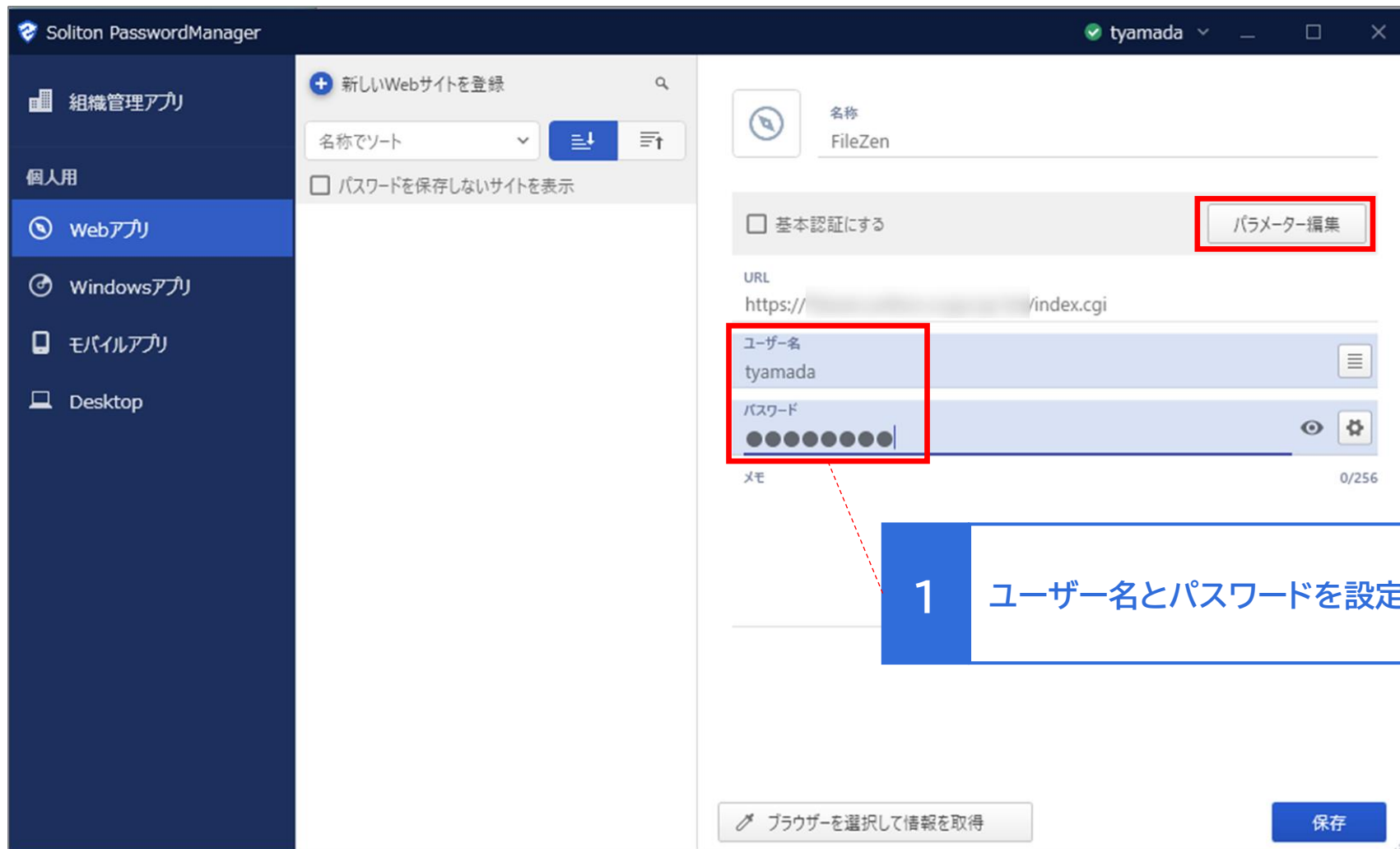


1

「ブラウザーを選択して情報を取得」をクリックし、
スポイトでログイン画面を選択

付録2-PasswordManager Agentでの利用者によるSSO設定登録

- 選択後、「ユーザー名」と「パスワード」欄に代行入力値を設定し、「保存」をクリックします。
- [パラメーター編集]からの設定で、ログインボタンのクリックも自動化可能です。



1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO

付録2-PasswordManager Agentでの利用者によるSSO設定登録

① OneGate設定

② AD連携

③ ローカルユーザ作成

④ 招待コード発行

⑤ AppSSO設定

⑥ SPMインストール

⑦ WebSSO設定

⑧ SKMインストール

⑨ 証明書発行

⑩ SPMインストール・SSO

- [パラメーター編集]をクリック後、以下の手順でログインボタンのパラメーターを追加し、「OK」で設定を保存します。

タイプ ?	表示名 ?	パラメーター名 ?	CSSセレクター ?	入力値	間隔 ?
ユーザー名	ユーザー名	username		tyamada	0
パスワード	パスワード	password		●●●●●●●●	0
ボタン		login	input[name='login']		0

1 「パラメーター追加」をクリック

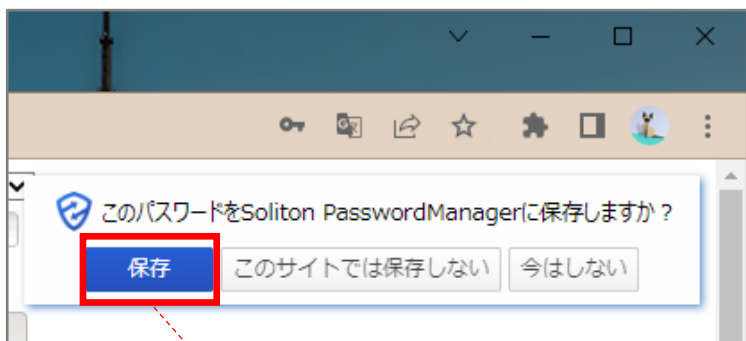
オプション設定 **パラメーター追加** リセット OK キャンセル

2

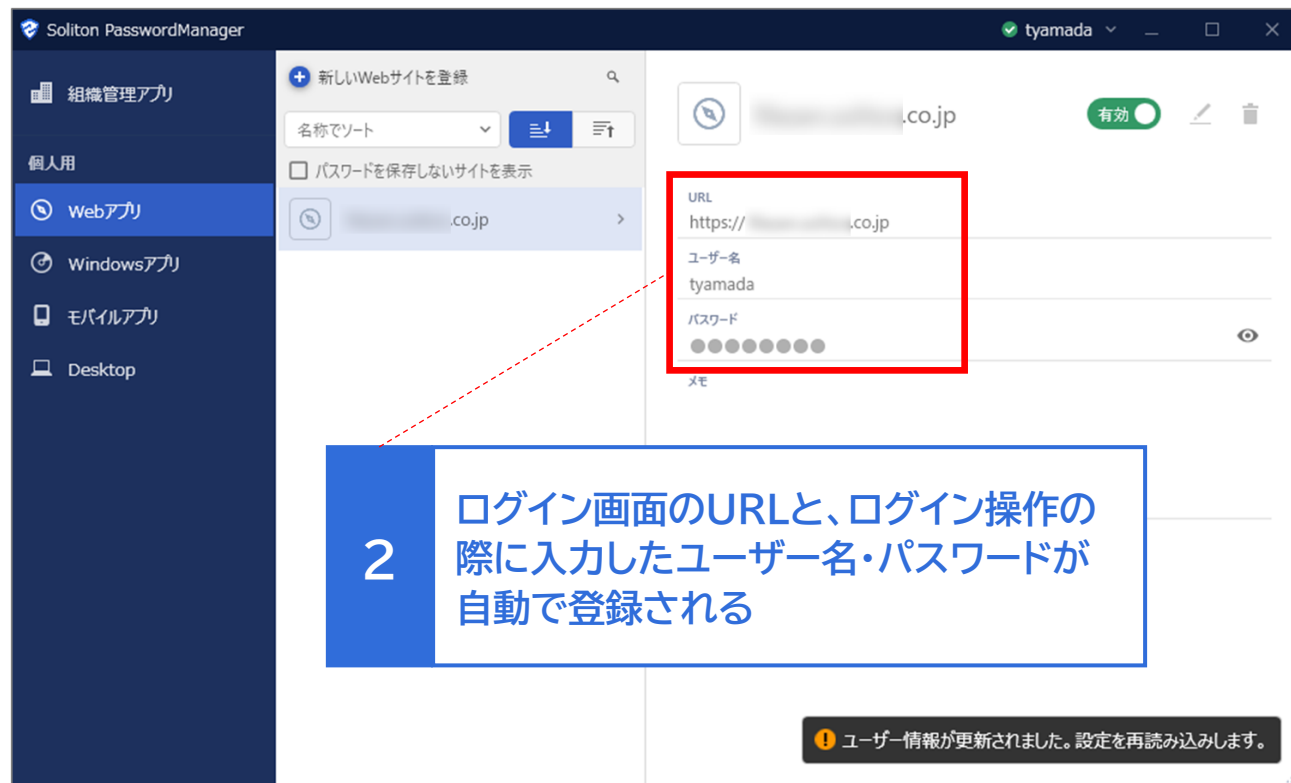
プルダウンより「ボタン」を選択し、
スポイトアイコンをクリック後、
ログイン画面のログインボタンをスポイトで選択

付録3-初回ログイン時のSSO設定自動登録

- SSO設定の自動登録も可能です。
- SSO設定が登録されていないサイトに対して、PasswordManagerの拡張機能がダウンロードされているブラウザでログイン操作を行うと、左のメッセージが表示されます。
- 「保存」をクリックすることで、個人用WebアプリにSSO設定を自動登録することが可能です



1 「保存」よりSSO設定の自動登録が可能



2 ログイン画面のURLと、ログイン操作の際に入力したユーザー名・パスワードが自動で登録される

➤ 個人用Webアプリに登録したSSO先は、利用者ポータルへの表示には対応していません。

1 OneGate設定

2 AD連携

3 ローカルユーザ作成

4 招待コード発行

5 AppSSO設定

6 SPMインストール

7 WebSSO設定

8 SKMインストール

9 証明書発行

10 SPMインストール・SSO